

京都大学 (京都府)



京都大学日本語・日本文化研修プログラムは、日本の伝統的文化や現代社会について理解を深め、京都の地域性を生かした実地体験を交えながら、多様な側面から日本を考える機会を提供します。

■ 大学紹介

1. 大学の特徴と概要

- 1) 京都大学は1897年の開学以来個性的でアカデミックな学風を打ち立て、現在もその精神は健在である。今日では、10学部、18大学院研究科、15附置研究所・研究拠点、18の教育研究施設等および図書館、病院を有する日本有数の総合大学として、学術・文化の発展に貢献している。
- 2) 京都大学の教員数は、2013年5月1日現在2,773名であり、13,421名の学部学生、9,256名の大学院生が、吉田、宇治、桂の3キャンパスに分かれて勉学、研究に励んでいる。

教授	准教授	講師	助教
1,018人	741人	164人	850人

(2013年5月1日現在)

2. 国際交流の実績

京都大学では2013年5月1日現在、94ヶ国・地域からの、1,733名の留学生が学んでいる。国際交流センターはこれらの学生の勉学・研究を、教育・生活の面から支援している。京都大学は、国際交流の拠点大学として34ヶ国・地域の94大学4大学群1機関と大学間協定を提携しながら、学術国際交流を推進している(2013年5月1日現在)。部局間学術交流協定を締結している機関数も566に上り、日常的に学術国際交流が可能な環境が整備されている。これらの機関からの交換留学生の受け入れや日本人学生の海外留学を推進しつつ、世界的な視野で考え、行動できる学生の養成に大学全体として力を入れている。

3. 過去三年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数 1,733人、日本語・日本文化研修留学生 21人
2012年：留学生数 1,707人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2011年：留学生数 1,658人、日本語・日本文化研修留学生 20人

4. 地域の特徴と歴史

京都は美しい自然に恵まれ、千年有余の歴史と豊かな伝統を誇る古都として世界的に有名であるが、自由闊達な精神を育んできた学術の街としても知られる。

■ コースの概要

1. 日本語・日本文化研修プログラムの特色と目的

本プログラムは、将来日本をフィールドにしながら、教育・研究分野、外交分野、国際機関、多国籍企業等での人的交流のかなめとなる役割を担うことが期待される人材を養成する京都大学のプログラムである。

自国で日本語や日本文化を学んでいる学生が、1年間京都大学に留学することによって、日本語だけでなく多様な日本の文化や現代社会に接し、理解を深めるプログラムを提供する(総提供時間・842時間)。

更に、世界各国からの学友との共学や、課題研究への取り組みを通して、世界を視野に入れた幅広い思考力と実践力を育成する。



↑ 百周年記念時計台(吉田キャンパス本部構内)

2. 受入れ定員：20名(大学間交流協定に基づく日研生3名を含む)

3. 受入れ学生の資格、条件

1) 資格

3年程度の日本語学習歴があり、在籍大学で日本語・日本文化を専攻している学生であること。

2) 条件

京都大学での研修プログラムでは日本人学生とほぼ同等の内容の講義が、ナチュラルスピードの日本語で行われる。また修了論文作成の中では文献を読み、フィールドワークを行ない、発表し、最終的に論文を執筆することになっている。

受入れ学生には、これらを受講し、修了論文作成を行うことのできる日本語運用能力が求められる。具体的には、日本語能力試験N2レベル合格以上の日本語能力を有することが条件となる。更に、研修プログラムを受講するための基礎的知識・学力を備えていることが望ましい。

4. 到達目標

このプログラムでは、日本社会・文化に対する知見を深め、同時に学術レベルの高度な日本語力の修得を到達目標とする。

5. 研修期間：2014年10月1日～2015年9月30日

I期：10月～3月、II期：4月～9月

6. 研修科目の概要

(年間総学習時間数 632時間)

日本語・日本文化研修プログラム受講が必修であるが、II期には学生の専門に合わせて、全学の講義を一部受講できる。各科目の概要は次項の通りである。

1) 日本社会・文化に関するフィールドワーク
(30時間・必修)

この授業は、日本語・日本文化研修留学生を研究テーマ毎に分けたフィールドワークのクラスである。

このクラスでは自分の研究テーマに沿って、計画、調査、発表、報告書作成を行なう。研究テーマは現代日本社会に関わる多彩な内容が盛り込まれている。

2) 日本語日本文化論文作成A・B
(各60時間・必修)

1年間の日本語・日本文化研修プログラムを通して各自が自分のテーマを持ち、テーマに沿った文献調査やフィールドワークを行い、修了論文として提出する。

3) 日本事情A [社会科学分野]
(64時間・必修・選択必修を含む)

日本事情Aは現代日本社会を、政治・経済・社会・法律・国際関係などの観点から理解することを目的に開講される。講義は主として京都大学の各専門分野の教員が入門と専門的な内容を交えて行う。講義内容の分類と総時間数は次の通りである。



↑ 国際交流センター（吉田キャンパス本部構内）

a. 日本社会に関する概説(30時間・必修)

上記フィールドワークのための社会学調査 入門講義を行う。

b. 日本の法と政治に関する概説(8時間)

c. 日本の経済に関する概説(4時間)

d. 各分野の諸問題(22時間)

上記各分野の現代における重要な問題を取り上げ、専門家による講義を行う。

4) 日本事情B [人文科学分野](118時間・必修、選択必修を含む)

a. 日本文学(60時間・必修)

古典から現代までの文学作品を紹介し、作品を読むことによって日本文学の基礎的な知識や多様な文学表現・思想を学ぶ。一方で、ある程度高度な日本文の読解をしながら、意見を発表し、文章を書く能力を高めることを目的とする。

b. 日本文化・歴史(風土)(58時間)

・近代以前：

日本文化の特質と歴史の変遷を理解することを目的に、古代・中世・近世の文化諸相とそれらの基盤となった政治・社会・歴史・風土について学ぶ。また京都は1000年の間日本の都であったため、能、茶道、華道、絵画、寺院、建築、庭園など至る所に伝統文化の粋を見ることができる。このような土地柄を生かして、実際の文化遺産に接し、理解を深めることを目的とする。

・近代以後：

世界の中で日本がどのように近代化を進めていったか、また近代以降の文化の特質について学ぶ。なお個別の重要な問題は特別講義で取り扱う。

5) 特別教育(150時間・選択必修)

現代日本社会や伝統的日本文化をより深く理解するため、実施研修を行う。その他各講義で取り上げなかった重要な問題を特別講義として10回開講する。

a. 現代産業及び現代文化に関する見学・研修等(60時間)

b. 伝統産業及び伝統文化に関する見学・研修等(60時間)

c. 特別講義(30時間)

6) 日本語(360時間・必修)

本研修プログラムの日本語教育は、日本語に対する知識を深めるための日本語概説A・B及び個々の受講生の日本語運用能力を高める日本語強化コースの2部構成となっている。

a. 日本語概説A(60時間)

I期：外的事象の把握・表現の仕組みとしての日本語の文法体系を考察する。

II期：現代の日常語に反映された文化的側面や言語と認知に関わる現象などを扱う。

b. 日本語概説B(60時間)

日本語の歴史的な変遷を概観し、現代日本語がどのようにして現代の姿になったかを考える。

c. 日本語強化コース(240時間)

*日本事情の講義を理解し、講義で討論し、報告書・論文をまとめる日本語能力を養うため、授業は、読解・発表・論文作成の3技能を集中的に伸ばす内容になっている。

*本コースは、第I期開講時にプレースメントテストを行い、日本語到達度によってクラスを2つに分ける。

*本コースでは「聴く・話す・読む・書く」の基本技能の運用能力を強化し、クラス別に出される様々な課題をこなしながら、学術分野への応用力を養成する。

*日本語は以上の授業の成績及び出席態度によって評価するほか、学期終了時に全員に対してテストを行い、総合的な日本語能力の到達度を判定する。

授業の特徴

- 1) 日本語・日本文化研修プログラムの受講を原則とするが、正規生向けの講義が聴講できるレベルに達した学生は、Ⅱ期に自分の専門に合わせて専門講義を聴講することもできる。
- 2) 上述した授業は原則的に日本語・日本文化研修留学生専用を開講しているが、日本事情A・Bの諸講義は全学の留学生が聴講できるオープンシステムとなっている。
- 3) 日本語強化コースは、個々の学生の日本語運用能力を伸ばすため、能力別に2クラスに分けて行う。本授業は日本語・日本文化研修留学生だけの集中クラスとして開講される。

実地見学・行事など

- ①日本の法律と裁判所、日本建築・庭園、日本の美術のように、日本社会、日本文化を理論的・体験的に理解することができるよう、講義と実地見学を組み合わせた授業を多く開講している。
- ②現代日本社会の諸相を理解できるよう、マイノリティ問題や地域との交流、企業見学、学校訪問など多様なプログラムを用意している。
- ③和菓子作りなど日本独自の文化体験や京都の土地柄を生かした祭・能楽・歌舞伎鑑賞等は日本事情B・特別教育の中で行われる。
- ④その他計3日程度の研修旅行を実施する。

7. 学年暦、実地見学・行事など

- 1) 学年暦 (2013-2014)
 - 10月9日 開講式・歓迎会
 - 10月10日 日本語プレースメントテスト
 - 10月11日～2月10日 第Ⅰ期授業
 - (11月21日～24日 11月祭(大学祭))
 - (12月28日～1月5日 冬休み)
 - 2月12日～2月18日 調整期間
 - 2月19日～4月6日 春休み
 - 4月7日～7月18日 第Ⅱ期授業
 - 7月22日～7月25日 調整期間
 - 7月26日～ 夏休み(修了論文仕上げ期間)
 - 9月上旬 修了式・歓送会
 - (*2014-2015の学年歴も上記とほぼ同様。)

8. 指導体制

1) 京都大学日本語・日本文化研修委員会

日本語・日本文化研修留学生受入れ、年間授業計画、成績判定、修了認定のために、全学からの委員による委員会が組織されている。受入れ・授業に関する方針は委員会が決定する。

2) 日本語・日本文化研修留学生の指導は国際交流センターの教員・学内外の講師陣が担当する。学生の自国大学の専門分野に関する課題についても教員数名が個別指導にあたり、修了レポートを作成し、帰国後も継続してその分野の研究を進めることのできる体制を組んでいる。

在籍部局：国際交流センター

プログラム責任者：森 真理子（国際交流センター教授・専門：日本語日本文学）

ルチラ パリハワダナ（国際交流センター教授・専門：日本語学・日本語教育学）

その他国際交流センター専任教員数名が主として指導にあたる。



↑ 五山送り火（京都、夏の行事のひとつ）

9. コースの修了要件、修了証書の発行

本プログラム研修課程で定めてある必修科目（総合科目、日本語科目、日本事情科目：合計8科目中7科目）の合格、選択必修科目（日本事情科目、特別教育科目：合計242時間中180時間以上）の履修及び修了研究論文の提出を修了要件とする。上記の成績を記載した履修証明書を発行し、修了要件を満たした学生には修了証明書を授与する。

■ 宿 舎

すべての日本語・日本文化研修留学生は、京都大学国際交流会館おうばく分館（京都府宇治市）、みささぎ分館（京都府京都市山科区）等の留学生・外国人研究者用の寮に入居することができる。家賃は単身室で月11,700円（2013年12月現在）で、入居日は10月1日以降の平日、退去日は9月末から一週間前頃となっている。また、民間アパートを希望する学生は、京都市内のアパートを自分で探すこともできる。家賃は月平均4万円程度であるが、入居の際には敷金・礼金を支払う制度があり、家賃1～3カ月分程度の費用が別に必要となることが多い。民間アパートに入居する場合は京都大学留学生住宅保証制度を利用することができる。

2010年10月～2013年9月までの3年間における日本語・日本文化研修留学生の宿舎入居実績は60名中56名である。



↑ おうばく分館（京都府宇治市）

■ 修了生へのフォローアップ

修了生に対し、日本の大学院への進学をサポート、必要に応じて就職・大学院進学等のための推薦を行っている。また、修了日研生との日常的な交流を絶やさないように努めており、メーリングリストの整備、同窓会結成の準備などを進めている。

■ 問い合わせ先

京都大学国際交流センター

大学所在地：〒606-8501京都市左京区吉田本町

担当事務：研究国際部留学生課

Email: ryugak78@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

Tel: +81-(0)75-753-2489

Fax: +81-(0)75-753-2562

URL: <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>

大学ホームページ: <http://www.kyoto-u.ac.jp>



KYOTO UNIVERSITY (KYOTO)



Kyoto University's 'Japanese Language and Cultural Studies Program' offers students the opportunity to deepen their understandings on traditional culture and current social issues of Japan from various viewpoints, while offering opportunities to experience the rich culture of Kyoto.

■ University's Overview

1. Characteristics and Overview of Kyoto University

1) Since its foundation in 1897, Kyoto University has built an academic atmosphere and spirit of individuality, and these ethos are kept alive until the present day. Currently, Kyoto University consists of 10 faculties, 18 graduate schools, 15 research institutes and more than 18 educational and research centers and facilities like libraries and a hospital, making it one of the largest-scale universities in Japan which has continuously contributed to the development of science and culture.

2) Number of Teaching Staff and Students
As of May 1, 2013, 2,773 teaching staff as well as 13,421 under graduate students and 9,256 graduate school students are engaged in academic pursuits at Yoshida, Uji and Katsura Campuses. (2013. 5. 1)

Professors	Associate Professors	Lecturers	Assistant Professors
1,018	741	164	850

2. International Exchange

Presently (as of 2013.5.1), 1,733 international students from 94 countries and regions are studying at Kyoto University. International students funded by the Japanese government or other scholarships as well as privately-financed students spend fruitful campus lives pursuing their respective goals. The International Center supports studies and research of these students from the aspects of both education and lifestyle.

Kyoto University promotes international academic exchange, affiliating with 94 universities, 4 university clusters and 1 institute. In addition, it has 566 partner faculties scattered all over the world. Through student exchange with these global partners, Kyoto University hopes to foster global minded young talent.

3. Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students (JSS) for the past 3 years

2013 International Students 1,733 JSS 21
 2012 International Students 1,707 JSS 19
 2011 International Students 1,658 JSS 20

4. Characteristics of the Region

Kyoto is famous throughout the world as a city blessed with beautiful nature and as the former capital of Japan with a history longer than one millennium. Serving as the center of traditional culture in Japan, it has nourished a spirit of openness and broad-mindedness integrating innovation with its rich tradition.



↑ Clock Tower Centennial Hall (Yoshida Main Campus)

■ Course Outline

1. Characteristics of Japanese Language and Cultural Studies Program

This one year program at Kyoto University offers students majoring in Japanese language and culture in their countries the opportunity not only to study Japanese but also to get exposed to various aspects of its culture and contemporary society, and thereby deepen their understanding of Japan (a total of 842 hours of lectures provided).

This program fosters young talent, who after returning to their respective countries, will carry out research, cultural exchange and social activities in fields concerning Japan, with global scale visions.

2. Number of Students to be Accepted: 20

(Including 3 students under the inter-university exchange agreement)

3. Conditions and Qualifications for the Acceptance of Students

1) Qualifications

Those who have studied Japanese language for more than three years and are majoring in Japanese language or culture at their home university.

2) Conditions

The lectures given in this program, are generally of the same level as the ones given for regular Japanese students, and are held in natural speed Japanese. Students will read research materials, carry out fieldwork, conduct presentations and write academic research paper using Japanese language. Therefore, they are required to have sufficient Japanese ability to understand lectures and complete the research paper. A level equivalent to that of Japanese Language Proficiency Test N2 level is a prerequisite. In addition, it is desirable for those who participate in this course to have basic academic ability along with practical Japanese language ability.

4. Objective of the Program

This program sets its objective on

1) acquiring a specialized knowledge on Japanology, in addition to 2) an academically applicable advanced Japanese language ability.

5. Duration of Program: 2014.10.1 – 2015.9.30

6. Outline of the Program

(total of 632 hours of auditing required)

Students are required to participate in Japanese Language and Cultural Studies Program specially designed to fit their needs. In addition, they are allowed to join some regular courses related to their major during the second semester.

1) Field Work in Japanese Society and Culture
(30 hours/ compulsory)

In this field work class, Japanese Studies Students form field research groups according to their research theme. They will design a research plan, carry out field work, present the results of their research orally as well as in written report form. Wide variety of research themes covering most part of contemporary Japanese society are taken up in this class.

2) Report Writing in Japanese Studies A•B
(60 hours each/compulsory)

As part of this yearly course, each student decides his/her theme, conducts bibliographic survey and fieldwork, and submits an academic research report.

3) Japanese Affairs A [Sociological Aspects]
(64 hours/ including compulsory and semi-compulsory courses)

These classes are aimed at deepening the understanding of contemporary Japanese Society from viewpoints of politics, economics, sociology, law and international relations. The lectures are given mainly by professors at Kyoto University on each area of his/her expertise, combining introductory and specialized topics.



↑ International Seminar House (j-Pod), where students mainly take classes

Details of contents and number of hours is as follows:

a. Overview of Japanese Society (30 hours/ compulsory)
This class is an introductory course on social investigation which provides basic knowledge necessary to conduct the above-mentioned field work.

b. Overview of Japanese Law and Government (8 hours)
c. Overview of Japanese Economy (4 hours)
d. Present Day Issues (22 hours)

Specialists of respective fields will give lectures on a variety of current issues.

4) Japanese Affairs B [Humanity Aspects]
(118 hours / including compulsory and semi-compulsory courses)

a. Japanese Literature (60 hours/ compulsory)

Students will read literary works from classical times to the present day, so that they can acquire basic knowledge of Japanese literature and understand the underlying methods of expression and ways of thinking.

It is also intended that they improve their writing ability through comprehending Japanese literature and presenting their opinions on them.

b. Japanese Culture and History (58 hours)

• Pre-modern:

To understand unique features of Japanese culture and its historical transitions, students will learn various aspects of ancient, medieval and early modern Japanese culture as well as their foundations, namely government and politics, society, history and environment.

Furthermore, since Kyoto was the capital of Japan for 1,000 years, students will have chances to capture Japanese traditional culture through all the surroundings such as Noh, tea ceremony, flower arrangement, paintings, temples, architecture and gardens. These features of Kyoto, will provide students with access to cultural legacies and deepen their understanding of the Japanese culture.

• Modern-present:

Students will learn the process of Japan's modernization and the characteristics of Japanese culture since then.

Furthermore, important issues will be addressed in special lectures described below.

5) Special Education (150 hours/ semi-compulsory)

For the better understanding of contemporary society and traditional culture of Japan, students will carry out on-site studies. In addition, important issues unaddressed in lectures above will be incorporated into 10 special lectures.

a. Observation and study of contemporary industry and contemporary culture (60 hours)

b. Observation and study of traditional industry and traditional culture (60 hours)

c. Special Lectures (30 hours)

6) Japanese Language (360 hours/ compulsory)

This class consists of two sections:

a. Comprehensive Studies on Japanese I and II aims to deepen students' knowledge of the Japanese language. Academic Japanese aims to reinforce each student's command of Japanese. a. Comprehensive Studies on Japanese I (60 hours)

Cultural aspects reflected in ordinary language and phenomena which are related to cognition will be addressed, in addition to topics such as the relationship between the way of expression and the grammatical system.

b. Comprehensive Studies on Japanese II (60 hours)
Historical changes in the Japanese language will be outlined, and the process by which contemporary Japanese language was formed will be discussed.

c. Academic Japanese (240 hours)

*This course aims to reinforce Japanese ability with a focus on improving academically applicable skills such as reading comprehension, oral and written expression necessary for participation in lectures at the university.

*The Academic Japanese Course will be conducted as two classes, divided according to the results of a placement test held at the beginning of the term.

*Students will be required to attend Japanese classes every week with the aim of improving their command of Japanese. Class activities include assignments, presentations, discussions, comprehensive reading and report writing.

*Students' attainment level of the overall Japanese ability will be judged by the performance of the classes and examinations held at the end of each term.

Characteristics of the Program

- 1) In principle, students are required to participate in classes of the Japanese Language and Cultural Studies Program. In addition, those who have sufficient ability to participate in regular classes will be instructed to join specialized lectures related to their major.
- 2) All lectures of the Japanese Affairs A and B are open to all the international students registered at Kyoto University.
- 3) As for the Academic Japanese Courses, students will be divided into two classes based on their language ability as mentioned above. These classes are open only to Japanese Studies Students.

7. Guidance System

1) Committee for Japanese Language and Cultural Studies Program, Kyoto University

This committee consists of number of professors selected from various different faculties. Permitting enrollment as Japanese Studies Students, evaluation of achievements and approval of completion at the end of the program are some of the matters authorized by this committee. Policies for acceptance and the contents of the annual curriculum are also decided by this committee.

2) Teaching staff of the International Center and lecturers both in and out of Kyoto University will be responsible for the majority of guidance. Also several instructors will offer individual guidance so that students can write their thesis and continue their research even after they go back to their home university.

Chief adviser: Professor Mariko Mori
(The International Center)

Specialization: Japanese language and literature
Sub adviser: Professor Ruchira Palihawadana
(The International Center)

Specialization: Japanese linguistics and Japanese language teaching

In addition, few other full-time teaching staff at the International Center, where students will be affiliated will be in charge of guidance.

8. Academic Calendar, On-site Study, Events, etc.

1) Academic Calendar (2013–2014) (*A similar schedule will be arranged for the program of 2014–2015)

9 Oct. Opening Ceremony and Welcome Party

10 Oct. Japanese Placement Test

11 Oct. – 10 Feb. 1st Semester

(21– 24 Nov. November Festival(University Festival))

(22 Dec. – 5 Jan. Winter Break)

12 Feb. – 18 Feb. Adjustment Period

19 Feb. – 6 Apr. Spring Vacation

7 Apr. – 18 Jul. 2nd Semester

22 Jul. – 25 Jul. Adjustment Period

26 Jul. – Summer Vacation

(Period for completing the Academic Research Paper)

Early Sep. Closing Ceremony and Farewell Party

2) On-site Studies, Events, etc.

① For the better understanding of Japanese society and culture through theoretical study and real experiences, many classes are combined with on-site studies, such as Japanese law and courts, Japanese architecture and gardens, and Japanese art.

② In order to comprehend many aspects of the contemporary Japanese society, various programs will be offered such as minority issues, interaction with local communities, visiting schools and companies etc.

③ Cultural experiences unique to Japan such as festivals, Noh and Kabuki theater performances, making Japanese rice cakes etc., that offer the opportunity to directly experience the local aspects of Kyoto, will be included in Japanese Affairs B and Special Education courses.

④ In addition, a study tour of approximately three days will be held.

9. Requirements for Completion and Issuing Certificates of Completion

Certificates of Completion will be issued to students who complete this program successfully by passing the compulsory courses (not less than 7 of the 8 compulsory courses: integrated courses, Japanese language courses and Japanese affairs courses), audit a total of not less than 180 hours of Japanese Affairs and Special Education lectures out of a total of 242 hours and submit an academic research paper. The judgment of completion will be decided by the committee. An academic transcript will be issued to each student in addition.

■ Accommodation

The Japanese Studies Students are able to reside in Kyoto University Ohbaku (Uji city, Kyoto) or Misasagi (Yamashina-ku, Kyoto) International Houses. Rent for a single room is 11,700 yen per month (As of 2013.12). Those residing can move-in on any week day after the 1st of October and must leave around one week before the end of September. In the past three years(Oct. 2011 – Sep. 2014), 56 out of 60 Japanese Studies Students resided in the above mentioned International House.

Those who wish to move into a private accommodation in Kyoto city will need to find a room by themselves. Rent is on average around 40,000 yen, in addition to which, key money and a deposit will be required. These additional fees paid at the time of contract amounts to approximately 1–3 months' extra rent. Joint Guarantor service is available when renting private accommodation.

■ Follow-up Services

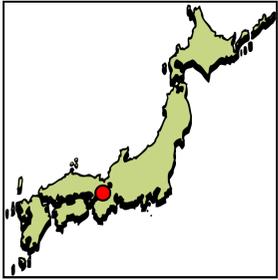
We provide students with necessary support in enrolling in graduate programs in Japan. Recommendation letters will be provided at request for employment and further education purposes. We take utmost care to be in contact with all students after completion and are planning to make such contact more regular by inaugurating an alumni association and by setting up a mailing list.

■ Further Contacts:

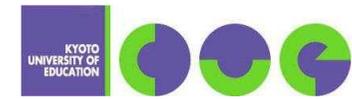
The International Center, Kyoto University

Contacts: Foreign Student Division, Research and International Affairs Department
Address: Yoshida-honmachi, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, JAPAN

General Inquiries: ryugak78@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
Tel: +81-(0)75-753-2489
Fax: +81-(0)75-753-2562
URL: <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>
Kyoto University home page: <http://www.kyoto-u.ac.jp>



京都教育大学 (京都府)



「体験しよう！京都」 Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■大学紹介

① 大学の特色および概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校以来、137年の歴史と伝統をする大学です。

教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院には修士課程の教育学研究科と専門職学位課程の連合教職実践研究科という2つの研究科があります。

キャンパスの面積は14万㎡で、緑が多く自然に恵まれています。附属施設として、6つの附属学校、図書館、教育支援センター、教育資料館などがあります。



緑の美しいキャンパス
大学内の桜並木は3月末に満開になります

② 国際交流の実績

大学間交流協定締結数 7（中国、韓国、カナダ、ドイツ、等）
コンソーシアム交流協定締結数 2（タイ、カナダ）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数64人 日本語・日本文化研修留学生8人
2012年：留学生数68人 日本語・日本文化研修留学生7人
2011年：留学生数56人 日本語・日本文化研修留学生3人

④ 地域の特徴

京都は日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

大学のある伏見区は京都市の南部に位置しています。伏見は数々の歴史ドラマの舞台となった街です。とくに酒の産地として有名で、いまでも古い酒蔵が残っています。

大学のすぐ近くには、5月5日の端午の節句の発祥の地である藤森神社や、赤い鳥居が美しい伏見稻荷大社があります。

大学から京都の街の中心部までは電車で15分程度で、交通も大変便利です。

■コースの概要

① コースの特色「日本文化」

教育は文化であり、文化は教育によって継承されます。「体験しよう！京都」は、教育を切り口に日本を体験的に理解することを目的としたプログラムです。

大学での授業を受ける以外に、コミュニティ・ラーニングなどを通じて地域の人々と交流する機会をたくさん準備してします。日本語の実践力を向上させるとともに、教科書の中の日本とはちがう、自分なりの視点から日本に対する理解を深めることができます。

② コースの定員 10名（大使館推薦 6名、大学推薦等 4名）

③ 受講希望者の資格、条件等

- ・原則として、日本語・日本研究などを専攻する者
- ・日本留学試験「日本語」科目250点、日本語能力試験3級またはN3、もしくは同程度以上

④ 達成目標

<日本語>

終了時にCEFRまたはJFスタンダードB2に相当するレベル (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)

<日本文化>

日本文化を理解するための、幅広く、ユニークな観点を獲得する

⑤ 研修期間

2014年10月1日～2015年9月30日

※授業開始に間に合うよう、2014年9月末日までに来日してください。

※修了式は2015年9月下旬を予定しています。



修了式では学長から直接修了証を授与されます

⑥ 研修科目の概要

授業はすべて日本語で行われます。

1) 必須科目

- ・世界の教育A 30時間
- ・世界の教育B 30時間
- ・日本語（4つのレベルから選択） 120時間
- ・本学学部生向けに開講されている科目のうち「文化・芸術」「日本語学・日本語教育学」「開発教育・国際教育」の各分野から選択した授業の履修

分野毎に60時間以上、合計180時間以上

シラバス <http://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html>

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・コミュニティ・ラーニング
- ボランティア活動やサークル活動に参加し、レポートを作成します。日本社会にゲストとしてではなく社会の一員として参加する体験を通じて、日本社会についての理解を深めることが目的です。
- 活動時間 30時間以上

3) その他の講義、選択科目等

授業科目以外に、地域との交流プログラムや京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNIKに参加できます。これらのプログラムでは、地域の学校の訪問や自分の国の紹介を行います。

⑦ 主な年間行事

11月 藤陵祭（留学生が屋台などを出店）

12月 留学生会主催 忘年会

1月 附属学校国際理解教育への参加

2月 研修旅行

4月 地域交流行事「ふれあい伏見フェスタ」での発表

8月 研修旅行

9月 個別研究発表会

修了式

この他にも、歌舞伎鑑賞教室（年1回）などの伝統文化体験や留学生会主催パーティー（年5回）があります。



研修旅行（三重県・伊賀上野）にて。

⑧ 指導体制

プログラム実施委員：浜田 麻里・中俣 尚己（国際交流委員会専門委員）

指導体制：研修生は教育学部に所属し、教育学部教員の指導を受けます。プログラム実施委員がプログラム履修全般の相談に対応します。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

以下の修了要件を満たした者には修了証書を授与します。

- (i) 必須科目（世界の教育60時間、日本語120時間、一般科目180時間以上）の単位修得
- (ii) コミュニティ・ラーニング（活動参加とレポート作成）
- (iii) 個別研究（発表とレポート作成）



コミュニティ・ラーニングで地域のボランティア活動に参加。子ども達に紙芝居を聞かせています。

■ 宿 舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

○ 宿舎数

- ・ 単身用 10室
- ・ 世帯用 1室

○ 宿舎費

- ・ 単身用 22,000円
- ・ 世帯用 60,500円

○ 宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、カーテン、家具類が備え付けられています。

○ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにショッピング街、病院、公園、図書館等、があります。大学まで電車で約30分、京都の中心まで約1時間です。

空きがある場合は、本学の宿舎（大学まで徒歩15分）に入居することができます。

■ 修了生へのフォローアップ

修了生は帰国後もFacebook（非公式）を使って連絡を取り合っています。また、指導教員はメールでさまざまな相談に応じています。

これまでの修了生のおよそ半分は、研究留学生として再来日しています。日本の大学院で学位を修得した後、母国の大学で教員として後輩を育てています。

残りの半分は、企業などに就職し、学んだ日本語を使って日本と母国の架け橋として活躍しています。

■ 問い合わせ先

○ 大学所在地

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

○ 担当部署

学生課学生支援グループ

○ 連絡先

TEL : +81-75-644-8159

FAX : +81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

（<AT>を@に置き換えてください）

ホームページアドレス :

<http://gakusei.kvokvo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/>

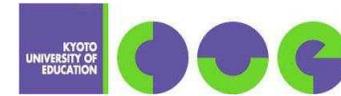


マスコットキャラクター そったくん

そったくんは、京都教育大学が「自分でカラをやぶろうとする子どもたち」を育てる教育者を養成する大学であることをシンボル化しています。



Kyoto University of Education (KYOTO)



The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■ About Kyoto University of Education

1. University Features and History

Beginning in 1876 as Kyoto Prefectural Normal School, the Kyoto University of Education has been endowed with 137 years of history and tradition.

Although a college for teacher training, it is a comprehensive educational university with thirteen undergraduate departments, including Educational Science, Japanese Language, Social Studies, Science Education, Art Education, Music Education, and Physical Education. Our Graduate Schools offer two courses: the Graduate School's for master's degrees and the United Graduate School of Professional Teacher Education's course for special educational academic degrees.

The 140,000 square meters of campus is blessed with of abundant natural greenery. The university has six affiliated schools, a university library, the Educational Support Center, as well as the Museum of Education.



Beautiful campus of greenery
At the end of March, campus cherry trees are in full bloom

2. International Exchange Record

Number of Inter-university exchange agreements: 7 (China, Korea, Canada, German, etc.).

Number of Consortium Exchange agreements: 2 (Thailand, Canada)

3. Number of Foreign Students (last three years)

Year	2011	2012	2013
International Students	56	68	64
Japanese Studies Students	3	7	8

4. Area Features

Kyoto City not only represents, as the old capital, Japanese traditional culture with its many World Heritage sites, cultural assets and rich spiritual culture, but also Japanese modern culture, with its famous Kyoto Station and Manga Museum. It is city in which one can experience both historical and contemporary Japanese culture.

Just 15 minutes by train from the city center, the Kyoto University of Education campus is located in the south of Kyoto City, in Fushimi Ward, the stage upon which many dramatic historical events took place. Particularly famous as an area of Japanese Sake production, old breweries still remain. Close to the campus are Fuji-no-Mori Shrine—birthplace of the season Boy's Day festival in May, and Fushimi Inari Shrine—for its many red gateways.

■ Program Outline

1. Course Features (Japanese Culture)

Education is culture, and culture is inherited through education. The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education aims to provide an understanding of Japan through experience. Besides attending lectures, it provides, through community learning and school visits, many opportunities to experience communication with the people of the area. Along with improving one's Japanese language abilities, deepen your understanding of a Japan from a personal point of view, different than the one in a textbook.

2. Enrollment availability

ten students (six Japanese Government (MEXT) Scholarship students and four students recommended by the universities)

3. Applicants Eligibility Qualifications and Conditions

- As a general rule, must be majoring in Japanese Language or Japanese studies
- Must have JLPT Level 3/N4 or above; OR and EJU score for Japanese language 250 or above.

4. Expected Japanese language level at the end of the program

Japanese Language: Level comparable to CEFR or JF standard B2 level (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)

Japanese Culture: To acquire a unique, broad viewpoint towards understanding of Japanese culture.

5. Course Period

October 1st, 2014 to September 30th, 2015.

- In order to make commencement of classes, arrival in Japan must be by the last day of September, 2014.
- Closing ceremonies are scheduled for September, 2015.



University President conferring certificates at Closing ceremonies

6. Course Outline:

All classes are conducted in Japanese.

1) Compulsory Subjects

- Education Around the World A 30 hours
- Education Around the World B 30 hours
- Japanese Language (selection from 4 levels) 60 hours
- Selection from classes for undergraduate students: Culture & Arts; Japanese Language Studies & Japanese Language Education; Development Education & international education (60 hours, or more, for each area, for a total of 180 hours or more)

Syllabi <http://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html>

2) Participatory study tour and regional exchanges

- Community Learning
- Participate in volunteer and club activities and write reports. Through participatory experience, not as a guest, but as a member, the aim is to deepen understanding of Japanese society. (30hours of participation in activity, or more)

3) Other Lectures and Electives

Foreign research students may also participate in community exchange programs or international understanding programs sponsored by the Kyoto City International Foundation in which area school visits and introductions of one's home country take place.

7. Year's Main Extra-Curricular Activities:

- November Toryo Festival (International Students cook and sell foods at food-stands)
- December year-end party provided by International Student's Community
- January School visit to the Affiliated School.
- February Over-night Study Tour
- April Presentation at community exchange event "Fureai Fushimi Fiesta"
- August Over-night Study Tour
- September Individual research presentation workshop Closing Ceremony

In addition, there is a *Kabuki* and *Noh* appreciation class (once a year), traditional cultural experiences, and parties sponsored by the foreign students group (five per year), etc..



Study tour (Iga-Ueno, Mie Prefecture)

8. Academic advising system:

Program Coordinating Committee: HAMADA Mari,
NAKAMATA Naoki (Expert Panel of International
Exchange Committee)

Academic advisors: Students are registered as a special research student of the Faculty of Education and each student has an academic advisor of that faculty. The Program Coordinating Committee deals with consultation of overall program completion.

9. Conditions for Course Completion and Issuance of Certificates:

- (i) Compulsory Subject Credits (Education around the World – 60 hours, Japanese Language – 120 hours, General Subjects – 180 hours or more)
- (ii) Community Learning (Activity Participation and Reports)
- (iii) Individual Research (presentations and submission of research paper)



Participation in Community Learning community volunteer activities: performing a story picture-show for children

■Accommodations

Upon first arriving in Japan, as a general rule, students are accommodated at the Mukajima Student Center.

- Number of rooms: 10 single rooms
1 family room
- Monthly rent: Single room: 22,000 JPY/month
Family room: 60,500 JPY/month
- Facilities: Each room is equipped with an air-conditioner/heater unit, a hot water system, a bath and toilet, curtains and basic furnishings.
- Information for Daily Life: A shopping mall, a hospital, a park and a library are close to the accommodations.

It takes about 30 minutes by train to the Kyoto University of Education campus, and about one hour to the center of the city. Upon completing Japan Language courses, if room is available, it is possible to live in the university's lodgings, which are about 15 minutes on foot.

■Follow-up for graduates

Students keep in touch with each other on the informal [KUE International Facebook page](#). Consultation with one's advisor after completing one's research is by mail.

About one half of the students that complete their studies, return to Japan as research students. Following attainment of an academic degree, they return to their home countries and as educators countries to nurture others.

The remaining half, gain employment in business enterprises and using the Japanese language they have learned and are actively building bridges between Japan and their countries.

■Contact

Address: 1 Fukakusa Fujinomori-cho, Fushimi,
Kyoto 6128522

Office: International Student Exchange Section

Phone: +81-75-644-8159

Fax: +81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

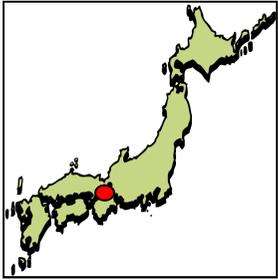
Please replace <AT> with @

URL: [http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-
this/ekyp/](http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/)



Mascot *Sotta-kun*

Sotta-kun embodies the idea of Kyoto University of Education as an institution that cultivates teachers who nurture *children who will emerge from their shells under their own power*.



京都工芸繊維大学

(京都府)



京の造形文化ーかたち・わざ・こころ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

京都工芸繊維大学は、遠く京都高等工芸学校及び京都蚕業講習所に端を発し、100年以上の歴史をもつ特徴ある大学です。特に、伝統文化の源である古都の風土の中で、知と美と技を探究する独自の学風をもっています。

本学は、工芸科学部・1学部であります、生命物質科学域、設計工学域、造形科学域の3つの学域で構成されている総合的な工科系大学です。

教員数・学生数 (2013年5月1日現在)

教員数 : 291名

学生数 : 学部学生 2,905名

大学院学生 1,156名

② 国際交流の実績

協定数 18か国・地域 53機関

交換留学生受入数 2013年度年間延べ54人
(12月時点)



③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年 : 留学生数 203人、日本語・日本文化研修留学生1人

2012年 : 留学生数 179人、日本語・日本文化研修留学生2人

2011年 : 留学生数 170人、日本語・日本文化研修留学生1人

④ 地域の特色

京都市は建都1200年を超える由緒と伝統ある古都でありながら学生を中心として若者が集まるため、常に進取の気風と自由闊達な雰囲気と溢れる町です。自然の美しさとそれに調和した歴史的・伝統的な寺社や建造物の数々は、日本だけでなく世界的にも知られており、伝統的な独自の文化、技術が多く継承されています。

■コースの概要

① コースの特色

優れた歴史的・文化的資産に恵まれた京都で育まれた文化、伝統的造形芸術に対する理解を深めるために設定されたコースです。加えて、本学の美術工芸資料館が所蔵する多くの美術工芸作品を身近な教材として活用します。

座学だけでなく京都の町へ出て伝統文化に関わる工房での技術指導を受けるなどの体験型授業を通じて、歴史都市京都、日本の文化をより深く学ぶことができます。

② 受入定員

3名 (大使館推薦2名、大学推薦1名)

③ 受講希望者の資格、条件等

造形、建築、デザインを専攻する学部2年次又は3年次の学生で、日本の伝統的造形芸術及び京都の文化に関心があること。日本語による授業を履修可能な能力を有すること。日本語能力検定試験1級又は2級を有することが望ましい。

④ 達成目標

本コースで学習した成果に基づいて、日本の伝統的造形芸術及び日本文化について自国でプレゼンテーションすることができる能力を修得すること。

⑤ 研修期間

2014年9月29日 ~ 2015年9月27日 (予定)

⑥ 研修科目の概要

専門科目 (21科目) から20単位、日本語・日本事情科目 (10科目) から4単位以上を履修します。専門科目の授業は、日本語で行われ、日本人学生とともに受講します。

【専門科目】

専門科目	内容および特徴	単位数	授業時間数(週)
日本美術史	日本絵画を中心に、さまざまな切り口から作品を紹介し、分析する。	2	2
文化財学	日本の今後の文化財保護について考える。	2	2
宗教造形論	広く宗教と芸術の関係を考察する。	2	2
庭園美学論	日本庭園の意匠面における構成上の特徴を検証する。	2	2
京のまち	京都に累層する日本の歴史と文化を学ぶ。	2	2
京の意匠	近代京都の美術・工芸について、作品やその社会的背景を紹介する。	2	2
京の伝統工芸-技と美- *見学、地域交流等の参加型科目	裏千家学園にて3日間茶道研修受講、伝統工芸の工房見学、及び体験学習した内容を発表する。	2	夏季集中

京の伝統工芸 -知と美-	京都にある伝統工芸の技を学ぶ。	2	2
生活文化史	禅について学ぶ。	2	2
博物館概論	博物館に関する基礎知識を習得する。	2	2
造形構想論	造形を巡る現代の状況を学ぶ。	2	2
建築構造	建築物の荷重・外力に対しての構成のされ方を概説する。	2	2
視覚デザイン論	コミュニケーションメディアの発展と意義について学ぶ。	2	2
京のサスティナブルデザイン	「京都の知恵」から環境問題の解決手法を学ぶ。	2	2
科学と芸術の出会いⅠ	科学と芸術の関係を考え、作品を制作する。	2	2
実践ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインの考え方とその実践方法を習得する。	2	2
科学と芸術の出会いⅡ	新しい工学的感性を身につける。	2	2
視覚形成論	コミュニケーション・デザインにおける諸問題を考察する。	2	2
感覚工学	人間の感覚について解説し、今後の材料開発について考察する。	2	2
日本建築史	日本建築の歴史的展開を作品に即して紹介する。	2	2
京の産業技術史	明治から大正・昭和初期の京都における染織産業の技術的展開を紹介する。	2	2

【日本語・日本事情科目】

日本語Ⅰ	読解力と表現力の向上をはかる。	1	2
日本語Ⅱ	長文読解により、語彙・表現の多様化を目指す。	1	2
日本語Ⅲ	中級会話のクラスで、発話能力の向上に重点を置く。	1	2
日本語Ⅳ	中級会話のクラスで、発話能力の向上に重点を置く。	1	2
日本語Ⅴ	論述の際の書き言葉の習得を目指します。	1	2
日本語Ⅵ	読解力と文章表現力の向上をはかる。	1	2
日本語Ⅶ	上級会話のクラスで、口頭発表能力の向上に重点を置く。	1	2
日本語Ⅷ	上級会話のクラスで、口頭発表能力の向上に重点を置く。	1	2
日本事情Ⅰ	本学ならびに京都で学ぶにあたって、知っておくべき知識について、リレー講義で概説する。	2	2
日本事情Ⅱ	日本の「今」、自分と日本との位置関係、そして自分の意識の中で日本がどう変化しているかを探る。	2	2

⑦ 年間行事

- 10月 留学生渡日、オリエンテーション
秋学期授業開始
- 1月 見学旅行
- 2月 期末試験
- 4月 春学期授業開始
- 7月 期末試験
- 9月 「京の伝統工芸一技と美一」受講
プログラム修了認定



⑧ 指導体制

コースは、工芸科学部造形工学課程及び言語・文化部門の連携により実施されます。

プログラム担当教員（代表）

並木誠士 教授（デザイン学部門）

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行（修了要件）

1. 専門科目20単位の修得
 2. 日本語・日本事情科目4単位以上の修得
 3. 日本語による学習レポートの提出
- 上記修了要件を満たした者には、修了証明書（英文・和文）を交付します。

■ 宿 舎

本学から徒歩1分の距離にある、本学学生宿舎・松ヶ崎学生館への入居の紹介を行っております。渡日せずに契約手続きを行うことができます。

家賃（1K）：3.85万～4.5万円

（共益費、光熱水費除く）

■ 修了生へのフォローアップ

修了生は、京都工芸繊維大学国際学術交流クラブに加入していただけます。

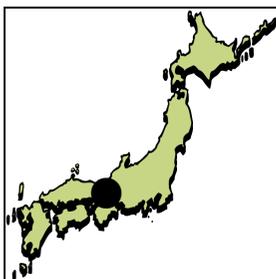
年2回本学卒業・修了留学生等を対象にしたニュースレターを送付します。

■ 問い合わせ先

（担当部署）
京都工芸繊維大学国際企画課留学生係
住所 〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地
TEL +81-75-724-7132
FAX +81-75-724-7710
E-mail ses@jim.kit.ac.jp

京都工芸繊維大学ホームページ
<http://www.kit.ac.jp>

京都工芸繊維大学国際交流センター
<http://www.kokusai.kit.ac.jp/english>



Kyoto Institute of Technology (Kyoto Pref.)



Kyoto Arts and Culture

▼KIT at a Glance

① The KIT Difference

We are unique in assuring that our science and engineering students achieve a highly developed aesthetic sensibility.

KIT grew out of the predecessor institutions, Kyoto College of Technology and Kyoto College of Textile Fiber, has a history of over 100 years and consists of the School of Science and Technology, offering a 4-year education program culminating in a bachelor's degree, and the Graduate School of Science and Technology with master's and doctoral degree programs. KIT successfully blends the study of advanced science and technologies with cherished Kyoto traditions and has established a unique academic culture combining wisdom, a highly developed aesthetic sense and technology.

Faculty and students as of May 1, 2013

Teaching and research staff	291
Undergraduate Students	2,905
Graduate Students	1,156

② International Interaction

KIT has Partner Agreements with 53 institutions in 18 countries and regions

Exchange Student Intake in 2013: 54

③ Three year International Student and Japanese Studies Student Intake

Year	2011	2012	2013
International students	170	179	203
Japanese Studies Students	1	2	1

④ Overview of Kyoto City

Kyoto is world-famous for its beautiful natural surroundings and historic buildings including temples and shrines with beautiful gardens. With a history of over 1200 years, Kyoto attracts students and young people who contribute to the free and enterprising mood of this former capital of Japan and boasts a rich cultural heritage.

▼Course Outline

① Course Description

The curriculum of the Kyoto Formative Art course is designed to increase awareness and understanding of traditional formative arts that developed in Kyoto and the rich historical cultural assets with which Kyoto is blessed. Participants will have access to the abundant collection of work in the KIT Museum and Archives. In addition to lectures, during excursions to studios and artisan workshops students will gain firsthand experience and receive advice regarding technique.

This will aid students in becoming familiar with Japanese culture and specifically its development in Kyoto.

② Program Capacity: 3

Japanese Embassy recommendation: 2
KIT partner institution recommendation: 1

③ Eligibility

Applicants must be undergraduate students majoring in Architecture, Design or Formative Art in their home country.

They are expected to have a strong interest in Japanese traditional formative arts and to have sufficient language ability to understand lectures in Japanese.

Applicants should have achieved a passing score on the Level 1 or Level 2 Japanese Language Proficiency Test (JLPT).

④ Goals and objectives

Participants in this course will:

- 1) Acquire a comprehensive knowledge of Japanese traditional designs, applied art techniques and arts;
- 2) Accrue sufficient understanding of Japanese traditions and designs to make a presentation in their home country outlining these.

⑤ Period of study

September 29, 2014 through September 27, 2015
(Intended Duration: one year)

⑥ Courses

Students should select at least 20 credits from the 21 courses related to Japanese formative arts in Kyoto and at least 4 credits from among the 10 Japanese language courses.

Courses related to Japanese formative arts are taught in Japanese. Students will attend classes with Japanese students.

a) Two-Credit Courses Related to Japanese Formative Arts:

(All courses, except for the summer intensive course, Seeking Beauty and Technology in Kyoto, are 2 class hours per week)

History of Japanese Art:

History of Japanese fine art (with a focus on paintings and scrolls)

Study on Cultural Property:

Gain perspective on future directions for cultural property and its protection.

A Study of Religious Arts and Crafts:

An overview of the relationship between religion and art

Discourse on the Aesthetics of the Garden:

Architectural characteristics in the design of Japanese gardens

Urbanscapes of Kyoto:

Practical knowledge of urban planning and design with special reference to Kyoto

Designs of Kyoto:

Examine modern Kyoto design and applied art, and the social forces that shaped them.

Seeking Beauty and Technology in Kyoto:

Three days of training at the Urasenke Gakuen Professional College of Chado: after becoming familiar with the fundamentals of *chado*, students will select a traditional craft to study with a small group and present a report on their experiential learning. Coursework includes community involvement and study tours in Kyoto.

Seeking Wisdom and Beauty in Kyoto:

Study a traditional Kyoto craft and complete a creation.

History of Lifestyles and Culture:

Fundamentals of Zen Buddhism

Introduction to Museology:

Basics of exhibit design, care, preservation and storage of artifacts

Thoughts of Art and Architecture:

Survey of current studies on formative art

Building Structural System:

Study external load distribution of built structures

Visual Communication Design:

Learn about the development and significance of communication media.

Sustainable Design of Kyoto:

Discover environmental issue solutions from a “wisdom of Kyoto” perspective.

Fusion of Science and Art I:

Investigate the interconnected aspects of science and art. Complete a work.

Universal Design and Its Challenge:

The perspectives and practices of universal design

Fusion of Science and Art II:

Learn about new engineering sensibilities.

Theory of Visual Design:

Consider the issues surrounding design communication.

Sensory Engineering:

Examine human sensibility and the development of future materials

History of Japanese Architecture

Historical development of Japanese architecture examined through temples, gardens and building design

History of the Kyoto Textile Industry

Development of the weaving and dyeing industry in Kyoto from 1868 to 1946

b) Japanese Language and Japanese Studies Courses:

Japanese I:

Speed reading and careful reading
Writing abstracts and essays (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese II:

Reading essays and short stories
Writing essays and reviews (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese III:

Intermediate oral communication (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese IV:

Intermediate oral communication (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese V:

Academic reading and writing (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese VI:

Academic reading and writing (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese VII:

Advanced class in oral presentation skills (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese VIII:

Advanced class in oral presentation skills (2 class hours / week, 1 credit)

Japanese Studies I:

Special lecture series by KIT departmental heads on how and what international students should learn in Japan and Kyoto (2 class hours / week, 2 credit)

Japanese Studies II:

Explore preconceptions about Japan and discuss current social trends and transitions from a multicultural perspective. (2 class hours / week, 2 credit)

⑦ Program Schedule

October : New international students arrive in Japan, orientation held, fall semester courses begin

January: Excursion

February: Final fall semester exams

April: Spring semester courses begin

July: Final spring semester exams

September: Intensive course “Seeking Beauty and Technology in Kyoto”
Program completion certification

⑧ Supervisors

The following professors will supervise each international student participating in this program in collaboration with other faculty:

Undergraduate Program of Architecture and Design:
Prof. NAMIKI Seishi (Representative Professor)

⑨ Certificate of Completion

Requirements for completion:

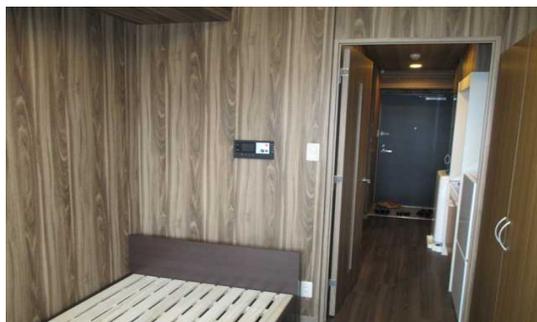
1. Complete 20 Japanese Formative Arts credits
2. Complete 4 Japanese Language and Japanese Studies credits
3. Submit a research report written in Japanese

English/Japanese certificates of completion will be issued to students who have successfully fulfilled the above program requirements.

Accommodation

Reserve a room at “College House Matsugasaki” by email. This facility is a one minute walk from the campus.

Single room with kitchen: 38,500 to 45,000 yen (Utilities and common-use fee not included)



Alumni Follow Up

Kyoto Arts and Culture alumni become members of the KIT International Academic Exchange Club and receive its biannual newsletter.



Contact Information

Student Exchange Services
International Affairs
Kyoto Institute of Technology
Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto 606-8585
Japan

Phone: +81-(0)75-724-7132
Fax: +81-(0)75-724-7710

E-mail: ses@jim.kit.ac.jp

KIT Website: <http://www.kit.ac.jp>

International Exchange Center Website:
<http://www.kokusai.kit.ac.jp/english>



大阪大学 (大阪府)



目的に応じて選択できるコースと豊富な選択科目 学生一人一人へのきめ細かな個人指導

1. 大学紹介

(1) 大阪大学の特色と概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設された大学で、自由で先進的な発想と新規性・先見性を尊び、学術・研究を重んじる学風を持つ優れた伝統ある大学である。本学は、地域に立脚し、産学官の連携を図りながら、卓越した教育研究拠点として世界的に高い評価を得ている。このような研究型大学として、本学では、学生の教育においては、あらゆる分野での高度な研究水準を背景に、21世紀の高度情報化社会における真のリーダーシップを発揮しうる有為の人材を育成することに力を注いでいる。学問・研究の場においては、ただ一つの専門分野の探求にとどまることなく、高度の専門性ととともに、幅広い学際的視野を身につけることが必要であると考えている。総合大学である本学は、このような意味でも優れた環境を備えている。

2007年10月、本学は大阪外国語大学と統合を果たし、新生大阪大学となった。それとともない学部は11学部となり、そのほか16研究科、5附置研究所、附属図書館、附属病院、30を超える教育研究施設などが置かれている。学生数は約23,600名、教職員数は約6,200名である。

(2) 国際交流の実績

大学間交流協定数：99

留学生数：1985名

(2013年現在)



大阪大学には、吹田、豊中、箕面（みの）の三つのキャンパスがある。日研生プログラムは、箕面キャンパスにある日本語日本文化教育センター（CJLC）を母体として実施される。

(3) 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年度：留学生数 1985人、日本語・日本文化研修留学生 57人

2012年度：留学生数 1924人、日本語・日本文化研修留学生 57人

2011年度：留学生数 1780人、日本語・日本文化研修留学生 45人

(4) 箕面（みの）市の特色

箕面市は大阪府の北摂と呼ばれる地域にあり、箕面の滝を中心とする観光都市であると同時に住宅都市でもある。「国際化モデル都市」に指定されており、留学生を暖かく迎え入れ、「ホスト・ファミリー制度」などで交流も一層発展しつつある。



箕面の滝

2. プログラムの概要

(1) プログラムの特色

- ①総合大学としての利点を生かして全学的な教育研究指導体制が整備されている。
- ②日本語力向上と日本研究両方の目的に対応できるプログラム体制をとっている。
- ③学生の目的と希望に沿って、日研生用の週約100以上の授業科目の中から自由に選択できる。
- ④専門演習の時間を設けて、指導教員による個別指導を重視している。
- ⑤地理的な特色を生かして、地域の日本人との活発な交流を実施している。

(2) 受入定員 60名（大使館推薦40名 大学推薦20名）

(3) 学生の資格・条件

このコースの受講を希望する者は、以下の条件を満たす者とする。

- ①渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻していること。

- ②日本語学習歴が2年以上あること。
- ③基本的な日本事情の知識を有すること。

(4) 達成目標

- ①研究・研修の成果に関して日本語の論文・レポートを作成し、口頭発表できるようにすること。
 - ②日本語・日本文化に関する研究科目を履修し、様々な専門分野に関する幅広い知識と方法論を習得すること。
 - ③日本語能力別に開講される研修科目を履修し、大学での研究や社会生活に必要な日本語能力を身につけること。
- ※日研生の多くは本プログラム修了時に日本語能力試験N1合格以上の日本語運用能力に到達する。

(5) 研修期間 2014年10月～2015年9月

※ 2014年9月25日からオリエンテーションが始まるので、2014年9月22日から24日の間に渡日すること。

(6) プログラムの形態

- ①学生の目的別に選択できる2つのコースを設けている。
 - ・「研修コース」：様々な学内外活動に参加することを通じて、日本語能力を高め、日本語・日本文化の知識を身につけることを主たる目的とする
 - ・「研究コース」：
 - 日本語研究コース：日本語、日本語教育についての研究を主たる目的とする
 - 日本文化研究コース：日本文化、日本社会についての研究を主たる目的とする
- ②日研生用の選択科目の他に、日本語力に応じてその他の共通授業も受講できる。

(7) 授業の概要

授業は秋学期・春学期各15週開講する。授業はすべて日本語で行われる。

- 1) 必修科目：専門演習（日研生専用科目 1年で2コマ＝60時間）
専門演習は、一対一の個別指導、または少人数グループでの指導により、個々の学生の興味や関心、研修目的に応じた、きめ細かな学習指導を行う。あわせて、研修、研究の成果としてレポートや研究論文を作成するための指導を行う。

2) 選択科目：選択科目は、「研修科目」と「研究科目」からなり、それぞれ所属するコースごとに定められた科目数を履修しなければならない。提供されている選択科目数は各学期とも週約100コマである。

①研修科目：

【日本語実習科目】：「聞く・話す・読む・書く」の4技能にわたって日本語能力を向上させる。

[主な開講科目] 日本語実習中級・上級（文法／漢字／読解／作文／レポート作成法／聴解／会話／発音矯正／討論の技術／翻訳・通訳）

②研究科目（日研生専用科目）：

【日本語研究科目】：言語学的観点から日本語の様々な特徴を考察する。将来、日本語教育に従事する者に有用な実地的知識を身につけることもできる。

[主な開講科目] 講義（日本語学入門／日本語教育学入門）、演習（日本語学演習）、研究（音声学・音韻論／形態論・統語論／語用論・意味論／対照言語学／社会言語学／国語学研究／日本語教育学研究）

【日本文化研究科目】：

〈人文科学〉日本における思想・民俗・芸術、日本の歴史、および日本文学に関するトピックを取り上げ、日本の文化的側面についての包括的な理解を深める。

[主な開講科目] 講義（日本文学史／日本文化入門／日本史入門／日本の思想と宗教）、演習（日本の伝統芸能／漢文講読／各時代別史）、研究（日本古典文学研究／近現代文学研究／地域文化研究／日本美術研究）

〈社会科学〉日本の政治・経済についての問題点や日本的経営の特徴について考察する。同時に、経済用語や法律用語の運用能力を高める。

[主な開講科目] 講義（日本経済入門／社会学入門）、演習（経営学／公共政策学／社会学／女性学）、研究（国際関係論／日本経済研究）

※個々の授業についてはウェブサイトの「[授業案内](#)」を参照。

※上記科目以外にも、学部開設科目を研究科目として履修することができる。

3) 実地見学：各コース、授業で様々な実地見学を実施している（例：酒蔵見学、マンガミュージアム見学、町屋見学、美術館見学、寺社見学、能楽鑑賞、歌舞伎鑑賞、文楽鑑賞）

(8) 行事等

日研生の見学旅行は年1回、2月に実施しており、他の留学生と合同の見学旅行や社会見学も含めると、年間4～5回の機会を提供している。また、伝統文化理解の一助として、歌舞伎、文楽等の鑑賞会を行っている。地域のホストファミリー及び日本人学生との交流会にも参加できる。日研生の年間行事についてはウェブサイトの「[日研プログラム](#)の1年」を参照。



こんぴら歌舞伎鑑賞会



見学旅行

(9) 指導体制

1) プログラム担当教員：

五之治昌比呂（准教授，比較文学），佐野方郁（准教授，日本近現代史），柴田芳成（准教授，日本古典文学），蔦 清行（准教授，国語学）

2) 指導体制・学生の所属等：

学生はCJLCに所属する。上記教員を含めたCJLC教員19名が指導教員となる。上記以外の教員の専門分野は以下のとおり：日本語学・言語学，日本語教育学，日本文化史，比較思想，比較経済論，仏教学，日本近現代文学。
※必要な場合，CJLC以外の部局の教員と連携して研究指導を行う。
※希望者は日本人チューターによる学習補助を利用することができる。

(10) プログラムの修了要件，修了証書の発行

修了要件：

- ①コースごとに設定された授業科目数（1年で21～23科目＝630～690時間。詳細はウェブサイトの「[プログラム詳細](#)」を参照）を修得すること。
- ②研究・研修の成果をまとめた日本語の論文・レポートを提出すること。

修了証書：

本プログラムの修了判定はCJLC教授会が行う。修了者には本学総長から修了証書が授与される。

(11) 単位認定，単位互換

単位認定については，学生の出身大学の判断に委ねる。

出身大学での単位認定が必要な場合は，具体的なカリキュラムの内容について，申請を行う前にメール等で問い合わせること。

3. 宿舎の状況

日研生が入居する寮として，箕面（みのお）キャンパス内に箕面留学生会館（単身者用117室，寮費：月額22,900～28,900円）がある。寮に入居できない場合は，民間アパート（家賃：月額3～5万円程度）を紹介する。

4. 修了生へのフォローアップ

「日研生修了生追跡調査プロジェクト」を立ち上げ，毎年修了生の近況の把握に努め，情報を蓄積している。修了後の主な進路は，大学院生，大学教員，大使館職員，日本企業などである。また，毎年「修了生講演会」を開催し，本学で大学院生として学んでいる修了生と日本の企業や地方自治体などで働いている修了生を招いて，在校生に修了後の進路についての情報を提供している。

○問い合わせ先

大阪大学国際交流オフィス学生交流推進課日本語日本文化教育センター第二係
所在地 〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

TEL：+81-72-730-5075 FAX：+81-72-730-5074

E-mail：kouryu@cjlc.osaka-u.ac.jp

大阪大学のウェブサイト：<http://www.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学日本語日本文化教育センター（CJLC）のウェブサイト：

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/>

日研プログラムのウェブサイト：

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/>





Osaka University (Osaka)



Two types of study courses and a variety of electives for students' different purposes
Careful attention to and individualized academic instruction for each student

1. Introduction to the University

(1) Profile of Osaka University

Osaka University, founded in 1931 as an Imperial University, has traditionally valued liberal ways of thinking, novelty, insight, and advanced academic research. Working in close cooperation with industry, government, and academic institutions, it upholds an outstanding reputation both locally and internationally. Osaka University, through its education based on high-quality research in diverse fields, seeks to produce skilled graduates whose leadership will be required in the highly advanced information society of the 21st century. Society demands from the academic and research fields professionals who are not only dedicated to maintaining expertise in their specific disciplines, but who also have broad and interdisciplinary perspectives. The University prides itself in fostering a distinguished academic environment where such professionals and researchers thrive.

As of October 2007, Osaka University merged with the Osaka University of Foreign Studies (OUFS), forming the new Osaka University. As a result, it now boasts 11 schools and faculties, 16 graduate schools, five research institutes, four libraries, two hospitals, and over 30 research facilities. It has an enrollment of over 23,600 students and some 6,200 staff members.



The University has three campuses: Suita, Toyonaka, and Minoh. The Japanese Studies Program is conducted by the Center for Japanese Language and Culture (CJLC) located on Minoh campus.

(2) International Exchange (as of 2013)

Number of inter-university exchange agreements: 99

Number of international students: 1985

(3) Number of International Students in the Last Three Years

year	total	students in the Japanese studies program
2013	1985	57
2012	1924	57
2011	1780	45

(4) Minoh City

Minoh city is located in the northernmost part of Osaka prefecture and is famous for its water fall and hot springs. The city's breath-taking autumn leaves and exquisite spring cherry blossoms are highly admired. Designated as a model internationalized city, Minoh city has been playing an active role in accepting international students with open hearts and hands.



Minoh Water Fall

2. Contents of the Program

(1) Characteristics

- ① Collaborative academic advising is conducted, taking full advantage of the university's various schools, faculties and facilities.
- ② The program is organized in order to fulfill students' needs of both improving Japanese proficiency and conducting a research on Japan.
- ③ According to their academic aim and need, students may select required subjects from among 100 different subjects offered per week.
- ④ Individual guidance, or DR (Directed Reading and Research by appointed instructor) is strongly emphasized.
- ⑤ Interaction and exchange with members of the local community is arranged for students to gain practical experience outside the campus.

(2) Total Number of Students: 60 (40 students with embassy recommendation, 20 students with university recommendation)

(3) Qualifications and Conditions of Applicants :

- ① Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university

majoring in fields related to Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan.

- ② Applicants are expected to have studied Japanese for over two years.
- ③ Applicants are expected to have fundamental cultural background knowledge of Japan.

(4) Program Goals

- ① Write a research paper or a report in Japanese as well as make an oral presentation based on the result of the research and study during the program.
- ② Acquire broad knowledge and methodologies of various fields of Japanese studies by taking Research Subjects on Japanese language and culture.
- ③ Acquire proficiency in Japanese necessary for academic research as well as for community life by taking Consolidation Subjects.

※Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to level N1 of JLPT or more at the time of completion of the program.

(5) Period of Program : From October 2014 to September 2015

※Students must arrive in Japan between September 22 and 24, 2014, as orientation begins on September 25, 2014.

(6) Program Organization

- ① We offer two types of study courses which students may select according to their aims and needs.

*Practical Japanese Course: For students whose main aim is to improve their Japanese proficiency and acquire knowledge of the Japanese language and culture through activities on and off campus.

*Research Course (with the following two sub-courses)

Japanese Language Research Sub-course: For students whose main aim is to conduct research on the Japanese language or pedagogy.

Japanese Cultural Studies Sub-course: For students whose main aim is to conduct research on the Japanese culture or society.

- ② In addition to the elective subjects of the program, students may take other subjects, depending on their aptitude in the Japanese language.

(7) General Outline of Subjects Offered

Classes are held once a week for 15 weeks during spring and fall semester. Japanese is used in all classes.

1) Required Subjects: Directed Reading and Research (DR): for Japanese Studies Program students only, 2 credit hours = 60 hours a year

The aim of DR is to give individual guidance to students according to their interests and objectives. DR is conducted on a one-to-one or one-to-2~3 (one teacher to

2-3 students) basis. DR also offers guidance to students in preparation of reports and research papers resulting from their training and studies.

2) Elective Subjects: Elective Subjects include Consolidation Subjects and Research Subjects. Students must complete the credit hours required by their courses. Approximately 100 elective subjects are offered per week for each semester.

① Consolidation Subjects

【Recitation Subjects in Japanese】 Designed to improve skills in listening, speaking, reading and writing

[Subject Title] Intermediate Japanese, Advanced Japanese (Grammar/ Kanji/ Reading/ Composition/ Academic Writing/ Translation/ Listening Comprehension/ Conversation)

② Research Subjects: for Japanese Studies Program students only

【Research Subjects on the Japanese Language】 Analysis of various characteristics of the Japanese language from a linguistic point of view. Development of sufficient practical knowledge that will be particularly useful for students who might teach Japanese in the future.

[Subject Title] Japanese Linguistics (Phonetics, Morphology, Semantics, Contrastive Linguistics)/ Japanese Philology/ Japanese Pedagogy

【Research Subjects on Japanese Culture】

〈Humanities〉 Designed to deepen students' comprehensive understanding of the cultural aspects of Japan, through an in-depth look at one of several topics in such fields as ideology, folklore and art in Japan, Japanese history and Japanese literature.

[Subject Title] Japanese Literature/ Japanese History/ Japanese Thought & Religion/ Japanese Local Culture/ Japanese Folklore/ Japanese Arts

〈Social Sciences〉 Study of issues in Japanese politics and economy and characteristics of Japanese-style business management, while focusing on increasing the knowledge and understanding of business and legal terminology. Development of sufficient practical knowledge designed to be useful for students who might take up jobs relating to Japan in the future.

[Subject Title] Japanese Economy/ Japanese Business Administration/ Japanese Public Policy/ Sociology of Japan/ Woman's Studies

※Subject titles are excerpts. See [the program's website](#) for full information about the subjects and courses offered.

※Besides the research subjects referred to above, subjects of other schools and faculties may be taken as Research Subjects.

3) Off Campus Activities: Some classes offer a variety of off campus activities, such as field trips to a sake brewery, a Manga museum, Japanese traditional houses, art museums, temples and shrines, *Noh*, *Kabuki*, and *Bunraku* theatre performances.

(8) Supplementary Lectures and Field Trips

A field trip for Japanese Studies students is scheduled once a year (in February). Besides this, four or five other excursions with other foreign students are planned. The students will also have opportunities to watch *Kabuki* and *Bunraku*, contributing to facilitating their understanding of traditional Japanese culture. The university has a host family program and holds get-together parties with Japanese students. See the '[Event Schedule](#)' page of the Japanese Studies Program's website for details.



Field Trip to Kotohira



Field Trip to Matsuyama

(9) Academic Advising

1) Persons in charge of the program

Masahiro Gonoji (Assoc. Prof., Comparative Literature), Masafumi Sano (Assoc. Prof., Japanese Modern and Contemporary History), Yoshinari Shibata (Assoc. Prof., Japanese Classical Literature), Kiyoyuki Tsuta (Assoc. Prof., Japanese Linguistics)

2) Academic advisors

Japanese Studies Program students belong to the CJLC. Nineteen CJLC teaching staff, including the aforementioned persons, serve as academic advisors for Japanese Studies Program students. Their majors are as follows (excluding those described above): Japanese Linguistics, Linguistics, Teaching Japanese as a Foreign Language, Japanese Cultural History, Comparative Ideology, Comparative Economic Study, Buddhist Studies, Japanese Modern Literature.

※ Academic advising will be provided in cooperation with the teaching staff from other faculties if necessary.

※ Academic assistance by Japanese tutors will be available to students who need it.

(10) Requirements for Program Completion:

- ① Complete the prescribed number of credit hours. (21 to 23 credit hours = 630 to 690 hours a year. See [the program's website](#) for details.)
- ② Submit a research paper or a report in Japanese based on the result of the research and study during the program.

Diploma:

The judgment of the approval of completion is made by the meeting of the CJLC professors. Students who have completed the program receive a diploma from the president of Osaka University.

(11) Credit Transfer: Transfer of credit will be subject to the regulations and procedures of students' home universities. Students who need credit transfer should make inquiries about details of the curriculum prior to application.

3. Accommodation

There are several dormitories on campus (Minoh Foreign Students Dormitory, 117 single rooms total; fee: 22,900~28,900 yen per month) available for Japanese Studies Program students. In cases where they are not available, the university will help students to find a room in a private apartment house near the campus (rent: 30,000~50,000 yen per month).

4. Follow-up of Graduates

Every year the CJLC Alumni Survey Project strives to obtain information about the progress of students post-graduation, many of whom go on to become graduate students, university professors, embassy personnel, and figures in Japanese industry. Alumni living and working in Japan are also invited to participate in the annual 'Graduates Lecture' event, providing current students with an opportunity to learn about the various possibilities after graduation.

Contact

International Student Affairs Division (CJLC Section 2)

Osaka University (Minoh Campus)

Address: 8-1-1 Aomatani-higashi, Minoh-shi, Osaka 562-8558 JAPAN

Phone: +81-72-730-5075 Fax: +81-72-730-5074

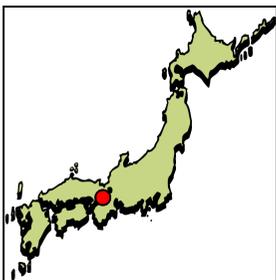
E-mail: kouryu@cjlcs.osaka-u.ac.jp

URL: <http://www.osaka-u.ac.jp/>

(CJLC) <http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

(J program) <http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/program/j/>





大阪教育大学 (大阪府)



大阪の個性的な人々と文化の中で、日本語を勉強してみませんか

■ 大学紹介

① 大学の特色および概要

大阪教育大学は約140年の歴史と伝統を有する、我が国有数の教育大学です。教員養成課程と教養学科があり、すぐれた指導力を持つ教員や、社会の発展に貢献し得る人材の育成を行っています。

柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に9の附属学校園があります。大学院（修士課程）は18専攻からなります。

メインキャンパスである柏原キャンパスは、大阪府東部・柏原市内の金剛寺駒国定公園の中にあります。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。柏原キャンパスから大阪市を中心部までは、電車で約30分です。

② 国際交流の実績

2013年10月1日現在、本学には154名の留学生在が在学しています。また、現在中国、韓国、台湾、タイ、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、フランスの27大学と学生交流協定を結んでおり、毎年、交換留学生の受け入れ・派遣を活発に行っています。

③ 過去3年間の受入留学生数と日研生受け入れ実績

年度	2011	2012	2013
留学生	129	137	154
日研生	7	10	15



④ 地域の特徴—大阪の魅力

大阪の文化力

西日本は独特の文化を発展させてきましたが、大阪はその中心都市とすることができます。大阪は日本の伝統文化を守り育ててきましたし、現在も日本文化のメインストリームに強力な影響を与えています。大阪教育大学をベースキャンパスに、大阪の文化力に触れてみませんか？

大阪弁

大阪で話される方言は大阪弁と呼ばれ、力強く、しかしとても温かく心に響きます。また、マンガやテレビドラマの中で、エネルギーでユーモラスな大阪人の特徴として使用されることも少なくありません。そのため、大阪弁は日本人だけでなく留学生にもとても人気があります。大阪教育大学の留学生は、もちろん標準的な日本語を勉強しますが、キャンパスの内外で大阪弁を聞く機会がたくさんありますので、大阪弁の特徴も学ぶことができます。

■ コースの概要

① コースの特色

大阪の活発な雰囲気の中、大学の内外で様々な人たちとの交流を通して日本語と日本文化を体験的に学びます。

② 受け入れ定員

20名（大学推薦 4名、大使館推薦 16名）

③ 受講希望者の資格、条件

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。

1. 日本語・日本文化に関連している分野を専攻していること。
2. 授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。日本語能力試験N3級以上を取得していることが望ましい。

④ 達成目標

- ・ 日本語で議論やレポート作成をし、学術的な内容を的確に表現できるようになる。
- ・ 西日本を中心に日本の文化を深く理解する。



⑤ 研修期間

2014年10月1日 ~ 2015年9月30日

⑥ 研修科目の概要

1科目は15回の90分授業からなります。1科目履修することにより、通常、2単位が与えられます。

1. 日本語・日本文化研修留学生のための科目

a. 日本語科目

科目名	単位数	
	秋	春
日本語漢字 I, II	2	2
日本語中級会話 I, II	2	2
日本語中級文法 I, II	2	2
日本語中上級読解 II	2	2
日本語中上級聴解 I, II	2	2
日本語作文(上級) I, II	2	2
日本語読解(上級) I, II	2	2
日本語聴解(上級) I, II	2	2
日本語演習 I, II	2	2

b. 言語文化科目(必須科目: 8単位以上)

科目名	単位数	
	秋	春
日本の社会と文化 I, II	2	2
日本の言語と文化 I, II	2	2
日本文化史 I, II	2	2
大阪の文化 I, II	2	2
日本の伝統文化 I, II	2	2
日本文化研究	-	2

- ・「日本の社会と文化 I, II」は日本社会が現在経験している諸問題について議論し、学ぶ。
- ・「日本の言語と文化 I, II」は日本語学の基礎と現代日本語の諸問題について勉強する。
- ・「日本文化研究」は指導教員の指導のもとに各自テーマを決めて、レポートを書いて発表する。

2. 参加型科目

「大阪の文化I, II」は講義とフィールドワークを通して、大阪の歴史・文化の特徴を学びます。日本の歴史教科書に記されている、重要な史跡を訪問したり、伝統芸能の演者を講師としてお招きし、体験的に学んだりします。



3. その他の科目

日本語・日本文化研修留学生は指導教員と相談した上で、様々な学部 of 授業を受けることができます。本学には以下のような専攻・コースがあり、日研生の専門にあった授業が数多く開講されています。

- ・日本文学・日本語学を学びたい方
日本アジア言語文化コース/国語教育専攻
- ・日本の歴史・地理・社会を学びたい方
社会文化コース/社会科教育専攻
- ・美術・音楽が好きの方
美術・書道コース/音楽コース

その他、本学には教育大学ならではの特色ある専攻があります。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

大阪教育大学 シラバス検索 (大教UNIPA)

<https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

⑦ 年間行事

10月、6月 関西文化体験バスツアー

(京都・奈良・兵庫 など)

関西は日本の歴史や伝統が息づいている地域です。この関西文化を体験し、理解を深めるために、年2回程度、1日バスツアーを実施しています。

11月、5月 ホームビジット

地域のボランティアグループによるホームビジットプログラムに参加できます。また、その他にもボランティアグループとの様々な交流ができます。

2月 文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるように関西以外の地域で1, 2泊の文化体験研修を実施しています。

3月、6月、8月 日本文化を楽しむ会など

相撲観戦や文楽観賞など、日本の文化を楽しむ行事があります。また地域のボランティアグループが提供する行事を通して、着物や茶道、門松作りなどの日本文化体験をすることができます。

8月 修了レポート発表会

日本文化研究を通して作成したレポートの内容を、これまで学んできた日本語を駆使して本学教職員や日本人学生の前で発表します。

随時 国際交流行事

留学生が自国の文化を紹介したり、大学周辺地域の歴史や文化を学びながら、本学学生や地域住民と交流します。日研生の皆さんも積極的に参加して、交流の輪を広げてください。





⑧ 指導体制

国際センター教員

国際センター教員が主に日本語・日本文化研修生プログラムの運営を担当します。また、日本語の授業の担当、日本での生活についての助言をします。

指導教員

指導教員が授業の履修やファイナルレポートについて指導します。指導教員は教員養成課程、教養学科、国際センターなどの本学教員から選定されます。

チューター制度

日本人学生がチューターとして留学生を一对一で支援します。学習や日常生活での助言を行い、留学中の生活をサポートします。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

「授業概要」にあげた講義のうち、「a. 日本語科目」は国際センター教員の指導にしたがって必要な科目を履修すること。その上で「b. 言語文化科目」から「日本文化研究」(必修)を含む8単位以上を履修することにより、本学から修了証書が授与されます。または、「b. 言語文化科目」は指導教員が適当と認める「3. その他の授業」に置き換えることができます。

■ 宿 舎

柏原キャンパス内と近隣地区の大阪府八尾市、奈良県香芝市に外国人留学生宿舎があります。収容定員は79名(単身)です。日本語・日本文化研修留学生には優先的に部屋が割り当てられます。空室がない場合は大学が学外に宿舎を確保し、学生に提供します。



■ 修了生へのフォローアップ

修了後の進路

本学で日本語・日本文化研修生として学んだ留学生は、帰国して母国の大学を卒業した後、国費留学生として再び日本で留学したり、優秀な日本語力を活用して企業等に就職したりしています。

修了後の情報提供

本学国際センターではホームページやフェイスブックを通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを行っています。

国際センター facebook page

<http://www.facebook.com/oku.ic>

■ 問合せ先

担当者: 学術部学術連携課国際係

住 所: 〒582-8582

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

Phone: +81-(0)72-978-3300

FAX: +81-(0)72-978-3348

E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

大学Website:

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp>

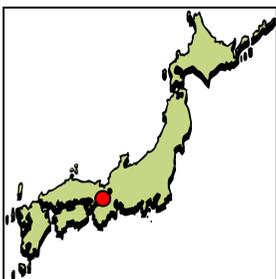
国際センターWebsite:

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/>

日研生ホームページ

http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/nikkensei.html





Osaka Kyoiku University (Osaka Pref.)



Let's study Japanese at OKU with friendly people and unique culture in Osaka!

■ University Overview

① About Osaka Kyoiku University

Osaka Kyoiku University is one of the few educational universities of our nation to possess a history and tradition spanning over 140 years. The University has two departments, the Teacher Training Course and the Department of Arts and Sciences.

Tennoji campus has an Evening Program for Elementary School Teacher Training, which is the only national program of its kind in Japan for working students and in-service teachers. The Graduate School of Education offers 18 courses for master's degrees. Osaka Kyoiku University aims at being a composite educational university in collaboration with 11 affiliated schools and kindergartens.

The main campus (Kashiwara Campus) is located inside the Kongo-Ikoma Quasi-National Park in Kashiwara City, Osaka Prefecture.

Kashiwara City is about 20 kilometers east of the central part of Osaka City, and has a long history with beautiful surroundings commanding verdant mountains. Tennoji Campus is situated in Osaka City.



② International Exchange

The number of international students at OKU as of October 1, 2013 is 154. OKU has 27 overseas sister universities and is exchanging many students between them.

OKU has been accepting Japanese Studies Students (JSS) for many years and offering them intriguing programs. Table in ③ shows the numbers of Japanese Studies Students studied at OKU.

③ Number of International Students and Japanese Studies Students Studied at OKU in the Past 3 Years

Year	2011	2012	2013
International Students (total)	129	137	154
JSS (Japanese Studies Students)	7	10	15

④ Regional Characteristics – Beauty of Osaka

–Cultural Power of Osaka

Western Japan has long been developing its unique culture; especially, the city of Osaka, we believe, played a central role in building the Western Japanese culture. Besides cultures of Western Japan, the energetic city has also brought up then preserved the traditional Japanese culture. Today, Osaka remains to have strong influences on the main stream of the contemporary Japanese culture.

–Beauty of Osaka-dialect

'Osaka-ben', a local dialect spoken in Osaka, is very popular among not only Japanese people but also international students. It sounds very powerful but warm, and it is often used as an icon of energetic and humorous Osaka people in Japanese manga and TV dramas. Although international students at OKU learn the standard Japanese in classes, they also can hear people speak Osaka-ben inside or outside the campus and easily learn its characteristics.

■ Outline of the Program

① Feature

Under the friendly atmosphere in Osaka, Japanese Studies Student will learn Japanese language and culture through various experiences and interactions with Japanese people in and outside of the university.

② Number of Japanese Studies Students to be Admitted

Total: 20 students
Embassy recommendation 4,
University recommendation 16

③ Qualification and Conditions

JSS applicants must fulfill the following conditions.

- 1) To be majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
- 2) To be proficient enough in Japanese to understand lectures. Students who have obtained N3 level or above in the Japanese Language Proficiency Test are preferred.

④ Goal

- To learn to debate and write reports in Japanese, and to learn to present academic topics in precise expression
- To deeply understand the Japanese culture with a focus on western Japan



⑤ Term of the Course

October 01, 2014 to September 30, 2015

⑥ Course Descriptions

Generally one subject consists of 15 classes of 90 minutes and students obtain 2 credits when they finish it.

1. Courses designed for Japanese Studies Students

a. Japanese course

Subject	Credits	
	FALL	SPRING
Kanji and Writing I, II	2	2
Intermediate Japanese Grammar I,II	2	2
Intermediate Japanese Conversation I, II	2	2
Pre Advanced Japanese Reading I,II	2	2
Pre Advanced Japanese Listening I,II	2	2
Advanced Japanese Writing I, II	2	2
Advanced Japanese Reading I, II	2	2
Advanced Japanese Listening I, II	2	2
Advanced Japanese Workshop I, II	2	2

b. Subjects on Japanese Language and Culture (Requirement: 8 credits or more)

Subject	Credits	
	FALL	SPRING
Japanese Society and Culture I, II	2	2
Japanese Language and Culture I, II	2	2
History of Japanese Culture I, II	2	2
Culture of Osaka I, II	2	2
Traditional Culture in Japan I, II	2	2
Japanese Studies	-	2

- The purpose of “Japanese Society and Culture I, II” is to learn and discuss about problems which the Japanese society is currently facing.
- “Japanese Language and Culture I, II” will deal with some basic topics of Japanese linguistics and explore the recent matters of Japanese linguistics.
- “Japanese Studies” aims to write a report on the topic of one’s interest under the guidance of his/her academic advisor and make a presentation.

2. Students Participatory Subject

In “Culture of Osaka I, II”, students study the characteristics of culture and history of Osaka through classroom lectures and fieldworks. They will visit well-known historic sites listed in the Japanese history textbook. Sometimes, the class will invite traditional arts performers to give students hands-on experiences to learn the traditional culture in Osaka.



3. Other Subjects

Following is the list of academic majors and courses recommended for Japanese Studies Students.

Japanese culture, literature and linguistics

- Japanese and Asian Languages and Cultures Course / Japanese Language Education Major

Japanese history, geography, and society

- Society and Culture Course / Social Studies Education Major

Fine Arts and Music

- Fine Arts and Calligraphy Course / Music Course

OKU also prepares various and characteristic majors/courses as a university of education. Please refer to our website for further information.

Osaka Kyoiku University syllabus search (OKU-UNIPA)
<https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

⑦ Annual Event

October, June Cultural Bus-Tour in Kansai (Kyoto, Nara, Hyogo, etc)

Twice a year in the Spring and Fall, one-day bus trips are arranged. Students visit many historical places in Kyoto, Nara, Hyogo, etc.

November, May Home-visit Program

Local volunteer groups host the ‘Home Visit’ program and varieties of international exchange activities.

February Cultural Field Trip

A field trip for international students is arranged once a year. Students visit areas outside Kansai and study Japanese history, traditional cultures, and etc. Destinations vary every year.



March, June, August Japanese Cultural Event

International Students can join and enjoy cultural events such as going to Sumo, Bunraku, etc. Also, they can experience kimono, tea-ceremony, and new year decoration with the cooperation of regional volunteer groups.

August Final Report Presentation

Japanese Studies Students will make presentations in front of the OKU faculties and students about their report that they wrote for their Japanese Studies class.

OKU International Festival

OKU international students will communicate with OKU Japanese students as well as the local residents by introducing their home countries and cultures, or through learning the history and culture of the local region. Participation of the Japanese Studies Students are strongly recommended! Please join and enjoy communicating with many people.



⑧ Student Advising System

International Center Faculty

International Center faculties are in charge of the operation of the JSS program. Also, they offer Japanese language classes and give advice to international students about their life in Japan.

Faculty Advisor

Faculty advisors instruct the class registration for Japanese Studies Students and also supervise their final report. Faculty advisors are selected among OKU faculties from the Course for School Teachers, Department of Arts and Sciences, International Center, and so on.

Student Tutor Program

Each Japanese Studies Students will be introduced a Japanese student as their tutor. Tutors will give support for their study and life in Japan while the JSS are in OKU.

⑨ Certificate and Academic Record

Among classes listed in '⑥ Course Descriptions', Japanese Studies Students (JSS) will follow the International Center advisor's guidance and register for the recommended class in 'a. Japanese course'. Then, by obtaining 8 credits or more, including 'Japanese Studies I, II' (requirement), from 'b. Subjects on Japanese Language and Culture', JSS will be issued the certificate of completion from Osaka Kyoiku University.

Also, 'b. Subjects on Japanese Language and Culture' classes may be replaced with '3. Other subjects' classes when admitted by their academic advisors.

■ Accommodation

OKU manages three International Student Dormitories. The on-campus dormitory has 40 single rooms and off-campus dormitories in Yao city (Osaka Prefecture) and Kashiba city (Nara Prefecture), near to OKU, has 39 single rooms in total. OKU gives preference to Japanese Studies Students for dormitories and if there are not enough vacancies in these dorms, OKU will find the other accommodations for the students.



■ Follow-up for OKU Alumni

After Completing the JSS Program

Many Japanese Studies Students, after completing the program at Osaka Kyoiku University, will go home to graduate from their home institution. Then, some will return to study in Japan as a government scholarship student, or some will find careers in companies to utilize their excellent Japanese language ability.

Information Service for Alumni

OKU International Center will provide information for international students alumni through medias like homepage and Facebook.

International Center Facebook page
(URL) <http://www.facebook.com/oku.ic>

■ Contact Information

International Office

Address: 4-698-1 Asahigaoka,
Kashiwara-shi, Osaka, 582-8582 Japan
Phone: +81-72-978-3300

Fax: +81-72-978-3348

E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

University Website:

http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/index_e.html

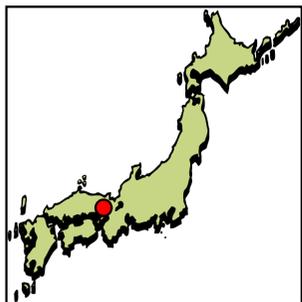
International Center Website:

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/en/>

Japanese Studies Student Website:

http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/nikkensei.html





兵庫教育大学 (兵庫県)



コースの特色 自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます！

◇大学紹介

(1) 大学の特色および概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習環境にあり、40万㎡の広大なキャンパスには、附属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最新の教育研究設備、機器が整備されています。学生宿舎等も充実し、適なキャンパスライフが送れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、加東市との連携したフレンドシップファミリーのサポート体制も整えています。また、国籍の異なる学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、幅広い学習が期待できるようになっています。



(2) 国際交流の実績 (H25.10.1現在)

学術交流協定校：(14大学)

アメリカ合衆国： ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、
ウィスコンシン大学オークレア校

大韓民国： ソウル教育大学校、大邱教育大学校、
京仁教育大学校、全州教育大学校

中華人民共和国： 華南師範大学、海南師範大学、
湖南理工學院、浙江師範大学

(台湾)： 屏東教育大学、台中教育大学、台北教育大学
タイ王国： タイ国地域総合大学

(3) 過去3年間の留学生の受入実績及び日本語・日本文化研修留学生の受入実績

年度	留学生数	日本語・日本文化研修留学生数		
		中国	インド	ブラジル
2011	98	1		
2012	91	3	1	
2013	77	2		1
計	266	6	1	1

(4) 地域の特徴

加東市は豊かな風土に生まれ、時代を超えて受け継がれてきた有形・無形の文化財が数多くあります。朝光寺(国宝)をはじめ、国史ゆかりの神社仏閣が多数あり、歴史探訪を誘ってくれます。また、加古川水系に見られる滝など自然に恵まれ、四季折々の変化が楽しめるフィールド散策等の体験学習もできます。

秋祭りなど地域密着型の行事から、地域の方々とふれあうことができ、日本人の心のふるさとを感じさせる伝統文化が学べます。



◇コースの概要

(1) コースの特色

本コースは、半年間で、日本の原風景に出会い、日本人の心に接することができる「日本の心探訪」コースと言えます。日本語をマスターし、日本文化に対する見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、奈良、京都等の研修旅行などが用意されるほか、国際交流のための講演会、地域の文化財や季節にちなんだ行事(お花見会や夏祭り、秋祭り、お正月行事)にも参加できるプログラムとなっています。

(2) 入定員： 10名(大使館推薦：4名、大学推薦：6名)

(3) 受講希望者の資格、条件等

受講希望者は次の条件を満たすものとします。

○外国(日本国以外)の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者で、帰国時点にその大学に在籍している者(1年生を除く)。

○日本語能力試験2級の日本語能力を有する者。

(4) 達成目標

日本語能力の向上を目指すとともに(日本語能力試験N1合格)実体験を通して日本文化を学びます。

(5) コース期間

2014年10月1日～2015年9月30日 修了式は9月を予定

(6) 研修科目の概要

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授業科目からなります。

- ① 日本語
日本語会話、日本語読解、日本語学、日本語教育などに関する講義科目
- ② 日本文化実習・演習
日本の生活と言語、衣食住、生活と自然、生活と美術、生活と音楽に関する実習あるいは演習科目
- ③ 日本文化講義
日本事情、日本の文学、歴史と社会、自然、生活文化に関する講義科目
- ④ 特別研究
本プログラムのための特別科目(「日本語・日本文化研究」、「修了論文」)(必修)は1年を通じて課されます。

① 授業科目と単位数(時間数)(必修科目、選択科目等)

授業科目 区分 (修了要件 単位数)	授業科目名	単位数(時間数)		必修	選択	
		第1期	第2期			
(2 単位 以上)	上級日本語コミュニケーション		1(30)	○		
	日本語リーディング	1(30)			○	
	国語学Ⅰ	2(30)			○	
	国語学Ⅱ(音声言語及び文章表現を含む)		2(30)		○	
	国語・国字論	2(30)			○	
(2 単位 以上)	日本語教育		2(30)		○	
	(日本の生活と言語)	書写・書道演習		2(30)		○
	(日本の衣食住)	調理学実習		2(60)		○
	(日本の生活と自然)	フィールドワーク技法Ⅰ		2(30)	○	
	(日本の生活と美術)	工芸実技		2(60)		○
工芸演習		2(30)			○	
(日本の生活と音楽)	器楽演習Ⅰ	2(30)			○	
	合奏演習	2(30)			○	
(2 単位 以上)	(日本事情)	日本事情		2(30)	○	
	(日本の文学)	文学と読解		2(30)	○	
		児童文学論		2(30)	○	
	(日本の歴史と社会)	初等社会Ⅰ		2(30)	○	
		暮らしのなかの憲法	2(30)			○
	(日本の自然)	植物学		2(30)		○
		地学	2(30)			○
		地史学		2(30)		○
	(日本の生活文化)	食物学Ⅰ (食品及び栄養学を含む)	2(30)			○
		食物学Ⅱ		2(30)		○
住居学(製図を含む)		2(30)			○	
初等家庭		2(30)			○	
体育・スポーツ文化論Ⅰ		2(30H)			○	
特別研究 (4単位)	日本語・日本文化研究				○	
	修了論文				○	
修了要件単位数 計		20以上				

注1. 2013年4月1日現在の授業科目であり、変更の可能性が有ります。

注2. 第1期は、2014年10月～2015年3月、第2期は、2015年4月～2015年9月を示します。

注3. その他の学校教育学部開設授業科目についても、授業担当教員の許可を得て、履修することが可能であり、修了要件の修得単位に含むことができます。

注4. 大学院の日本文化理解教育プログラムの授業科目(講義科目のみ)を、授業担当教員の許可を得て、聴講(単位修得は不可)出来ます。

②見学、地域交流等の参加型科目

1) 教育現場体験研修

近隣小・中・高等学校での授業参観及び授業参加を行い日本の教育現場、教育事情の体験研修を実施しています。

2) 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるよう1泊2日の日本文化体験研修を実施しています。

3) 日本文化実習

地元加東市を中心に、日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーとの交流行事や、茶道、華道体験を実施しています。



近隣の学校で教育実習体験



華道体験

(7) 主な年間行事

- 10月 秋学期開始
フレンドシップファミリーとの対面式
- 11月 加東市秋のフェスティバルに参加
日本文化研修旅行(日帰り)
学祭への参加(留学生ブース出店)
- 12月 留学生実地見旅行(1泊2日),
- 1月 留学生による国際シンポジウム
- 2月 近隣学校への国際交流授業に参加
- 4月 地域住民とお花見交流会
- 6月 留学生歓迎パーティー
- 7月 茶華道体験
- 8月 学習成果発表会、加東市夏のまつりに参加
- 9月 日本語・日本文化研修留学生修了式



浴衣を着て日本の夏まつりを体験

(8) 指導体制

- 1) 指導教員
大学教員が指導教員となり、責任を持って留学生の関心に合致した個別指導を行います。
- 2) 学業面の個別指導
指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文(レポート)指導を行います。
- 3) チューター制度
チューターは、留学生を一对一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生生活をサポートします。
- 4) 相談体制
国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの相談に応じています。

(9) コースの修了要件、修了証書の発行

①コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位 を取得し、特定の課題についての修了論文(レポート)を作成のうえ、研究発表を行うこと。
また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

② 修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件を満たした者に対し、修了証書(英文・和文)を発行します。



③ 修了時に求められる日本語能力のレベル

日本語により修了論文(レポート)を作成し、日本語での研究発表・質疑応答が出来る日本語能力が求められます。

◇修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール及びSNS等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

<2013コース学生の体験談>

(大使館推薦 ブラジル)

日本に来てから今週で2ヶ月になりました。まだ短い時間ですが、もう色んな体験がありました。実は、初めに日本の大きい町に行きたかったのですが、加東市に来た後、思いが変わりました。田舎に住むと、英語が出来る人が少ないので、毎日日本語だけで話さなければなりません。ですから、早く日本語が上手になれる。そして、小さい町ですから、日本の伝統的な文化も学べます。ここにいた時間はただ2ヶ月ですが、友達がたくさん出来ました。加東市のみなさんは親切ですし、優しいです。なにに問題があったら、みんなはいつもそばにいて教えてくれます。大学にも色んなイベントがあって、楽しい毎日です。それだけじゃなくて、国際交流チームのおかげで、留学生達と一緒に色んな所へ旅行ができます。もっと日本の文化について勉強したいし、もっと日本語が上手になりたいと思います。人生でこのチャンスは一回だけなので、これからも一生懸命頑張ります！



◇宿 舎

大学キャンパス内の国際交流会館にはバスルーム・バルコニー・家具付の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

◇問い合わせ先

担当部署 兵庫教育大学 教育研究支援部学生支援課 国際交流チーム

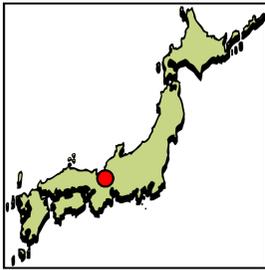
住 所 〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

Tel +81-795-44-2043 Fax +81-795-44-2049

E-mail office-ryugaku-t@hyogo-u.ac.jp

大学ホームページ <http://www.hyogo-u.ac.jp/>





HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION (HYOGO)



Special Features of the Course

Meet the Soul of Japan at our university harmonize nature, culture and people!

◇Introduction to Hyogo University of Teacher Education

(1) Outline and Characteristics of the University

Hyogo University of Teacher Education was founded in October 1978, and mainly in both our graduate School of Education (master's course), which conserves opportunities for advanced research and study in depth of school education by in-service teachers, and the School of Education, which fosters elementary school educators.

Furthermore in April 1995, the Joint Graduate Schools in School Education at Hyogo University of Teacher Education established the first doctoral program in the field of teacher training in Japan.

We, Hyogo University of Teacher Education are the university with approximately 1,600 students study in our undergraduate and graduate programs and with teaching staff experts in a wide range of fields.

Learning Environment

The university located in a part of great Harima plains, with nature-rich environment for study. In our great campus area of 400,000 square meters, the university functionally establishes university library, research and education building with modern research facilities and equipment. The student dormitories are fully equipped in order to provide comfortable campus life.

Many of the teachers and the staff with global and international mind are posted and the connecting Friendship Family System with Kato City is well prepared as our supporting organization.

Since the students who have different nationalities are on the university register, the opportunities of international exchange are on the increase and highly extensive studies are expected.

(2) International Exchange Universities with Agreements on Academic Exchange (14 universities):

U.S.A.: Peabody College of Vanderbilt University, University of Wisconsin, Eau Claire

Republic of Korea: Seoul National University of Education, Daegu National University of Education, Geongin National

University of Education, Jengju National University of Education People's Republic of China: South China Normal University, Hainan Normal University, Hunan Institute of Science and Technology, Zhejiang Normal University

(Taiwan): National PingTung University of Education, National Taichung University of Education, National Taipei University of Education

Kingdom of Thailand: Regional Rajabhat Universities

(3) Number of International Students (past 3 years) and Students of Japanese Studies Program

Year	Number of Oversea Students	Number of JSP Students		
		China	India	Brazil
2011	98	1		
2012	91	3	1	
2013	77	2		1
Total	266	6	1	1

(4) Characteristics of the Area

You are able to learn not only from the practicum of Japanese language and culture course in our campus, but also so many things from the surrounding area.

There are both material and non-material of many cultural assets under the fascinating environment such as the national treasure of Choko Temple.

With the rich nature environment, you are able to enjoy the variety of four seasons and actual studies experiencing with fishing and field trip and so on.

Also you are able to study traditional culture which people of Japan feel it as their home of soul, spending so many times with local people in our local events of Shinjimai, Onioi Dance, Autumn festivals and so on.

◇Course Description

(1) Characteristics of the course

This course is designed to learn genuine Japanese environment and Japanese people exploring the soul of Japan in 6 month. The subject of lectures and exercises for learning the Japanese language to enrich the consideration towards

Japanese culture, and the field trip to Kyoto and Nara are arranged. Also this program includes the participation of lecture meeting for international exchange, and the other local cultural events of the season such as flower, summer, autumn, new years festivals.

(2) Students Accepted: 10

(Embassy Recommended 4, University Recommended 6)

(3) Applicant Qualifications and Conditions

Applicants must meet following conditions

○Currently studying at a foreign university (outside of Japan) in department or faculty with education related to Japanese language /culture and will be a student of university when returning from studies in Japan (excluding first year students)

○Students with Japanese language skills approximately equivalent to JLPT 2

(4) Target of Achievement

To improve the Japanese language capability (to pass JLPT 1) and learn Japanese culture through the real experiences.

(5) Period of Course: October 1, 2014–September 30, 2015

Completion ceremony is scheduled on September.

(6) Outline of Subjects Offered:

The program consists of four subject areas: Japanese Language Studies, Japanese Life and Cultural Practices, Japanese Cultural Studies, and Student Research Studies

① Japanese Language Studies: Japanese conversation, reading, linguistics, teaching Japanese as a second/foreign language, etc.

② Japanese Life and Cultural Practices: Practical experience with Japanese daily life and language, clothing, food and housing, life with nature, art, and music.

③ Japanese Cultural Studies: Lectures related to modern Japan, Japanese literature, history and society, nature, and lifestyle.

④ Student Research Studies: Required student research for this program (Japanese language/culture, final thesis) is assigned throughout the year. Students learn basic concepts, techniques, and methodology for teaching and doing research on the Japanese language and culture under guidance from their supervisors. At the completion of the course they create and present a final thesis (report) on the subject of their choice.



① **Subjects and Unit-Hours (hours)** (Compulsory subject, Elective subject , etc.)

	Name of Subject	Credit (hours)		Compulsory	Elective	
		1st Semester	2nd Semester			
Japanese Language Studies (more than 2 credit)	Japanese for Communication II		1 (30)	○		
	Japanese for Reading	1 (30)			○	
	Japanese Linguistics I	2 (30)			○	
	Japanese Linguistics II (Including Spoken and Written Expression)		2 (30)		○	
	Japanese Language and its Orthography	2 (30)			○	
	Teaching Japanese as a Second or Foreign Language		2 (30)		○	
Japanese Life and Culture Practices (more than 2 credit)	(Japanese Lifestyle and Language) Penmanship and Calligraphy Practicum		2 (30)		○	
	(Japanese Food, Clothing and Housing) Practicum in Cooking		2 (60)		○	
	(Japanese Life with Nature) Practical Methods for Field Work Studies I		2 (30)	○		
	(Art in Japanese Life) Crafts in Practice			2 (60)		○
		Introduction to Crafts	2 (30)			○
	(Music in Japanese Life) Instrumental Music I		2 (30)			○
Instrumental Ensembles		2 (30)			○	
Japanese Culture Studies (more than 2 credit)	(Modern Japan) Modern Japan		2 (30)	○		
	(Japanese Literature) Literature Reading and Interpretation		2 (30)		○	
		Children's Literature or Seminar on Children's Literature		2 (30)		○
	(Japanese Society and History) Study of Elementary School Subjects (Social Studies I)		2 (30)		○	
		The Constitution of Japan	2 (30)		○	
	(Nature in Japan) Plant Biology		2 (30)		○	
		Principles of Geology	2 (30)		○	
		Geo-history	2 (30)		○	
	(Life Science in Japan) Food Science I (including sitology and nutrition)		2 (30)		○	
		Food Science II		2 (30)	○	
		Housing and Interior Design (including drawing)	2 (30)		○	
		Elementary domestic science	2 (30)			
Cultural Theory of Physical Education and Sport I		2 (30)		○		
Student Research Studies	Japanese Language and Culture			○		
	Final Thesis			○		
Completion Requirement Units		More than 20 Credit				

Note 1. Subjects listed are correct as on April 1, 2013 and are subject to change.

Note 2. The first semester is from October 2014 to March 2015, and the second semester is from April 2015 to September 2015.

Note 3. Students may enroll in other subjects offered by the Department of School Education with the permission of the professors to gain credits towards the completion requirements.

Note 4. With the permission of the professors, students may attend to lectures (without gaining credit) for other subjects from the Graduate School Japanese Cultural Studies Program (lectures only).

② **Subject as Visits, Associate with local community, Practicum**

1) **Practicum on Educational Scene**

Participate and observe the school class in our local community, junior high, High school and elementary school, Experience the Japanese Educational Scene

2) **Program for Japanese Cultural Experience**

Over night practicum program for international student to learn Japanese culture.

3) **Practicum on Japanese Culture**

Practice Japanese traditional experiences as Japanese custom with local people such as Kato Friendship Families around the Kato city.



Teaching Practicum at Local School

Traditional Flower Arrangement



Summer festival with wearing Yukata

(7) **Annual Events**

Oct. Semester Commencement, Meeting with Friendship families

Nov. Kato city Festival (International Students' shop) Japanese cultural practicum (Excursion), School Festival (Oversea Students' booth)

Dec. Over night Trip

Jan. International Symposium including oversea students

Feb. Visit Local school classes

Apr. Local Flower Festival

Jun. Welcome Party, Kato International Salon

Jul. Practicum of Tea ceremony and Flower arrangement

Aug. Presentation of Research, Kato Summer Festival

Sep. Completion Ceremony of JSP

(8) Program Guidance

① Academic Supervisor

A university's teaching staff will serve as an academic supervisor and provide individual guidance in meeting the student's academic interests.

② Academic Guidance

Academic supervisors meet weekly throughout the year with the student to give advice regarding Japanese language and the final thesis.

③ Student Tutor

Each JSP student will have a student tutor, who is a Japanese student and support you in your daily life and academic research. Also, they'll be one of your good friends and adviser during your stay in HUTE.

④ Consultation System

Students can have counseling from the staff at the Student Support Department service counter or by the International House Counselor at the International House Foreign Student Consultation Office.

(9) Course Completion Requirements, Issuance of Completion Certificate

① Course Completion Requirements

Completion of units per subject category as below, and a total of at least 20 units, writing a final thesis (report) on a chosen topic, presentation of research, and performance of the above Japanese Culture Practicum.

Japanese Language	Japanese Life and Cultural Practices	Japanese Cultural Studies	Student Research Studies	Total Completed Units
More than 2	More than 2	More than 2	4	More than 20

② Issuance of Completion Certificate

A student who completes the above completion requirements in the first and second semester will be issued a Completion Certificate (in English and Japanese).

③ Japanese Proficiency at Completion

Must have sufficient Japanese ability to create the final thesis (report), present research, and respond to a question and answer session in Japanese.

◇ Follow-up for graduates

After graduation, we keep in touch through Social Network Service and so on, pursuing your careers. Also providing the counseling for father course to take in our graduate school.

<Comments from predecessor>

It has been two months in Japan. In this short time, I had already variety of experiences.



(Completed 2013 Brazil Embassy Recommended)

Actually, I did want to go large city in Japan first, but I changed my mind since I came to Kato city. In such small town, I rarely see English speaker and such environment pushes me to speak in Japanese everything all time. This is an ideal life to practice Japanese and develop my skill. Also, this small city preserves its identity of traditional Japanese culture and gives me opportunity to learn and experience it.

In these two months, I got many new friends. Kato city people are friendly and caring. If I got in trouble, someone is always with me to solve the problem. We are enjoying also variety of event in this university and having good time. The university office helps international students to visit interesting spot outside of university.

I'll learn Japanese culture more, improve my Japanese skill and make the most of this once-in-a-lifetime opportunity.

◇ Accommodations

Furnished private rooms are available with bathroom and balcony in the International House on campus.



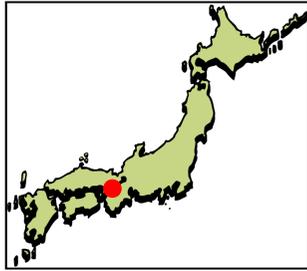
International House



Private Room

◇ Inquiries:

Staff: International Exchange Team of the Student Support Division
Address: 942-1, Shimokume, Kato City, Hyogo 673-1494 JAPAN
Phone: +81-795-44-2043 Fax: +81-795-44-2049
E-mail: office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp
Website: <http://www.hyogo-u.ac.jp/>



神戸大学

(兵庫県)



高度な日本語習得と研修旅行等による日本文化の理解を深めるコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 歴史と特色

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置された神戸高等商業学校を創立の起点としており、100年をこえる歴史をもっています。

現在、国立大学法人として、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を想像するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを本学の使命として、11学部・14研究科を開設、1研究環・1研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学では、国際都市である神戸という環境を反映して「異文化との交流」を重視し、多様な個性と専門性をもつ異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育・研究環境を備えています。

2) 教職員・学生数等(2013年5月現在)

- ・教員数：1,307名
- ・事務員数：1,130名
- ・学生数：学部学生 11,869名
大学院学生 4,712名
計 16,581名
〈内留学生数 1,123名(81カ国・地域)〉

② 国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や留学生の交換を積極的に進めており、世界49カ国・地域の著名な大学や研究所など、延べ233機関と学術交流協定を結んでいます。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

- 2013年：留学生数 1,123人、日本語・日本文化研修留学生 9人
- 2012年：留学生数 1,132人、日本語・日本文化研修留学生 7人
- 2011年：留学生数 1,108人、日本語・日本文化研修留学生 5人



④ 地域の特徴

神戸大学の所在地である神戸市は、1868年に兵庫港として開港以来、国際貿易の拠点として栄え、海外から多くの人や文化を受入れ、海と山に囲まれた国際都市として発展してきました。

また、神戸市は兵庫県の県庁所在地として、地方行政、経済、文化、教育の中心的役割を担い、国内でも有数の大都市です。

■コースの概要

① コースの特色

高度な「日本語」を学ぶ中で、研修旅行や地域の教育機関や文化施設への見学、文化行事への参加などを体験し、様々なアプローチで日本を学ぶことが可能です。また、日本人学生と共に行う交流事業等において相互の国際感覚を養うことができます。

留学生センターに在籍し、日本語を中心に次の科目を学びます。

a. 必修科目「課題研究」では

各研修生が指導教員と相談のうえ研究課題を設定し、指導教員より助言を受けながら研究をします。

b. 選択必修科目では

入学後に実施するプレースメントテストにより、日本語能力別にクラス配置を行い、「日本語Ⅰ～Ⅷ」「日本事情Ⅰ・Ⅱ」(上級レベル対象)と「会話・聴解Ⅲ～Ⅴ」「読解・作文Ⅲ～Ⅴ」「漢字語彙Ⅲ～Ⅴ」「日本語特別演習Ⅰ～Ⅳ」「日本文化演習」「異文化コミュニケーション」(中上級レベル対象)に別れて学習します。

上級者レベル

学術的なトピックを中心とした日本語学習を通して、大学での勉学・研究を円滑に進めることのできる日本語運用能力を養成することとし、技能別に能力が磨けるように、作文、文法、会話、聴解、読解の授業内容となっています。また、日本の社会・文化・歴史等について、幅広い知識を学ぶとともに、専門分野の学習・研究への適応能力の養成を図ります。

中上級者レベル

日本語運用能力を補強することを目的として、文法、会話表現、読解、作文表現、漢字語彙と技能別に学習するとともに、日本文化についても学習します。

c. 選択科目では

研修生各自の問題意識・関心に応じて、本学の学部において開講されている関連分野の専門教育科目を履修させ、日本文化に関する知識を深めさせるとともに、日本語・日本文化の修得に必要な方法論・技能等を習得させ、日本語・日本文化研究のための基礎を養成します。

② 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)

③ 受講希望者の資格、条件等

受講の資格・条件として、以下の全ての要件を満たす必要があります。

・身分及び専攻

外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化を主専攻として履修している学部学生。（ただし、1年次生を除く）

・日本語能力及び学業成績

すでに基礎的な日本語の学習を修了し、本学において日本語で行われる日本語・日本文化等に関する授業を受講できる日本語能力（日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験1級」（新基準「N1」以上）を有する者で、在籍する大学における学業成績が上位の者。

・その他

大学推薦による受入れは、本学と学術交流協定締結大学からの受入を優先します。

④ 達成目標

日本語の教育研究者、日本語通訳者・翻訳者あるいは日本文化に関する教育研究者・専門家を目指す留学生に対して、高度な日本語能力と日本文化についての深い知識と理解が得られる教育環境を提供し、習得させることを目的としています。

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ～ 2015年9月30日

修了式は9月を予定（前年度：2013年9月4日）

⑥ 研修科目の概要

授業は、秋学期・春学期の二学期制で開講しており、日本語・日本文化に関する研究を行う「課題研究」を必修科目、日本語のレベルにより選べる選択必修科目、日本文化を学習する選択科目の三形態の授業区分から構成されています。

1) 必須科目

留学生センター開設科目

授業科目区分	授業科目	秋学期	春学期
必修科目	課題研究	2単位(30時間)	2単位(30時間)
選択必修科目	日本語 I～Ⅷ	4単位(120時間)	4単位(120時間)
	日本事情 I・II	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	会話・聴解 III～V	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	読解・作文 III～V	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	漢字語彙 III～V	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	日本語特別演習 I～IV	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	日本文化演習	1単位(30時間)	1単位(30時間)
	異文化コミュニケーション	1単位(30時間)	1単位(30時間)

2) 見学、地域交流等の参加型科目

実体験することを目的とした科目（体験レポート）

- ・日本文化とふれ合う＜日本文化体験旅行や研修旅行＞
- ・地域交流とふれ合う＜地元の催しに参加及び日本人学生や小学生との交流研修＞

3) その他の講義、選択科目等

他学部開設科目

授業科目区分	授業科目	第1期	第2期
選択科目	日本の社会	2単位(30時間)	2単位(30時間)
	日本の歴史	2単位(30時間)	2単位(30時間)
	日本の文化	2単位(30時間)	2単位(30時間)
	日本の文学	2単位(30時間)	2単位(30時間)
	日本の芸術	2単位(30時間)	2単位(30時間)
	日本の教育	2単位(30時間)	2単位(30時間)

備考

- ① 第1期は2014年10月～2015年3月、第2期は2015年4月～2015年9月とする。
- ② 必修科目は全員が履修するものとする。
- ③ 選択科目は各学期ごとに5科目以上履修すること。
- ④ 第1期・第2期を通じて、必修科目、選択必修科目及び選択科目をあわせて20単位以上を履修すること。

⑦ 年間行事

- 10月 入学式・オリエンテーション
 - ・学生生活及び日本での生活指導
 - ・日研生プログラム開講式・歓迎会
 - ・日本語プレースメントの実施
- 11月 日本文化体験旅行
 - ・丹波の焼き物体験他
- 12月 国際学生交流シンポジウム他
 - ・日本人学生との交流シンポジウム
 - ・地元の年末イベントに参加し交流
- 1月 スキー講習会（5泊6日：自由参加）
 - ・日本の冬を体験するイベント
 - ・地元小学校の児童との交流会
- 6月 3泊4日研修旅行
 - ・日本の文化に触れる研修旅行
- 7月 課題研究の発表会
 - ・作成した課題研究の発表
- 8月 地域交流会への参加
 - ・地元の夏祭りに参加し交流
- 9月 日本語・日本文化研修修了
 - ・日研生プログラム修了式・送別会

日本文化体験旅行



沖縄研修旅行

⑧ 指導体制

ハリソン教授を当プログラムの全体総括として、留学生センターの各部門の先生が指導します。

1) プログラム実施委員

留学生センター専任教員

實平 雅夫	教授	(日本語教育)
リチャード ハリソン	教授	(日本語教育)
高梨 信乃	教授	(日本語教育)
齋藤 美穂	准教授	(日本語教育)
川上 尚恵	講師	(日本語教育)
朴 秀娟	講師	(日本語教育)
朴 鍾祐	教授	(日本語教育・日本文化)
河合 成雄	教授	(イタリヤ文学・アドバイザー)
黒田 千晴	准教授	(異文化間教育・アドバイザー)

他、協力教員15名

2) 指導方法

学生は留学生センターに所属し、センターの教員から指導を受けます。

a. 学業面

1年間を通して「課題研究」の指導を行います。

b. 生活面

1年間を通して、上記の指導教員及び留学生センター相談指導部門の専任教員2名が必要に応じて相談業務にあたります。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

秋学期・春学期を通じて、必修科目(4単位)、選択必修科目(4単位)、選択科目を合わせて20単位以上を修得すること及び研究課題の発表を修了要件としており、この要件を満たした者に修了証書を授与します。

成績判定にあたっては、留学生センター教員による留学生センター教員会議で総合的に判定されます。

なお、単位の付与はできませんが、各学期末に成績表を交付します。また、留学生の在籍する大学から照会があった場合には、授業内容や成績に関する資料の提供には応じます。

■ 宿 舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の運営する留学生用宿舎へ入居できるとは限りません。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もあります。

なお、大学では夫婦・家族室については用意できません。

(1) 神戸大学(インターナショナル・レジデンス宿舎 他3ヶ所)

- ・入居期間は1年です
- ・寄宿料 月額 4,700円～21,000円(平成26年度～)宿舎によっては、共益費等が必要な場合があります。
- ・通学時間は、電車を利用して30～50分
- ・その他(光熱水費等は各自で負担となります。)

(2) 民間アパートの場合

民間のアパートでは、家賃月額 50,000円程度となります。(光熱水費別)

* 民間のアパート等では、日本独特の制度で敷金、礼金が別途必要になります。

■ 修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入(登録)を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせすると共に進学や就職に関する相談などキャリアサポートも行っています。更に、同窓生間の情報交換に役立てています。

日研生プログラムを修了した留学生が、在学する大学を卒業後に日本の大学院への進学を促進こととなります。

本学を修了した過去9年間の修了生68名のうち10名以上が、本学又は他大学の大学院に進学しています。

また、半分以上の修了生が日本企業や日本関連の仕事に就いています。

Facebook:

Kobe University International Alumni Association
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni>

■ 問い合わせ先

(担当部署)

神戸大学

住所 〒657-8501
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

事務担当

国際部留学生課

TEL +81-78-803-5263 (直通)

FAX +81-78-803-5289

E-mail intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

実施担当

留学生センター(留学生交流推進部門)

TEL +81-78-803-5275 (直通)

ソーシャルメディア

神戸大学HP

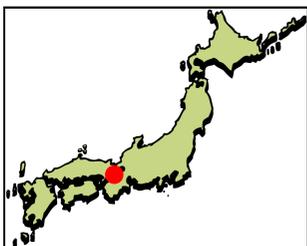
<http://www.kobe-u.ac.jp>

神戸大学留学生センターHP

<http://www.kobe-u.ac.jp/international/student/kisc.htm>

Facebook:

Kobe University International Student Center
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter>



Kobe University

(Hyogo)



Understanding Japanese culture through a high-level Japanese language program and study tours

■ Kobe University

① Outline of Kobe University

1) History and Background

Kobe University has more than 100 years of history, having started as Kobe Commercial High School in 1902.

Currently, there are 11 faculties, 14 research schools, 1 research office, and 1 research institute with several university wide centers, working in a spirit of integrity, freedom, and cooperation in keeping with its open and cosmopolitan culture and environs, aims to contribute to the global community through the creation of knowledge founded on universal values and the fostering of rich understanding and strong leadership skills.

Being situated in the city of Kobe that prides itself on cross-cultural exchange, it is an ideal location for learning in an environment where exchange with scholars from many different backgrounds and disciplines is encouraged.

2) Staff • Students (as of May 2013)

• Staff :	1,307
• Admin :	1,130
• Students :	
Undergraduates	11,869
Postgraduates	4,712
Total	16,581

<International Students 1,123 (from 81 regions)>

② International Exchange

Kobe University has academic exchange agreements with 233 universities and research institutions in 49 countries worldwide.

③ Statistics on number of International Students and Nikkensei at Kobe University over the last 3 years

2013 :	International Students	1,123	Nikkensei	9
2012 :	International Students	1,132	Nikkensei	7
2011 :	International Students	1,108	Nikkensei	5



④ Kobe Area

Kobe University is located in the city of Kobe, which is a cosmopolitan port city surrounded by the sea and mountains. Kobe has developed into a major international trading center in Japan since opening the port in 1868.

Kobe is the major city in Hyogo prefecture and is the regional center of government, economy, culture and education in the region.

■ Course Outline

① Course

In this course it is possible to learn Japanese to a high level through several methods, including study tours, trips to educational and culture facilities and participate in various cultural events, in the local community in Kobe. Furthermore, you will be able to develop your inter-cultural communication skills by participating in many exchange activities with Japanese students.

You will be affiliated to Kobe University International Student Center (KISC) and take the following classes.

a. Compulsory Research Project

You will choose a research topic and receive supervision from the KISC staff at different stages in the research.

b. Compulsory subjects

You will take a placement test at the beginning of the course and this will determine which Japanese classes you take. These include Advanced Classes in Japanese and Japanese Culture, Listening/Speaking, Reading/Writing, Kanji, Special Japanese, Japanese Culture and intercultural communication.

Advanced Level

These classes include composition, grammar, conversation, listening, reading, and are aimed at improving your Japanese competence to be able to use Japanese for academic purposes for attending classes and conducting research in a university environment. Also, as well as learning about Japanese society, culture, history etc. you will acquire a wide knowledge of specialist subjects.

Upper Intermediate Level

These classes are aimed at strengthening your competence in different skills in Japanese such as writing, reading, conversation and listening as well as learning about Japanese culture.

c. Elective classes

You will be able to choose specialist subjects in other faculties to further your studies of specialist interests that you will have as students of Japanese language and culture. These classes will allow you to develop a richer understanding of these specialist areas.

② Number of Students

10 (5 Embassy applicants, 5 university applicants)

③ Conditions for Application

Applicants must fulfill all the conditions below.

▪ Status and Field of Study

You must be registered at an overseas university and taking classes in Japanese language and culture as an undergraduate student(1st year students are excluded)

▪ Japanese language proficiency and grades

You must have completed a basic course in Japanese language and have competence in Japanese to take undergraduate classes offered in Japanese at Kobe University

(This is equivalent to attaining N1 level in the JLPT, and having excellent grades in other subjects at your university)

▪ Other

For students applying through their universities, we give preference to students applying from universities that have a formal exchange agreement with Kobe University.

④ Aims of the Course

The aim of this course is to provide an environment in which you can improve your competence in Japanese to a high level as well as deepening your understanding of Japanese culture, suitable to students aiming to be experts in Japanese studies looking to go on to be researchers on Japanese studies, translators/interpreters, or teachers.

⑤ Period of Study

1st October 2014 ~ 30th September 2015

Completion ceremony is held in September (Ceremony of the previous year: 4 Sept 2013)

⑥ Outline of classes available

Classes are available in the Autumn and Spring semesters. The one-year research project is compulsory as are the Japanese classes offered by KISC. Classes in other faculties are elective.

1) Compulsory subjects

KISC subjects

Class Type	Class	秋学期	春学期
Compulsory	Research Project	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
Elective classes	Japanese I ~ VIII	4 credits (120 hrs)	4 credits (120 hrs)
	Japanese Studies I ~ II	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Conversation III ~ V	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Reading/Writing III ~ V	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Kanji/Vocab III ~ V	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Special Japanese I ~ IV	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Japanese Culture	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)
	Cross-cultural Communication	1 credits (30 hrs)	1 credits (30 hrs)

2) Study tours, and outside activities

Subjects for experiencing Japanese culture

▪ Japanese cultural trips <Cultural and Study tours>

▪ Community activities <Exchange programs with local community organizations, schools and Japanese students>

3) Other subjects and elective classes

Subjects in other faculties

Class Type	Subject	1st Sem	2nd Sem
Elective	Japanese Society	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
	Japanese History	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
	Japanese Society	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
	Japanese Literature	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
	Japanese Art	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)
	Japanese Education	2 credits (30 hrs)	2 credits (30 hrs)

NB

① Sem1 is Oct 2014 ~ Mar 2015, Sem2 is Apr 2015 ~ Sept 2015

② All compulsory subjects must be taken

③ You must choose 5 or more elective classes each semester

④ You must attain 20 credits over the two semesters to complete the course

⑦ Events Program

October: Entrance Ceremony, Orientation

- Advising on student life in Japan
- Nikkensei opening ceremony, welcome party
- Japanese language placement test

November: Japanese Culture Study tour

- Pottery at Tanba Region etc.

December: Kobe University International Student Symposium (KISS)

- Exchange symposium with Japanese students
- Participation in end of year activities in the local community

January: Ski Trip (5 nights, 6 days)

- Experience Japanese winter
- Exchange event with local primary schools

June: Nikkensei Study Tour

- Study tour on Japanese culture

July: Presentation of Research Project

- Presentation of research project results

August: Exchange activities with local community

- Summer Festival

September: Ceremony for completion of course

- Ceremony and farewell party



Japanese Culture Trip

Okinawa Culture Trip

⑧ Supervision

Professor Richard Harrison is in overall charge of the program.

1) Program Members (Full-time Staff at KISC)

Prof. Masao Sanehira (Japanese language)
Prof. Richard Harrison (Japanese language)
Prof. Shino Takanashi (Japanese language)
Assoc. Prof. Miho Saito (Japanese language)
Assist. Prof. Naoe Kawakami (Japanese Language)
Assist. Prof. Soo Yun Park (Japanese Language)
Prof. Jong Woo Park (Japanese language)
Prof. Naruo Kawai (Italian Literature, Advising)
Assoc. Prof. Chiharu Kuroda (Cross-Cultural Education, Advising)

There are approx. 15 other support teaching staff

2) Supervision

Students are affiliated to KISC and receive supervision from KISC staff.

a. Study

KISC provides supervision for 1-year research projects

b. Living

KISC has two advisors to provide counseling on living in Japan.

⑨ Completion of the course

You will need to attain 20 credits to complete the course (including 4 compulsory, 4 elective compulsory) and complete the 1 year research project to complete the course. After which, you will receive a certificate of completion.

Grades will be determined by the full-time members of staff at KISC.

We are unable to give credits, but for each of the two semesters we will give grades that can be passed on to your home institution.

■ Accomodation

Kobe University can only provide limited accommodation in university dormitories due to a sharp increase in the number of international students.

If dormitory accommodation is not available you will be offered public housing.

Kobe University is not able to provide accommodation for couples.

1. Kobe University International Student Dormitory International Residence Other: 3 sites
 - Period of stay is 1 year
 - Rent is ¥4,700~21,000 per month (2014 year)
 - * May be required: common service charge, etc
 - Commuting time to university 30-50 minutes by train
 - Additional costs (utility costs are borne by the individual)
2. Public apartments.
 - Monthly rent is around ¥50,000 per month
 - * Deposits (Shikikin and Reikin) are necessary as part of the Japanese system for renting apartments.

■ Follow-up support for ex-Nikkensei

Students who have completed this course are included in our Alumni database, which we use to send information to students about further study opportunities and career advice. It is also used for information exchange between alumni groups.

We also help students who have completed the course to go on to further postgraduate studies in Japan.

In the 9 years since this program started here at Kobe University, of the total of 68 students who took this course, more than 10 students have gone on to conduct postgraduate research in Japan. Also, more than half of the total number have found employment with Japanese or Japan-related companies.

Facebook:

Kobe University International Alumni Association
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni>

■ Enquiries

Kobe University

Address

〒657-8501
1-1 Rokkodai, Nada-ku, Kobe, Hyogo

Office

International Section
TEL +81-78-803-5263 (direct line)
FAX +81-78-803-5289
E-mail intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

Assoc. Professor Richard Harrison
Kobe University, International Student Center (KISC)
(Section for Promotion of Exchanges)
TEL +81-78-803-5275 (Direct)

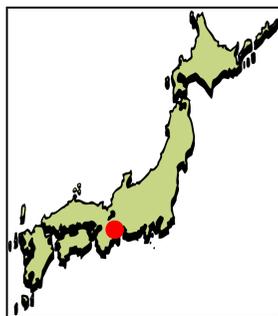
Social Media

Kobe University
<http://www.kobe-u.ac.jp>

Kobe University International Student Center
<http://www.kobe-u.ac.jp/international/student/kisc.htm>

Facebook:

Kobe University International Student Center
<https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter>



奈良教育大学 (奈良県)



・日本語・日本文化実地検証プログラム---やまと---

◇大学紹介

①大学の特色及び概要

1)特色と歴史

本学は1888年奈良県尋常師範学校として創設され、2008年11月に120周年を迎えた。この間女子師範学校、青年師範学校と合併、名実ともに教員養成機関として面目を一新、1949年5月に奈良学芸大学、1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。本学は高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

また、教員実践の経験をふまえた教育理論の見直し、再編成の場として教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置している。

2)教員・学生数等：教員数 115人 学生数 1,407人

②国際交流の実績

留学生教育に関しては、小規模大学としては充実しており、教員養成大学の特性(多岐に渡る専門領域の教育が実施されている)を生かし、所在地である古都・奈良の特色も生かした教育で高く評価されている。現在7か国11大学と国際交流協定を結んでおり、22か国から83名の留学生在籍している。全学に占める留学生の割合は約6%である。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生(以下、「日研生」という。)の受け入れに関しては実績があり、1987年に初めて1名を受け入れて以来、現在までに約40か国から約170名の受け入れ実績がある。日研生にとって、本学は日本の伝統文化と現代文化を同時に実地検証できる絶好の場であると言える。(④奈良市の特色参照)

③過去3年間の留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

年	留学生数	日研生
2013年	75名	16名
2012年	83名	16名
2011年	67名	5名

④奈良市の特色

本学が位置する奈良市は、人口約37万人で大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くことができる利便性があり、かつ8世紀には都であったことから、古都としての伝統が色濃く残る、いわば過去と現在が交差する希有な都市である。

また、2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良は、益々国際交流に力を入れており、留学生に対しては地域からの期待も大きく、またよくサポートを受けている。

◇コースの概要

①コースの特色

本学は世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで徒歩圏であるばかりでなく、本学の構内で8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、他にはない特色を備えている大学である。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおり。

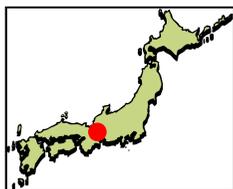
- 1) 日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かし、日研生ができる限り日本文化を実地で検証できる研修内容である。
- 2) 大阪・京都まで1時間以内で行けるといいう利便性を生かし、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義と実地研修の両面で指導する。
- 3) 日本語教育に関して、既存の留学生用授業を組み合わせることによって、日研生の日本語力に応じたレベルの日本語教育が受けられるようにする。
- 4) 日研生対象の日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識を座学で学ぶと同時に、プロジェクトワーク等を取り入れた実践的な日本語使用および文化理解の機会を提供する。
- 5) 日本文化関連の授業、実地検証などにおいて、日研生独自の年間カリキュラムを提供する。
- 6) 教育大学であることの特色を生かし、附属校等の授業に参加したり、子ども達と交流することで、日本の教育の実状も体験できる。
- 7) 留学期間後半では修了レポートの作成に伴い、日研生各自の興味の対象に沿った指導を行う。

②受入定員 大学推薦 5名、大使館推薦 12名

③受験資格等 規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する意欲のある者
日本語能力試験N3以上の日本語能力が望ましい。
また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は日本語学、日本文学、日本語教育、日本学、比較文化学であることが望ましい。

④達成目標 1) 日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる
2) 大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。 ※日研生の多くはJLPT-N1またはN2レベルに到達している

⑤研修期間 2014年10月～2015年8月



奈良教育大学 (奈良県)



⑥コース形態 日研究生用コース。(ただし、下のとおり一部の日本語授業は他の学生と合同。)

⑦授業科目および授業時間数、⑧授業科目の概要

	授業科目	時間数		
		秋学期	春学期	計
日本語	日本語Ⅰ上級 (アカデミック聴解・ディスカッション)	30	30	60
	日本語Ⅱ上級 (アカデミック読解・論文執筆技術)	30	30	60
	日本語コミュニケーション (中上級会話)	30		30
	日本語演習Ⅱ (中上級読解 (アカデミック読解))	30		30
	日本語演習Ⅱ (中上級小論文執筆技術)	30		30
	日本語演習Ⅰ (中上級文学読解)		30	30
	日本語演習Ⅰ (中上級小論文執筆)		30	30
	日本語文献講読 (日本語)		30	30
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修 上記日本語科目は一般留学生との合同授業。 上記日本語科目の履修が困難な者は「日本語中級A」「日本語中級B」の履修が可能 			
日本文化	★※日本文化史		30	30
	★※比較文化論	30		30
	国際文化論	30		30
	比較言語文化論Ⅰ	30		30
	比較言語文化論Ⅱ		30	30

	日本人の宗教観		30	30
	★※現代日本論		30	30
その他	※日本語教育論	30		30
	※日本語教授法特講		30	30
	書道	30	30	60
	★修了レポート指導	—	—	—
日本文化科目、その他の科目のうち、 ★は必修科目、※は日本人学生との科目合同授業				

上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、その他の日本人向け授業を受けることができます。ただし指導教員および担当教員の許可が必要です。

履修可能な日本人向け授業例

日本文学概説
 日本文学史Ⅱ
 アジアの中の日本美術史
 日本史概説Ⅰ
 日本史概説Ⅱ
 日本語の歴史
 日本語学概説Ⅰ (音声言語を含む。)
 日本語学研究Ⅰ



奈良教育大学 (奈良県)



⑨指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。

()内は専門分野

* 頓宮 勝 (インド学、比較文化) tonguu@nara-edu.ac.jp

* 和泉元 千春 (日本語教育学) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

* 加藤 久雄 (国語学) katohs@nara-edu.ac.jp

⑩コースの修了要件、修了証書の発行

以下の要件を満たした場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。

- ・秋学期、春学期で指定された科目を含む合計360時間以上を履修し合格すること
- ・コースで定められた実地研修に参加すること
- ・本コースの成果をまとめたレポートを日本語で作成すること

⑪単位の認定及び単位互換

コースにおいて履修し合格した授業については単位を認定し、大学推薦の学生にあつては、取得単位は協定に基づき互換される。



⑫年間行事等 (2013年度実施)

- 10月 秋季留学生懇談会(歓迎会)
大学祭
- 11月 学習旅行(滋賀県近江八幡市)
- 1月 伝統芸能鑑賞会
- 3月 大相撲見学
- 4月 春期留学生懇談会(歓迎会)
- 5月 学習旅行(三重県答志島)
- 8月 伝統芸能鑑賞会

◇宿舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎(国際学生宿舎、あるいは橘宿舎)に入居する。
寮費 約16,000円/月 (但し、居室光熱費別途)
Wi-Fi設備なし。
インターネットは別途個人で契約が必要。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2500円)、損害賠償責任保険(年額約6000円)に加入する必要があります。
また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。



学生宿舎
(国際学生宿舎)



居室 (橘宿舎)

◇修了生へのフォローアップ

①指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再日を希望する場合には、比較文化及び日本語教育を専門とする留学生担当教員が主として e-mail により助言し、専門領域に応じて、本学で受け入れたり、他大学を紹介している。

②キャリアパス(一例)

日本やその他の国の日本語教育機関において教職、研究職に従事。日本語能力、日本理解を必要とする日本国内外の企業への就職。



学習旅行(答志島)

◇問い合わせ先

大学所在地: 〒630-8528 奈良市高畑町

担当部署: 学生支援課留学生担当

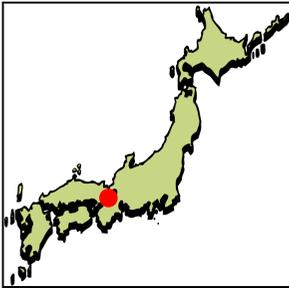
TEL: 0742-27-9148

FAX: 0742-27-9146

E-MAIL: ryugaku@nara-edu.ac.jp

奈良教育大学 国際交流・留学ホームページ:

<http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/Ryugaku/index.html>



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



▪ Program for On-the-spot Experience of Japanese Language and Culture
--- YAMATO ---

◇Introduction of our University

①Outline and Characteristics of the university

1) History and Characteristics

The history of our university started with the foundation of Ordinary Normal School in 1888 and celebrated the 120th anniversary in November 2008. The school itself has been developing into Nara University of Education with the historical background of being in association with Women's Normal School and Youth Normal School to assume a new aspect as teacher training school in reality and in name, or changing its name into University of Liberal Arts in May 1949 and the present title in 1966.

The university aims at developing cultivated human resources of high intelligence, especially competent educationists, as well as contributing to the advancement of the characteristic culture in Nara.

The Graduate School (Master's Course) and School of Professional Development in Education are affiliated as the place for higher level of research in education and the practical place for reviewing and reorganizing educational theory after having experience of teaching in schools.

2) Number of Teaching Staffs and Students: Number of Teaching Staffs : 115 Number of Students: 1,407

②International Exchange

Though our university is small in size, educational circumstances and facilities satisfy foreign students' request. Especially characteristics as teacher's training college, that is, the variety of professors' research fields in addition to the education based on the university's location as the ancient capital of Japan has ever been highly evaluated. Our university has ties with 11 partner universities in 7 countries through international exchange agreements and 83 foreign students from 22 countries are studying at the university now and its number accounts for 6 percent of the total number of our students.

In particular, we are experienced in accepting Japanese Studies Students (hereafter referred to as "Nikkensei"), and we have ever offered the special program, reviewed and improved every year, to around 170 students from about 40 countries in total since one student started to study under the program in 1987. The university is an excellent location for the practical study of Japanese traditional culture as well as modern culture.

③The number of Nikkensei for the past three years

Year	International Student	Nikkensei
2013	75	16
2012	83	16
2011	67	5

④Characteristics of Nara Prefecture

Nara city with a population of 370,000 is conveniently located within 1 hour distance by train from both Osaka and Kyoto. Moreover, the city was the capital of Japan for about 80 years in 8th century, and the tradition as the old city still remains strong. The place, as it were, is one of rare cities where the past atmosphere intersects with modern environment.

Nara, which celebrated the 1300 anniversary of the transfer of national capital in 2010, focuses on the international exchanges, and expects to welcome and support students from abroad.

◇Outline of the Course

①The features of the Course

Our university is not only located in the area accessible to those famous temples and shrines on foot but also has excavated ruins of a temple constructed in the 8th century on campus.

1) Nikkensei students can study Japanese language and culture in such a place regarded as the original place of Japanese culture by attending classes offered in this program.

2) Students are guided and instructed on and off campus to understand the coexistence of traditional and modern culture in addition to Japanese concept of values behind its history and culture within easy access of Osaka.

3) As for Japanese language, students can attend those classes corresponding to their proficiency from among various Japanese-related classes offered to other types of foreign students studying at our university.

4) Students can enrich their understanding of Japanese language and culture in respective classes. Also the opportunity of practical Japanese usages introduced in the project work, and cultural understanding is offered.

5) We offer the unique annual curriculum for Nikkensei not only in classes related to Japanese culture but in study excursion to historic sites and ruins.

6) Students may get to know actualities of education in Japan with the experience of participating the classes as invited speakers and interacting with pupils in our attached schools etc, which is a characteristic of our university as a college of education.

7) When students draw up final composition to complete this program during the latter part of the course, they are guided under the appropriate instruction for their respective interests.

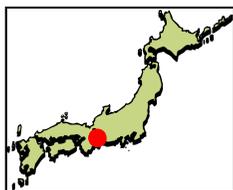
②Number of students to be accepted

5 students who recommended by University

12 students who recommended by Embassy

③Requirements for Completion of the Course and its Certificates

The applicants for this Course are required to be a person who are motivated to learn Japanese culture and customs sincerely and have the ability in Japanese language equivalent to or above the level N3 of the Japanese Language Proficiency Test, and also have at least two years' experience in studying Japanese. The desirable major fields of study are Japanese Linguistics, Japanese Literature, Japanese Education, Japanology (Study on Japan in general) and Comparative Culture.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



④ Aim of the Course

The program goals are as follows:

- 1) To be able to write a report on Japanese language and culture based on the result achieved during the program.
- 2) To acquire the Japanese language proficiency and communicative competence necessary for academic research activities and social life.

※ Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to N1 or N2 of JLPT at the time of completion of the program.

⑤ Period of the Course

October in 2014 ~ August in 2015

⑥ Type of the Course

The Nikkensei Course (A part of Japanese classes is conducted with other types of International students.)

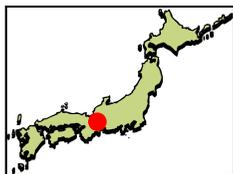
⑦ Subjects and Hours of Classes, ⑧ Outlines of Classes

	Subjects	Hours		
		Fall	Spring	Total
Japanese Language	Japanese I (Academic listening & discussion)	30	30	60
	Japanese II (Academic reading & writing)	30	30	60
	Practical Japanese Communication (Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language II (Academic reading, Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language II (Academic writing, Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language I (Reading of literature, Pre-advanced level)		30	30
	Seminar of Japanese Language I (Academic writing, Pre-advanced level)		30	30
	Academic Reading Japanese		30	30
• Students attend classes of 180 credit hours suitable to one's ability. • All Japanese classes are open to other types of international students. • Those students who find it difficult to attend the above classes may take Intermediate Japanese A and B with other foreign students.				

Japanese Culture	★ ※ History of Japanese Culture		30	30
	★ ※ Comparative Culture	30		30
	Intercultural Understanding	30		30
	Comparison of Cultural Linguistics I	30		30
	Comparison of Cultural Linguistics II		30	30
	Japanese view on Religion		30	30
	Reading of Japanese Theses (Culture)			
Others	★ ※ A view of Modern Japanese		30	30
	※ Introduction to Teaching Japanese	30		30
	※ Methods of Teaching Japanese as a Second Language		30	30
	Japanese Calligraphy	30	30	60
	★ Report Writing	—	—	—
★ Compulsory class, ※ Class open to Japanese students				

The students can attend the classes for Japanese students only when they do not have classes for Nikkensei, under the permission of a supervisor and a instructor.

- Outline of Japanese Literature
- History of Japanese Literature II
- History of Japanese Art in Asian Context
- General History of Japan I
- General History of Japan II
- History of Japanese Language
- Outline of Japanese Linguistics (Spoken Expressions Included)
- Study of Japanese Linguistics, etc.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



⑨Leadership in Instruction

* TONGUU Masaru

(Indology, Comparative Culture) tonguu@nara-edu.ac.jp

* IZUMIMOTO Chiharu (Teaching Japanese as a Foreign

Language) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

* KATO Hisao (Japanese Linguistics) katohs@nara-edu.ac.jp

⑩Requirements for Completion of the Course and its Certificates

Those students who meet the following requirements are given the certificate of this course with approval of Promotion Office of International Relations.

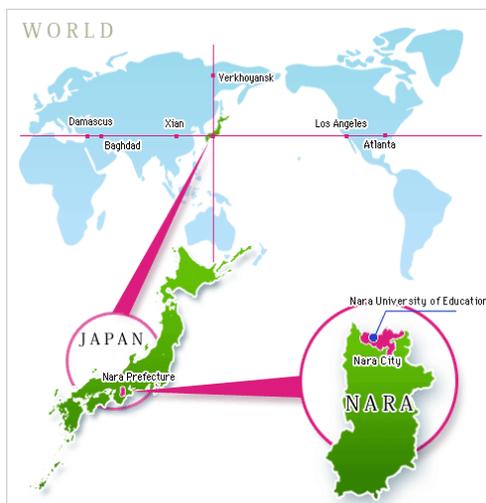
To complete the prescribed 360 credit hours a year.

To participate in compulsory study excursions.

To submit a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program.

⑪Acquirement of credit and its transfer system

Students can acquire credits of those classes which they attended and passed, and credits acquired by students of our partner universities are transferable.



⑫Program Events (in 2013)

October : International exchange party (Welcome party)

November: Field Study trip. (in Oumihachiman City)

January : Appreciation of traditional Japanese entertainment

March : Appreciation of Grand Sumo Tournament

May : Field Study trip. (in Toshi Island)

April : International exchange party (Welcome party)

August : Appreciation of traditional performing arts

◇Dormitory

Nikkensei can settle in our student residences unless they have special reason.

The room rent per one month is approximately 16,000 yen. (The electricity expense in your private room is not included in a room rent)

◇Others

Nikkensei have to buy National Health Insurance (about 2500yen/m) and personal liability insurance (about 6000yen/y) in Japan.

Also Nikkensei have to take a chest X-ray in Japan, too.



International Student House



Private room (Tachibana House)

◇Follow-up for graduates

①Support

Two instructors in charge of foreign students' education advise students about their return to Japan as research students mainly through e-mail communication. Some students came back to us, or some students were introduced to other suitable institutions in accordance with their majors.

②Track

Professional occupations at educational departments of domestic and international institutions. Employment at miscellaneous corporations or companies in Japan or students' countries which require Japanese language proficiency.



Field Study Trip (in Toshi Island)

◇Contact Information

Address: Takabatake-cho, Nara 630-8528

Contact: Student Affairs Section

TEL: 0742-27-9148

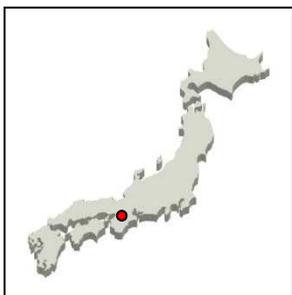
FAX: 0742-27-9146

E-mail : ryugaku@nara-edu.ac.jp

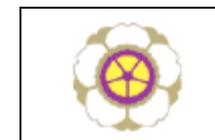
WEB:

<http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/>

[RYUGAKU/index.html](http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/RYUGAKU/index.html)



奈良女子大学 (奈良県)



日本の原点「まほろば」の地で日本のことばと文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、1908年（明治41年）に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2014年（平成26年）で創立105年を迎えます。この間日本における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

文学部、理学部、生活環境学部の3学部、大学院人間文化研究科を擁し、小規模ながらも幅広い分野の研究教育を実施しています。

教員数は約200名、学生数は約2,600名でありきめ細やかな少人数教育が特徴です。



② 国際交流の実績

37大学（アジア24大学、欧米等13大学）と国際交流協定を締結しており、留学生数は134名（2013.10.1現在）です。

本学を卒業・修了した留学生には、母国の大学で教員をしている方も多数います。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

※日本語・日本文化研修留学生の受け入れは、2014年（平成26年度）から開始します。

2013年：留学生数 134人
2012年：留学生数 145人
2011年：留学生数 149人

④ 地域の特徴

奈良は、日本の古い都（710年平城京遷都）で、多くの世界遺産に恵まれた日本有数の観光地です。都市部に比べて物価も安く、大阪・京都へも約40分で行けることから、留学生が「日本語・日本文化」を勉強するには最適の場所です。大学は、世界遺産に指定されている寺社や鹿で有名な奈良公園に隣接しています。



■コースの概要

① コースの特色

伝統文化の息づく古都・奈良で、日本語、日本文化について体験的に学ぶことが出来ます。留学生1人1人にはチューターを配置し、生活面、学習面でも細やかなサポートを行います。

② 受入定員

3名（大使館推薦2名、大学推薦1名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2程度の日本語力を有し、2年以上の日本語学習歴がある女子学生。

④ 達成目標

・日本や日本文化について学際的に学び、その理解を深める
・日本語で論文・レポートを執筆できる
・日本語能力試験N1相当の日本語力を身に付ける

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ~ 2015年8月31日
修了式は8月を予定

⑥ 研修科目の概要

必修科目11科目、選択科目6科目以上を受講します。選択科目のうち、「ビジネス日本語」「日本語プレゼンテーション」以外は日本人学生と同じ授業を受講します。また、*の科目は日研生専用です。

1) 必須科目

科目名	秋	春	時間数
日本語ⅠA（文法）		○	30
日本語ⅠB（文法）	○		30
日本語ⅠC（文章表現）		○	30
日本語ⅠD（スピーチ）	○		30
日本語ⅡA（日本の歴史と文化）		○	30
日本語ⅡB（現代日本の社会）	○		30
日本語ⅡC（作文）		○	30
日本語ⅡD（作文）	○		30
*日本近代文学入門	○		30
*日本古典文学入門		○	30
☆☆修了レポート		○	30
計			330

☆修了レポートには、4,000字程度のレポート提出が課せられます。

2) 参加型科目 (選択科目)

科目名	秋	春	時間数
スポーツ実習C (武道: 剣道となぎなた)		○	30
奈良の食を知る		○	30
奈良の食をさぐる	○		30

3) 講義 (選択科目)

科目名	秋	春	時間数
ビジネス日本語	○	○	60
*日本語プレゼンテーション	○		30
国語学概論 I		○	30
国語学概論 II	○		30
文化社会学概論	○		30
日本の美と芸術	○		30
文化と民族	○		30
文化人類学概論		○	30
シルクロードと古代日本	○		30
なら学概論A		○	30
なら学概論B	○		30
ジェンダー論入門		○	30
女性生活史	○		30
日本史概論A		○	30
日本史概論B	○		30
暮らしの中の地理学		○	30
人文地理学概論A	○		30

4) その他の科目

指導教員が認めた場合、上記以外の科目を選択科目として受講することも出来ます。

⑦ 年間行事 (主なもの)

10月 生け花教室
11月 茶道体験教室、日本語スピーチ大会、大学祭
5月 生け花教室
6月 文楽鑑賞教室、茶道体験教室
8月 修了式

※その他「留学生と日本人学生の交流事業」、「留学生実地見学旅行」、奈良のお祭への参加や参観も含めた多数のイベントがあります。また「弓道」「競技かるた」「書道」「古美術研究」「箏曲」「能楽」「華道」「茶道」等のサークルに所属できる他、大学が提供する様々な企画に参加することが出来ます。



⑧ 指導体制

コースの運営は、国際交流センターが文学部言語文化学科日本アジア言語文化学コースと連携して行います。担当指導教員は、各留学生の興味の分野に応じて全学より選任します。担当指導教員は修了レポート指導を行います。

⑨ コースの修了要件、修了証明書の発行

指定された必修11科目、選択6科目以上を受講し、15科目以上の合格をもって、修了証明書(日本語・英語)を発行します。尚、合格科目については成績評価書が発行され、国際交流協定校の学生は、協定に基づいて本籍大学で単位認定を受けることが出来ます。

■ 宿 舎【国際交流会館、国際学生宿舎】

① 宿舎数

・ 単身用 国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
・ 夫婦用・世帯用 国際交流会館各1室

② 宿舎費

国際交流会館(単身室):
保証金10,000円(入居時)、清掃費10,000円(入居時)、家賃5,900円/月
国際学生宿舎:家賃4,700円/月、共益費1,200円/月
両宿舎とも光熱水費が別途必要

③ 宿舎設備・備品

両宿舎ともベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

④ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎・国際交流会館は大学から徒歩5分以内にあり、通学に便利です。

最寄り駅から徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。

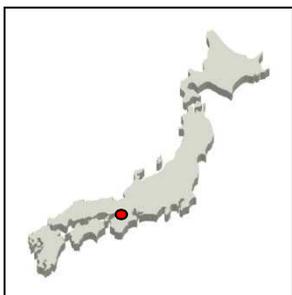


■ 修了生へのフォローアップ

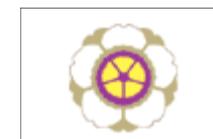
- ・ メールによる個別相談
- ・ 本学大学院への進学相談

■ 問合せ先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学国際課留学生係
Tel: 0742-20-3240 Fax: 0742-20-3309
E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
奈良女子大学国際交流・留学情報サイト
<http://www.nara-wu.ac.jp/iec/kokusai/index.html>



Nara Women's University (Nara Pref.)



“MAHOROBA” Program –Study Japanese Language and Culture in historic Nara Japan’s oldest capital

■ University Overview

① About Nara Women's University

Nara Women's University traces its origins back to the foundation of the Nara Women's Higher Normal School in 1908 and has been providing the highest level of education to women in Japan for over 100 years.

As a close-knit community with approximately 2,600 students and 200 teaching staff spread across the three faculties of Letters, Science, Human Life and Environment, and the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University is proud to provide an individualized approach to education and research.



② International Exchange

NWU has 37 overseas partner universities (24 universities in Asia and 13 universities in other areas around the globe).

③ Number of International Students and Japanese Studies Students at NWU in the Past 3 Years

International Students(total)

2013.10.1	2012.10.1	2011.10.1
134	145	149

※NWU started to accept Japanese Studies Students in 2014.

④ Nara – Japan's oldest capital “MAHOROBA”

Japan's first true capital, Nara, is one of the most famous sightseeing locations in Japan with several areas designated by UNESCO as World Heritage sites. Nara is easily accessible to Osaka and Kyoto and attractive for its affordable cost of living. It is the ideal place to study Japanese language and culture. NWU is close to such World Heritage sites and Nara Park which is famous for Japanese deer.



■ Outline of the Program

① Feature

Study and experience Japanese language and culture in Nara, Japan's historic capital. At NWU, students will be able to witness traditional and modern Japanese culture firsthand while learning Japanese under the direction of a one-to-one tutor.

② Number of Japanese Studies Students to be Admitted

3 students (2 Embassy recommended students and 1 University recommended)

③ Qualification and Conditions

Eligible female students have taken Japanese for more than 2 years and have passed the N2 level in JLPT or its equivalent.

④ Goals

- To learn Japanese language and culture at a deeper level
- To obtain the N1 level in JLPT or its equivalent.

⑤ Term of the Course

October 01, 2014 to August 31, 2015

⑥ Course Descriptions

Students will enroll in 11 compulsory subjects and more than 6 optional subjects. The subjects marked with * are designed for Japanese Studies Students.

1) Compulsory Subject

Subject	Fall	Spring	Hours
Japanese1A (Grammar)		○	30
Japanese1B (Grammar)	○		30
Japanese1C (Writing)		○	30
Japanese1D (Presentation)	○		30
Japanese2A (History and Culture)		○	30
Japanese2B (Modern society)	○		30
Japanese2C (Composition)		○	30
Japanese2D (Composition)	○		30
Introduction to Modern Japanese Literature *	○		30
Introduction to Classical Japanese Literature *		○	30
Seminar for Completion * (Final report included)		○	30
total			330

2) Participatory Subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Practice of Sports Skills ('Kendo' & 'Naginata')		○	30
Introduction to Nara's food		○	30
Study of Nara's food	○		30

3) Lecture subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Business Japanese	○	○	60
Japanese Presentation *	○		30
Japanese Linguistics A **		○	30
Japanese Linguistics B **	○		30
Cultural Sociology **	○		30
Cultural Anthropology **	○		30
Cultural Anthropology		○	
Japanese Culture & Theory	○		30
Interaction between Japan and Asia in the Ancient Times **	○		30
NARA Studies A **		○	30
NARA Studies B **	○		30
Gender Studies **		○	30
History of Women	○		30
Japanese History A **		○	30
Japanese History B **	○		30
Human Geography on Everyday Life		○	30
Human Geography A **	○		30

(**=Introductory subject)

Optional subjects except for 'Business Japanese' and 'Japanese Presentation' are open to both Japanese students and Japanese Studies Students.

4) Other Subjects

Japanese Studies Students may enroll in other courses as optional subjects with a supervisor's consent.

⑦ Annual Events

October Ikebana lesson
November Speech contest, University festival, Tea ceremony lesson
May Ikebana lesson
June Bunraku lesson, Tea ceremony lesson
August Closing Ceremony

※Students will also be able to participate in exchange events with Japanese students, travel programs, Nara festivals and club activities such as Japanese art of archery, etc.



⑧ Supervision

This program is organized by the International Exchange Center in cooperation with the Japanese and Asian Literature course, Faculty of Letters. Supervising professors will be assigned to each exchange student according to her interests. Supervising professors will supervise each student's Seminar for Completion course.

⑨ Course Requirements and Certificate of Completion

Japanese Studies Students will be required to attend 11 compulsory subjects (a 4000 character final report is included) and 6 or more optional subjects. Upon successful completion of at least 15, students will be issued a certificate of completion in both Japanese and English. Students can acquire academic transcripts of those subjects which they attended and passed, and credits acquired by students of our partner universities are transferable based on Academic Exchange Agreements.

■ Accommodations

International House and International Student House are both available subject to vacancy.

① Number of rooms

- Single room: 36 in International House
32 in International Student House
- Couple room: 1 in International House
- Family room: 1 in International House

② Monthly rent

International House (for single) : Deposit ¥10,000-, Cleaning fee ¥10,000- (payable when moving-in), Rent ¥5,900/month
International Student House: Rent ¥4,700/month, Communal fee ¥1,200/month
Fees for light water and gas are not included in the rent.

③ Facilities

Bed, desk, chair, bookshelf, closet, toilet and bath. Kitchen and washing machine room are shared.

④ General Information

Both are located within 5 minutes' walk from the campus. A train station is also within 5 minutes walk. Supermarkets and other shops are also located around the station area.

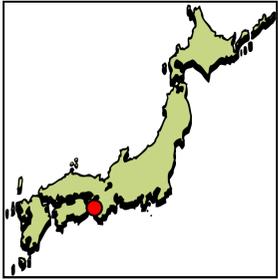


■ Follow-up for NWU Alumni

- Students will receive emails with updates relevant to alumni
- Students will be informed of opportunities to advance

■ Contact

- Kitauoya Higashimachi, Nara 630-8506
- International Students Section, International Division
- Tel: 0742-20-3240 Fax: 0742-20-3309
- E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
- HP (International Exchange Info & Activities)
http://www.nara-wu.ac.jp/iec/kokusai_e/abroad_c.html



和歌山大学 (和歌山県)



～地域とともに学ぶ～ 地域に根ざした和歌山大学で学びませんか？

■大学紹介

① 大学の特色および概要

和歌山大学は、1949年（昭和24年）に新制大学として設置されました。本学は、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足し、1995年（平成7年）10月にシステム工学部を、2008年（平成20年度）4月に観光学部を開設し、4学部からなる和歌山県下唯一の国立大学法人として順調な発展を遂げています。

本プログラムは教育学部において実施されます。教育学部には学校教育教員養成課程、総合教育課程の2つの課程があります。

和歌山大学は小規模な大学であり、留学生ひとりひとりに対して、きめ細やかな指導・支援をしています。



② 国際交流の実績

大学間の交流協定数 24校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数201人、日本語・日本文化研修留学生10人
2012年：留学生数177人、日本語・日本文化研修留学生8人
2011年：留学生数147人、日本語・日本文化研修留学生0人

④ 地域の特色

和歌山大学のある和歌山市は大阪市内から約1時間、関西国際空港から約30分のところに位置する人口約40万人の都市です。和歌山県北部に位置するため大阪、京都、奈良にも近く、県南部には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」もある恵まれた自然・文化的環境にあります。気温差も少なく温暖で暮らしやすい環境であり、勉強するには最適な静かな環境です。

また、万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城などの史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

地域の方々による日本語ボランティア、NPO支援団体、学生支援サークル等全面的な留学生支援を活発に行っています。生きた日本語を学ぶ機会に恵まれています。

■コースの概要

① コースの特色

プログラム担当教員のアドバイスに従って日本語・日本文学・日本文化に関する授業に出席し、また研究を行う。

② 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

③ 受講希望者の資格、条件等

- ・専攻が日本語あるいは日本文化等に関する専攻で学習歴2年以上
- ・「日本語能力試験N1」程度の学力

④ 達成目標

日本文化を自国の文化と比較することによって、深く理解できるようになる。アカデミックジャパニーズを習得し、論文を書く力をつける。

研修留学生は、各自1年かけて論文を書き上げます。それを研修成果報告会で発表します。

⑤ 研修期間

2014年10月1日～2015年9月30日
修了式は9月を予定（2013年は8月）

⑥ 研修科目の概要

1) 必須科目

日本語ⅠA～ⅠD 各60時間、日本語ⅡA～ⅡD

各60時間

外国語としての日本語を学ぶ 30時間

日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1・2

各30時間

現代文化論 30時間

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本事情 30時間

JAPAN STUDY1・2 各30時間

わかやまを学ぶ 30時間

熊野古道と世界遺産 30時間

3) その他の講義・選択科目等

異文化間コミュニケーション 30時間

日本語あるいは日本文化等に関する各科目

その他、留学生の興味・関心に応じて多様な科目の履修ができます。

⑦ 年間行事

- 10月 秋季留学生歓迎交流会
- 11月 日帰り研修旅行
- 12月 日本語スピーチコンテスト
- 2月 日本文化体験講座（冬期）
- 6月 春季留学生歓迎交流会
- 7月 日本文化体験講座（夏期）



⑧ 指導体制

1) プログラム指導教員

- 長友文子教授（日本語教育）
- 松村 巧教授（漢文学・日中比較文化）
- 大橋直義准教授（中世日本文学）
- 澤村美幸准教授（日本語学）

2) 指導体制

国際教育研究センターおよび教育学部の日本語・日本文学などに関わる教員が指導にあたります。個々の日本語能力に基づいた細やかな指導を行っています。生活面については、国際教育研究センターが指導・助言をします。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

研修を修了した学生には、修了証明書（和文・英文）を交付します。

■ 宿 舎



国際交流会館

和歌山市の中心地に留学生用の宿舎である国際交流会館（単身者用）があります。

○ 宿舎数

- ・ 単身者用：24室
- ・ 夫婦・世帯用：なし

○ 宿舎費：月額9,500円

【賃料5,900円+共益費3,600円（水道料含む）】
（変更となる場合があります）

○ 宿舎設備・備品

- ベッド、テーブル、机、ロッカー、靴箱、
- ミニキッチン、ユニットバス・トイレ、空調器、
- インターネット
- 各階：洗濯機・乾燥機設置
- 2階：集会室あり

○ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

- 所在地：和歌山市西高松
- （和歌山市の中心地付近）
- 大学までバスで約30分～40分

■ 修了生へのフォローアップ

- ・ 留学生のための進路指導、就職支援を行っています。

■ 問い合わせ先

（担当部署）

和歌山大学国際教育研究センター 国際交流室
住所：〒640-8510 和歌山市栄谷930
TEL:073-457-7524（直通）
FAX:073-457-7520
E-mail: kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学国際教育研究センターホームページ
<http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/>
<http://wakayama-ier-en.wix.com/ier-global>

和歌山大学ホームページ
<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

担当（指導）教員

長友文子 教授
メールアドレス: nagatomo@center.wakayama-u.ac.jp
松村 巧 教授
メールアドレス: matsu28@center.wakayama-u.ac.jp
大橋 直義 准教授
メールアドレス: naohashi@center.wakayama-u.ac.jp
澤村美幸 准教授
メールアドレス: msawa@center.wakayama-u.ac.jp





神戸市外国語大学 (兵庫県)



少人数制日本語日本文化研修～国際都市神戸から。人と文化と世界をつなぐ～

■大学紹介

- ① 大学の特色および概要
日本に2校しかない国公立の外国語大学の1校として、日本における外国語学の拠点の一つとなっています。

学部には英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科、国際関係学科を擁し、現代社会の要請に応じた高度な外国語運用能力を備え、国際的な知識と柔軟な判断力を持った、ビジネス、外交、教育など社会の様々な分野で活躍できる「行動する国際人」の養成を目指しています。

大学院修士課程には英語学、ロシア語学、中国語学、イスパニア語学、国際関係学、日本アジア言語文化、英語教育学の専攻を設け、各々の学問領域をきわめ、将来の研究者、教育者、高度な知識を身に付けて専門職に就く人材の育成を目指しています。

大学院博士課程には文化交流専攻に言語、文化、国際社会の3コースを設け、従来の閉鎖的学問領域を学際的視野から再構築する先進的人材の創出を目標としています。

2013年5月時点では、教員数は87人、学生数は2135人、院生数は118人です。

- ② 国際交流の実績
交流協定数：29
協定相手国（地域）数：11

- ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数84人、日本語・日本文化研修留学生4人
2012年：留学生数87人、日本語・日本文化研修留学生3人
2011年：留学生数91人、日本語・日本文化研修留学生0人

- ④ 地域の特色
山と海に囲まれた美しい街並みを誇る神戸市は、古くから港町として発展してきました。多彩な文化が融合する国際色豊かな都市で、外国人にとっても暮らしやすいまちと高く評価されています。また、全国でも有数の観光都市で、緑豊かな六甲山に海水浴ができる須磨海岸、クルージングが楽しめる港、名湯として名高い有馬温泉など、魅力的な観光地が数多くあります。光のオブジェで町を照らす「神戸ルミナリエ」など特徴的なイベントも年間を通じて開催しています。

■コースの概要

- ① コースの特色
日本語を中心に日本語・日本文化を学ぶコースです。少人数制によるきめ細やかな指導、文化体験活動、日本人在学生との交流機会の多さが特色です。

日本語・日本事情の授業は、初級後期、中級の2コース編成で、日本語によって行います。コースは来日後に行うプレイスメントテストの結果で決定します。

日本語劇（一部、関西弁/神戸弁使用）・スピーチの授業があり、日本人在学生の助けを得て、劇を上演します。日本事情の授業では、日本料理の調理、書道、華道などを含む日本文化を体験し、学習します。

日本の文化・歴史についての理解を深めるために、おもに神戸市、および、周辺の名所などへのフィールドトリップを定期的実施しています。

- ② 受入定員
5名（大使館推薦5名、大学推薦0名）

- ③ 受講希望者の資格、条件等
海外の正規学部生を対象としています。

日本語に関する要件は下段のとおりです。両コースともにTOEFL iBT 61/IELTS 5.5程度の英語力も応募条件となっています。

- 初級後期コース：
✓ 日本語をおおむね150時間以上学習し、基本的な初級前期の文法や語彙を習得していること
✓ 「みんなの日本語初級I」や「げんきI」などの初級テキストでの学習を終えていること



□ 中級コース

- ✓ 日本語を少なくともおおむね300時間以上学習し、基本的な初級文法や語彙を習得していること
- ✓ 「みんなの日本語初級II」や「げんきII」、「Yokoso!」などの初級テキストでの学習を終えていること

④ 達成目標

初級後期コース
日本語能力試験 (JLPT) N4レベル

中級コース
日本語能力試験 (JLPT) N3/N2レベル

⑤ 研修期間

秋学期：2014年9月12日～2014年12月22日
ウィンターセッションや正規科目履修（共に追加料金なし）の場合は2015年2月上旬まで。修了式は12月を予定（2013年は12月）。

春学期：2015年4月3日～2015年7月15日
正規科目履修の場合は2015年8月上旬まで。修了式は7月を予定（2013年は7月）。

⑥ 研修科目の概要

初級後期コースは、日本語をおおむね150時間以上学習し、基本的な初級文法や語彙を習得した学習者を対象としています。日本語能力試験 (JLPT) N4の合格を目指す学習者で、「みんなの日本語初級I」や「げんきI」などの初級テキストでの学習を終えた人に最適です。

中級コースは、日本語を少なくともおおむね300時間以上学習し、基本的な初級文法や語彙を習得した学習者を対象としています。日本語能力試験 (JLPT) N3/N2の合格を目指す学習者で、「みんなの日本語初級II」や「げんきII」、「Yokoso!」などの初級テキストでの学習を終えた人に最適です。

- 1) 必須科目 (日本語・日本事情科目) (約160時間 / 学期)
初級後期コース：日本語初級「第1」～「第8」、日本事情から8科目

中級コース：日本語中級「第1」～「第8」、日本語上級「第1」、「第2」、日本事情から8科目

- 2) 見学、地域交流等の参加型科目 (4.5時間以上/学期)
日本の文化・歴史についての理解を深めるために、おもに神戸市、および、周辺の名所などへのフィールドトリップを月に1回程度実施しています。
- 3) その他の講義、選択科目等 (22.5時間×履修科目数/学期)
留学生は、正規学部生向け科目を受講可能です。英語により行われる科目もあり、日本語力が向上途上にある留学生にも幅広い学習ができるよう配慮しています。正規学部生向け科目は、諸言語、言語学、文学、文化、史学、法学、商業、経済学、教育、心理学など幅広い分野に渡ります。



⑧ 年間行事

- 9月 秋学期開講式
日本語プレイズメントテスト
- 10月 半日/全日フィールドトリップ
- 11月 半日/全日フィールドトリップ
日本語劇 (関西弁・神戸弁含)
- 12月 半日/全日フィールドトリップ
期末テスト
秋学期閉講式
- 1月 ウィンターセッション開講
- 2月 ウィンターセッション閉講
春休み
- 4月 春学期開講式
日本語プレイズメントテスト
半日/全日フィールドトリップ
- 5月 半日/全日フィールドトリップ
- 6月 半日/全日フィールドトリップ
- 7月 日本語劇 (関西弁・神戸弁含)
半日/全日フィールドトリップ
期末テスト
春学期閉講式



⑧ 指導体制

留学生受入プログラム専任コーディネーターの教員が各授業担当教員と連携し、授業の適切な運営を行います。当該コーディネーターと国際交流センター事務職員は毎週定例会議を行い、問題点の把握・解決に当たります。プログラム内容は、国際交流センター所属教員、同センター所属のプログラム専任コーディネーター教員、同センター非所属教員から構成される日本語ワーキンググループを経て、同センター所属教員、および、非所属教員により構成される留学生教育プログラム部会において審議します。

留学生教育プログラム部会長：

中井幸比古教授（国際交流センター副センター長、専門：日本語学）

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

本プログラムの修了者には、修了証が発行されます。各科目の成績は、小テスト、課題、期末テスト、出席等により、決定します。



■ 宿 舎

大学より徒歩約15分のところに、神戸市の外郭団体が管理・運営する神戸留学生会館があり、賃料月額は単身者用（77戸）が¥24,000、夫婦用（15戸）が¥39,000となっています。空室がない場合は、国際交流センターが近隣のアパート等の物件を紹介します。



■ 修了生へのフォローアップ

- 留学中/修了後に日本語能力試験（JLPT）のN1, N2, N3, N4に合格した修了生や、再来日し、大学院へ進学した修了生、日本企業に就職した修了生などがいます。
- 各科目の内容説明文書、授業時間数に関する文書、成績証明書を発行し、本学での履修科目が留学生の在籍大学における適当な科目の単位として認定されるよう、支援します。
- 在学中に、留学生1人につき1人の日本人学生メンターを、2人の日本語会話パートナーを採用し、また、留学生の母国語や日本語による日本人在学生との“チャット”の機会を提供することで、留学生と日本人学生間の留学生帰国後も継続する関係の構築を図ります。
- ソーシャルネットワークサービスにおける在學生、同窓生コミュニティや本学ウェブサイトやメール等を通じ、本学の留学プログラムなどの情報を提供し、日本、本学への再留学を支援します。

■ 問合せ先

（担当部署）

神戸市外国語大学国際交流センター

住所 〒651-2187

兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

TEL +81-78-794-8171（直通）

FAX +81-78-794-8178

E-mail international-office@office.kobe-cufs.ac.jp

- 神戸市外国語大学国際交流センター

ウェブページ:

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/index.html>

- 神戸市外国語大学ホームページ:

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/index.html>

- 日研生対象プログラムウェブページ:

http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/center/japanese_language_program.html





Kobe City University of Foreign Studies (Hyogo)



Japanese Language & Culture Teaching in a Small Group Setting ~The International City Kobe Connects People, Culture and the World.~

■ Introductions of the University

1. Characteristics & Outlines of the Univ.

As one of the only two national or public universities of foreign studies in Japan, Kobe City University of Foreign Studies (KCUFS) is a stronghold of foreign studies in Japan.

In the undergraduate course, KCUFS has five departments: English Studies, Russian Studies, Chinese Studies, Spanish Studies and International Relations. It aims to train students to be active cosmopolitans with 1) advanced foreign language abilities required by the present-day global society, 2) global knowledge and 3) sense for competent decision making who can play active roles in various fields such as business, diplomacy and education.

Master's program of the graduate school offers seven courses: English Linguistics Course, Russian Linguistics Course, Chinese Linguistics Course, Spanish Linguistics Course, International Relations Course, Japanese/Oriental Studies Course, and English Language Education and Research Course. It aims to train students to study each specialty thoroughly and be researchers, educators and professionals.

The doctoral program provides three courses: the Language Course, the Culture Course and the International Society Course. It aims to foster those who can reshape conventional and closed fields of study into highly interdisciplinary new ones.

The numbers of faculty, undergraduates and postgraduates are 87, 2135, 118 respectively as of May 2013.

2. International Exchange

The Number of Inter-institution Exchange Agreements : 29

The Number of Partner Institutions' Countries/Regions : 11

3. The Numbers of International Students & Japanese Studies Students in the Past Three Years

The numbers of international students and Japanese Studies Students are 84 and 4 in 2013, 87 and 3 in 2012, and 91 and 0 in 2011 respectively.

4. Characteristics of Kobe

With mountains on one hand and the sea on the other, beautiful Kobe City has developed as a port city since early times. It is an international city where diverse cultures fuse and be rated as a city where people from abroad can also live in comfort. As a leading tourist city in Japan, it has many tourist spots such as Mt. Rokko with rich green, Suma Beach a popular sea bathing spot, ports where people can enjoy cruises, Arima Hot Springs, one of Japan's top three ancient springs and so forth. Many events are put up in Kobe through out the year, including Kobe Luminarie, where Kobe is colored with the solemn light art.

■ Outlines of the Program

1. Characteristics of the Program (Japanese Language Program (JLP))

Students can learn the Japanese language and Japanese culture in JLP. It is characterized by careful teaching in a small group setting, plenty of cultural experience and opportunities for exchange with Japanese students.

As for the classes of the Japanese language and Japanese affairs, we offer two courses: Upper Elementary Course and Intermediate Course. Students are divided into the two courses according to the results of the placement test conducted after students' arrival in Japan.

Speech and Theater Class provides students with a chance to stage a play in Japanese partly in Kansai/Kobe Japanese with the help of Japanese students.

In Japanese Affairs Class, students can learn Japanese cultures through experience of cooking & eating of Japanese food, calligraphy, Japanese flower arrangement and so forth.

In order to deepen students' understanding of the Japanese culture and history, field trips mainly to sights in and around Kobe city are conducted regularly.

2. The Number of Students Accepted: 5 (Embassy Recommendation: 5, University Recommendation: 0)

3. Requirements for Application

This program is targeted at students enrolled in overseas full-time undergraduate courses. Applicants need to have English abilities corresponding to TOEFL iBT 61/IELTS 5.5 in addition to the following regarding Japanese proficiency:

□ Upper Elementary Course

Applicants are required to:

✓ have acquired elementary-level grammar and vocabulary through more than approximately 150-hour learning.

✓ have finished studying with elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu I* and *Genki I*.



□ Intermediate Course

Applicants are required to:

- ✓ have acquired basic elementary grammar and vocabulary through more than approximately 300-hour learning at least.
- ✓ have already finished studying with elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu II*, *Genki II* and *Yokoso!*

4. Goals

□ Upper Elementary Course
acquisition of Japanese language proficiency corresponding to Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N4

□ Intermediate Course
acquisition of Japanese language proficiency corresponding to JLPT N3/N2

5. Program Period

□ Fall Semester : September 12, 2014 - December 22, 2014. The free winter session of the program and the regular course classes end at the beginning of February 2015. The closing ceremony of JLP is scheduled to be held in December. (That of the fall semester 2013 was held in December.)

□ Spring Semester : April 3, 2015 - July 15, 2015. The regular course classes end at the beginning of August 2015. The closing ceremony of JLP is scheduled to be held in July. (That of the spring semester 2013 was held in July.)

6. Outlines of the Classes

The Upper Elementary Course is targeted at students who have acquired elementary-level grammar and vocabulary through more than approximately 150-hour learning. It is appropriate for those who aim to pass the JLPT N4 and who have finished studying with elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu I* and *Genki I*.

The Intermediate Course is targeted at students who have acquired basic elementary grammar and vocabulary through more than approximately 300-hour learning at least. It is appropriate for those who aim to pass the JLPT N3 or N2 and who have already finished studying with elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu II*, *Genki II* and *Yokoso!*

1) Required Courses (Japanese Language & Japanese Affairs) (About 160 hours / semester)

□ Upper Elementary Course : eight courses in total among Upper Elementary Japanese 1 - 8 and Japanese Affairs

□ Intermediate Course : eight courses in total among Intermediate Japanese 1 - 8, Advanced Japanese 1-2, and Japanese Affairs

2) Participatory Courses Such as Visitation and Community Exchange (4.5 hours / semester)

In order to deepen students' understanding of the Japanese culture and history, field trips mainly to sights in and around Kobe city are conducted approximately once a month.

3) Other Courses including Elective Courses (22.5 hours / course in a semester)

International students can take classes offered originally to the regular course students. Some classes are offered in English, which enables students with developing Japanese abilities to study broadly, too. The regular course classes cover languages, linguistics, literature, culture, history, law, commerce, economy, education, psychology and so forth.



7. Academic Calendar for JLP

September:

Opening Ceremony of the Fall Semester, Placement Test

October: Half-a-day/One-day Field Trip

November:

Half-a-day/One-day Field Trip, Play in Japanese (partly in Kansai/Kobe Japanese)

December:

Half-a-day/One-day Field Trip, Term Exams, Closing Ceremony of the Fall Semester

January: Commencement of the Winter Session

February:

Ending of the Winter Session, Spring Vacation

April:

Opening Ceremony of the Spring Semester, Placement Test, Half-a-day/One-day Field Trip

May: Half-a-day/One-day Field Trip

June: Half-a-day/One-day Field Trip

July:

Play in Japanese (partly in Kansai/Kobe Japanese), Half-a-day/One-day Field Trip, Term Exams, Closing Ceremony of the Spring Semester



8. Teaching System

A coordinator lecturer dedicated to JLP appropriately manages classes in combination with other lecturers. The coordinator lecturer and staff members of the International Office have a regular meeting once a week, grasp and solve problems, and keep on improving the program. Matters with regard to the program are first deliberated by Japanese Language Working Group composed of faculty members and the program coordinator lecturer of the International Office and other faculty members outside the International Office, and then by International Students' Education Program Committee consisting of faculty members inside and outside the International Office.

The Head of International Students' Education Program Committee:

Prof. Yukihiro Nakai, Vice Director of International Office (Specialty :Japanese Linguistics)

9. Requirements for the Program Completion and Issue of Certificates

To those who have successfully complete the program, certificates are issued. Grades are calculated based on quizzes, assignments, term examinations, attendance and so forth.



■ Housing

Kobe International Student Center Housing (KISCH) run by Kobe-City-affiliated organizations is located approximately 15 minutes' walk from the university. The number of single rooms and double rooms are 77 and 15 respectively. The rent for the former and the latter are 24,000 yen/month and 39,000/month respectively. If there should be no unoccupied room in KISCH, International Office introduces neighboring apartments.



■ Follow-ups for Students Who Completed JLP

- Some alumni passed N1, N2, N3 or N4 of the Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) during or after their study abroad in KCUFS, and some came to Japan again and entered a graduate school or worked for a company in Japan.
- KCUFS issues course descriptions, contact hour certificates and transcripts in English and Japanese so that students can be credited with the courses taken at KCUFS by their home universities.
- Every student is given a KCUFS student mentor, two Japanese conversation partners, and opportunities of "Chat" with KCUFS Japanese students in Japanese or his/her mother tongue during his/her stay at KCUFS, which leads to long-term relationships kept even after international students' return, between international students and KCUFS Japanese students.
- Via a "Group" of JLP students and alumni on a social network site, emails and KCUFS Websites, information with regard to further study in Japan or at KCUFS is offered to students who completed JLP so as to encourage it.

■ Contact Information

(The Section in Charge)

International Office, Kobe City University of Foreign Studies

Address:

9-1, Gakuen-higashi-machi, Nishi-ku,
Kobe 651-2187, Japan
TEL: +81-78-794-8171 (a direct line)
FAX: +81-78-794-8178

E-mail:

international-office@office.kobe-cufo.ac.jp

□ The Web Page of International Office KCUFS:

<http://www.kobe-cufo.ac.jp/english/international/index.html>

□ The Home Page of KCUFS:

<http://www.kobe-cufo.ac.jp/english/index.html>

□ The Web Page of JLP (for Japanese Studies Students):

http://www.kobe-cufo.ac.jp/english/international/japanese_language_program.html





同志社大学 (京都府)



知の国際化拠点・同志社大学 — 千年の都、京都で「志」を育む —

◇ 大学紹介

伝統と革新をとげる街—京都

同志社大学のある京都は日本列島のほぼ中心に位置しています。794年、京都は日本の首都に定められ、東京が首都になるまで、約1100年間、日本の政治の中心であり、歴史・文化の中心でした。古い史跡や町並み、文化などが数多く存在することから、日本で有数の国際観光文化都市として知られ、国内外から多くの旅行者が訪れます。京都は伝統的な都市という魅力だけではなく、先端技術を持つ企業をはじめ、業界トップクラスの企業が集まるなど、現在の日本の産業を支えている地域の一つでもあります。



[今出川校地]



[京田辺校地]

新島襄の教育理念

同志社大学の建学の精神は<キリスト教主義><自由主義><国際主義>の三つの柱からなっています。1875年、同志社は日本で最初のキリスト教主義の学校として、新島襄によって創設されました。新島は、世界のあらゆる青年が真理を求めて自由に生き生きと学び、語り合い、友情の絆を作り上げる場として同志社を位置づけました。その精神は今日においても本学に脈々と受け継がれ、現在の国際交流ネットワークを築いています。

学部・大学院と留学生数

同志社大学は、2013年4月現在、人文・科学系から理工系、スポーツ・健康科学系まで幅広い分野の14学部18研究科、及び日本語・日本文化教育センターを有する総合大学となり、学生数約29000名のうち約1300名を世界各国からの留学生が占め、海外との交流もますます広がりをみせています。

<大学間協定数>

39ヶ国 168大学 (2013年12月現在)

<留学生受入数>

年度	2011	2012	2013
留学生	790名	1178名	1292名
日研生	-	13名	19名

日本語・日本文化教育センターと国際化拠点

日本語・日本文化教育センター（以下:日研センター）は、「外国人留学生」の受入れから、日本語及び日本事情や日本文化に関する充実した科目の設置・提供による教育支援や生活支援、海外からの短期プログラムの受入れ、及び実施等、本学の「海外からの受入れ」に関わるあらゆる業務を担っています。

日研センターでは、2013年度、18ヶ国から19名の『日本語・日本文化研修留学生』を受け入れています。その他にも、文部科学省より要請のあった国費外国人留学生に『指定日本語教育施設』（日本語予備教育機関）として、渡日後最初の6ヶ月間、集中的に日本語予備教育を行っています。

さらに、本学は、文部科学省が公募した『国際化拠点整備事業（グローバル30）』に採択され、質の高い教育と海外の学生が我が国に留学しやすい環境を提供する取組や、留学生受入れに関する体制の整備、戦略的な国際連携の推進等、我が国を代表する国際化拠点の形成の取組をし、国際的に活躍できる高度な人材の養成に力をいれています。

◇ コースの概要

1. コースの特色

○充実した日本語科目群

受験対策から文化理解まで幅広い学びを実践

○一人ひとりの実力に応じて学べる9段階別クラス編成

日本語・日本文化研修プログラムは、日本語・日本文化研修留学生（以下:日研生）が日本語能力を向上させ、併せて日本事情や日本文化に関する理解を深められることを目的として、日研センターの設置するカリキュラムを日研生に提供します。日研生は、日研センター提供の全てのカリキュラムの履修と本学施設の利用が可能です。

- (1) 日研生は原則として日本語学習を主目的とする学生を対象とした《集中コース》で日本語（186科目）を学びます。入学者の日本語能力にはかなりの差があり、同じクラスで授業を行うと、学習に無理が生じるため、一人ひとりの能力により9段階に分け、きめ細やかで丁寧な指導が可能となるよう配慮しています。さらに、日本語能力試験に主眼をおいた演習科目（9科目）も提供します。
- (2) 日本語を中心とした多言語による日本の文化や社会に関する日本事情科目（34科目）は、日本の言語・芸術・思想・宗教・法と政治・歴史・社会・生活と文化ならびに、異文化コミュニケーションなどに関する科目を設置しています。さらに、国際的な観点による国際事情科目（9科目）を提供します。
- (3) 授業や学外実習を通じて、習字や生け花、茶の湯や神社の祭礼など、歴史と文化の中心である京都の地の利を生かした様々な日本の伝統文化を学ぶ機会も提供します。

2. 受入定員

30名

(大使館推薦 28名 大学推薦 2名)

3. 資格・条件

無し

4. 研修期間

2014年9月15日～2015年8月31日



5. 研修科目の概要

- * 単位 ・ 1週2時間×15週＝30時間で1単位または2単位
・ 1年間で26単位まで履修可能

* 必修科目

(1) 日本語科目

* 選択科目

(2) 日本語演習科目 (3) 日本事情科目 (4) 国際事情科目
(5) 学部・研究科科目

(1) 日本語科目 20単位 (600時間)

(1科目1単位 30時間×10科目×2 Semester)

各学習段階とも、「読む」・「聞く」・「話す」・「書く」の4技能を総合的に修得する科目と、『読解』・『語彙』・『文章表現』・『口頭表現』の技能別科目から構成されています。

<文型・基礎語彙・基礎漢字の習得目標>

レベル	学習段階	文型の定着	基礎語彙	基礎漢字
I	初級前期	初級の基本的な文法	1500 語	300 字
II	初級後期	初級前半の定着 初級後半～中級の文法	2000 語	500 字
III	初中級	初級の文法事項の定着 中級の重要文型 約50	3000 語	600-750 字
IV	中級前期	中級の重要文型 約100	4000 語	800 字
V	中級後期	中級の重要文型 約200	6000 語	1000-1200 字
VI	中上級	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約50	8000 語	1500 字
VII	上級前期	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約100	10000 語	2000 字
VIII	上級後期	上級の重要文型 約100 高度な日本語の習得と 運用力を養成する	10000 語	2000 字
IX	超上級	より高度な日本語の習得と運用力の養成を目指す。		

※学習レベルは入学した学期始めに行うプレースメントテスト(筆記・面接)によって決定します。

(2) 日本語演習科目 1科目 30時間 (1単位)

主として日本語能力別に日本語能力試験や日本留学試験等に備えた演習を行います。

科目名	学習段階/目的	日本語レベル
日本語総合演習 A	日本語初級	I-II
日本語総合演習 B	日本語能力試験 3級	III-V
日本語総合演習 C	日本語能力試験 2級	IV-VI
日本語総合演習 D	日本語能力試験 1級	V 以上
日本語総合演習 E	日本留学試験	V 以上
中級日本語文法概説 A/B	中級レベルの 日本語文法	IV-VI
上級日本語文法概説 A/B	上級レベルの 日本語文法	VI 以上

(4) 国際事情科目 1科目 30時間 (2単位)

宗教・歴史・ビジネス・メディアなど多様な分野を国際的な観点からとらえた専門性の高い内容となっています。

科目名
世界の歴史 1/2
国際比較文化論
国際比較メディア論
国際ビジネス A/B/C
多文化コミュニケーション学 A/B

日本事情科目
「日本の伝統と芸術」
「日本の伝統と美」
及び
日本語科目の授業風景↓



(3) 日本事情科目 1科目 30時間 (2単位)

芸術・哲学・宗教・法律・政治・経済・歴史など幅広く日本の生活や社会について学ぶことができます。茶道や華道の実習や能楽など古典芸能の見学を通して日本の伝統や文化を学ぶことは、日本を理解する上で大きく役立つ体験となります。

科目名	科目名
日本の文学 A/B	日本の思想・宗教 1/2/A
日本の法と政治	日本の企業と経営 A
日本の歴史 1/2	日本の文化 1/2/A/B/C
日本の社会 1/2	日本の教育
日本の芸術 1/2	日本の伝統と人間形成
比較文化論 A/B	地域文化論 A/B
人から人間への道	
日本の現代芸術 -マンガ・アニメの歴史と特質-	
異文化間コミュニケーション A/B	
アイデンティティの社会格差	
日本の伝統と美 -いけばなの語るもの-	
日本の伝統と文化 -日本の伝統文化からのメッセージ-	
日本の伝統と芸能 -雅楽-	
日本の伝統と能楽 -能楽を通してみる日本の伝統文化-	
日本の伝統と芸術 -日本美の位相-	

(5) 学部・研究科科目

十分な日本語能力があると判断された場合には、各学部・研究科の開講科目を履修することができます。

6. 指導体制・学生の所属

日研生は、日本語・日本文化教育センターに所属します。

日本語指導にあたるのは、海外や他の教育機関において豊富な日本語教育の経験を持つ、日本語教育学・日本語学・言語学専門のエキスパートです。

<指導教員> (2013年12月)

日本語・日本文化教育センター 専任教員 10名
嘱託講師 50名

7. 修了認定

研修期間を終了した日研生には、修了時に期間修了書「学修証」を授与します。
修了要件は特に定めていません。



8. 年間行事・学年暦 (2014年度)

【秋学期】 (9月15日～ 3月31日)

9月	日本語プレースメントテスト 入学式・講義開始
10月	ウェルカムパーティー
11月26～28日	学園祭
12月28日～1月4日	冬期休暇
1月28日～2月17日	期末試験
2月中旬～	春期休暇

【春学期】 (4月1日～8月31日)

4月7日	講義開始
7月28日～8月8日	期末試験
8月上旬	修了式

9. 日本人学生との交流

日研生は、学内の施設を利用することができます。
「国際交流ラウンジ」や食堂では日本人学生と活発に交流がされています。

日本語の勉強、スキルアップ、日本人の友達作りにもお勧めです。

2013年度に新設された自主的な学習施設「ラーニング・コモンズ」

では、日本人学生と気軽にコミュニケーションができる環境を提供します。

⇒ <http://www.doshisha.ac.jp/research/lc/lc.html>

サークル活動も盛んで、参加可能なクラブやサークルがたくさんあります。

⇒ http://www.doshisha.ac.jp/students/s_support/club/list.html

また、さまざまな交流イベントを開催しています。

1. International Day

日本人学生と外国人学生との交流会です。

2. Culture Day

毎回1か国を取り上げ、各国の文化を通して、交流するイベントです。その国の文化をピックアップして紹介し、話し合い、交流を深めます。

3. Christmas Gathering

各国のクリスマスを通して日本人学生と留学生が交流し、親睦を深めていただくイベントです。



◇ 留学生宿舎

同志社大学には留学生のためにいくつかの宿舎があり、日研生はコース期間中、同志社大学の留学生用宿舎に入居できます。留学生用宿舎は、同じ留学生と一緒に暮らしているので、日本での生活の情報交換や助け合うことができ、安心感もあります。



また、日本で住宅を借りる場合に必要な保証人・仲介手数料・敷金・礼金などが不要なので、初期費用は入寮費のみです。

◇ フォローアップ

本学に在学する留学生の修学及び生活に関する助言・相談にあたるため、留学生ピアサポーター制度を置いています。学部・大学院の正規学生がサポーターとなり、修学及び生活に関する助言・相談以外に、来日直後の留学生の生活支援や、母国と異なる社会制度理解の支援を行います。



◇ 問い合わせ先

同志社大学 日本語・日本文化教育センター

ホームページ <http://cjl.c.doshisha.ac.jp>

住所：〒602-8580

京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学 弘風館5階

【TEL】+81-75-251-3240

【FAX】+81-75-251-3242

【E-mail】 ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp

開室時間：月曜日～金曜日

9:00～11:30 / 12:30～17:00

同志社大学ホームページ

<http://www.doshisha.ac.jp>



Doshisha University (Kyoto)



**Doshisha University as an Attractive International Base of Knowledge
in - KYOTO - the Ancient Capital of 1000 Years**

◇ University's Overview

Kyoto - City of Tradition and Innovation

Kyoto, where Doshisha University is located, is on the central part of the island of Honshu (500km from Tokyo). The beautiful city is known for the capital of Japan and the residence of the Emperor for over a thousand years, from 794 until the Meiji Restoration in 1868 when the capital was moved to Tokyo. Also known as “the cultural heart of Japan”, with temples, shrines and traditional wooden houses, the cultural and historical heritages have been attracting many tourists from all over the world. The city is also home to the headquarters of world famous companies leading Japanese industries.



The Vision of Joseph Hardy Neesima

Our founding spirit consists of three main principles: Christianity, Liberalism and Internationalism. Doshisha was founded by Joseph Hardy Neesima in 1875 as the first Japanese school advocating the teaching of Christianity. He founded the school to make it a place for young people from all parts of the world to seek truth, pursue knowledge and independence, and nurture lifelong friendship. Doshisha highly values the presence of international students as they bring international viewpoints and diversity to the campus and thereby enrich the university culture. We therefore are eager to welcome and support international students.

[Imadegawa Campus]



[Kyotanabe Campus]



International Exchange & Number of Foreign Students

Doshisha University has grown to be one of the major universities in Japan, with 14 Faculties, 18 Graduate Schools, and Center for Japanese Language and Culture (CJLC). Doshisha currently accommodates as many as nearly 29000 students, including about 1300 international students from around the world.

< Number of Overseas Partner Institutions >

39 countries, 168 universities (as of December 2013)

< Number of Foreign Students >

Year	2011	2012	2013
International students	790	1178	1292
Japanese studies students	-	13	19

Center for Japanese Language and Culture (CJLC)

Center for Japanese Language and Culture (CJLC) is in charge of various affairs related to our “international inbound programs”, from acceptance of international students to educational support with rich variety of subjects, daily life support, and offering short-term programs.

Currently 19 international students from 18 different countries are enrolled in “Japanese Studies Student Program”. Also CJLC serves as a “National Japanese Language Institute” (Japanese-Language Training Institution) accredited by MEXT and provides MEXT Scholarship recipients with intensive Japanese language training for the first six months after arrival in Japan before they begin their advanced education.

In addition, Doshisha University has been chosen for MEXT's Global 30 Project for Establishing Core Universities for Internationalization. We have been committed to the project to make Doshisha University an attractive international base of knowledge that stimulates the flow of students and researchers both to and from all over the world.

◇ Course Outline

1. Course features

- * **Well-developed Japanese Language Courses**
A wide range of learning in practice from preparation for examinations to understanding of Japanese culture
- * **Courses at nine different proficiency levels to meet each student's ability and need**

Our Japanese Studies Students program enables students to deepen their understanding of Japanese language and culture. They can take all courses offered by CJLC and also use the same facilities as regular students.

(1) Students take “Intensive Course” in principle, which is designed for students who intensively learn Japanese language (186 subjects). To provide specific advice for each student, Japanese courses are divided into nine different levels according to each student's Japanese ability. The program also enables students to prepare for “Japanese Language Proficiency Test (JLPT)” and “Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)”.

(2) CJLC offers “Lecture Courses in Japanese Studies” (34 courses) to help students study and analyze Japan through the language; arts; philosophy; religion; law and politics; history; society; life and culture, and cross-cultural communication. In addition, “Lecture Courses in International Studies” (9 courses) deal with broad field of studies related to the world.

(3) We also offer experience-based classes including calligraphy, flower arrangement, tea ceremony, and visits to festivals, temples and shrines by virtue of our great location in Kyoto, the heart of Japanese history and culture.

2. Number of students to be accepted: 30

Embassy Recommendation: 28

University Recommendation: 2

3. Entrance Qualification: None

4. Duration of Course: Sep. 15, 2014 – Aug. 31, 2015



5. Course Descriptions

Credits & Hours : 2 hrs/week x 15 weeks = 1-2 credits
Maximum course credit load is 26 credits per year

Compulsory subjects :

1) Japanese Language Courses

Elective subjects :

- 2) Japanese Seminars
- 3) Lecture Courses in Japanese Studies
- 4) Lecture Courses in International Studies
- 5) Undergraduate/Graduate Courses

1) Japanese Language Courses

These courses are designed to develop students' four basic skills of listening, speaking, reading and writing comprehensively. CJLC also offers the courses which specifically emphasize reading comprehension, written expressions and oral expressions.

< Learning goals >

Level	Important Sentence Patterns	Basic Words	Chinese Characters
I	Fundamental grammatical expressions	1500	300
II	Upper Elementary - intermediate level sentence patterns	2000	500
III	50 intermediate-level important sentence patterns	3000	600-750
IV	100 intermediate-level important sentence patterns	4000	800
V	200 intermediate-level important sentence patterns	6000	1000-1200
VI	200 intermediate-level important sentence patterns 50 advanced-level important sentence patterns	8000	1500
VII	200 intermediate-level important sentence patterns 100 advanced-level important sentence patterns	10000	2000
VIII	100 advanced-level important sentence patterns	10000	2000
IX	To acquire a high-level proficiency in Japanese. To be able to participate in discussions with Japanese native speakers.		

*Class allocations will be made on the basis of a placement test (written/oral) after arrival.

2) Japanese Seminars

These are designed to help students to prepare for "Japanese Language Proficiency Test (JLPT)" and "Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)".

Subject	Level/Goal	Japanese Level
Japanese Language Seminar A	Elementary Level	I - II
Japanese Language Seminar B	Japanese Language Proficiency Test (N3), Intermediate	III - V
Japanese Language Seminar C	Japanese Language Proficiency Test (N2), Upper Intermediate	IV - VI
Japanese Language Seminar D	Japanese Language Proficiency Test (N1), Advanced	V or more
Japanese Language Seminar E	Examination for Japanese University Admission for International Students	V or more
Intermediate Japanese Grammar Overview A/B	Intermediate Level	IV - VI
Advanced Japanese Grammar Overview A/B	Advanced Level	VI or more

4) Lecture Courses in International Studies

These courses cover a wide range of academic fields including religion, history, business and media from a global perspective.

Subject
History of the World 1/2
Comparative Studies of International Cultures
Comparative Studies of International Media
International Business A/B/C
Multicultural Communication A/B

5) Undergraduate / Graduate Courses

Students who have achieved an appropriate Japanese level defined according to the result of a placement test are allowed to register for undergraduate/graduate courses.

3) Lecture Courses in Japanese Studies

These courses deal with a wide range of topics including Japanese life, society, arts, philosophy, religion, law, politics, economy, and history. Experiencing traditional arts such as tea ceremony, flower arrangement, or Noh play can lead students to the great deal of understanding of Japan.

Subject	Subject
Introduction to Japanese Literature A/B	Japanese Philosophy and Religion 1/2/A
Japanese History 1/2	Law and Politics in Japan
Japanese Society 1/2	Business and Management Studies in Japan A
Education in Japan	Japanese Culture 1/2/A/B/C
Arts in Japan 1/2	The Tradition and Personality in Japan
Comparative Studies of Cultures A/B	Area Studies of Cultures A/B
What makes Humans Human?	
Contemporary Arts in Japan - History and Feature of Manga and Anime in Japan -	
Intercultural Communication A/B	
The Divisions of Identity in Society	
The Tradition and Beauty of Japan - The Way of Ikebana -	
The Tradition and Culture of Japan - Messages from Japanese Traditional Culture-	
The Tradition and Performing Arts of Japan -Gagaku -	
The Japanese Tradition of Noh Play	
The Tradition and Art of Japan - The Topology of Japanese Beauty -	



6. Affiliation / Faculty

Students belong to the Center for Japanese Language and Culture.

The faculty members at CJLC are experts in teaching Japanese as a foreign language, Japanese linguistics and general linguistics, with a wealth of experience in teaching Japanese at domestic and foreign educational institutions.

Teaching Staff (Center for Japanese Language and Culture)

The number of faculty members: 10

The number of instructors: 50

7. Certificate of Completion

Students who have successfully completed their study period are given a certificate of the completion.

We do not specify the requirements for completion.



8. Academic Calendar (2014)

* Fall Semester (September 15 – March 31)

September	Japanese Placement Test Entrance Ceremony / Classes begin
October	Welcome Party
November 26–28	University Festival
December 28– January 4	Winter Recess
January 28 – February 17	Final Examinations
Mid-February	Spring Recess

* Spring Semester (April 1 – August 31)

April 7	Classes begin
July 28 – August 8	Final Examinations
Early August	Closing Ceremony



9. Communication with Japanese Students

Students are entitled to use the same facilities as regular students. “International Community Lounge” offers students excellent opportunities to deepen friendships with local students.



“Learning Commons”, the newly established self-learning Facility equipped with Japanese/English writing center, provides a positive environment where international and

local students can get to know each other.

⇒ <http://www.doshisha.ac.jp/research/lc/lc.html>

Getting involved with a club or student group is one of the best ways to meet local students with same interests.

⇒ http://www.doshisha.ac.jp/students/s_support/club/list.html



Also, there are a variety of international exchange events on campus.

1. International Day

This informal event serves as an excellent medium for international exchange between students.

2. Culture Day

This event aims to come into contact with students from various countries, give all students opportunities to casually discuss different cultures which they do not have much chance to experience and understand in everyday life, and develop links of international friendship.

3. Christmas Gathering

This party celebrates and introduces each country's Christmas, encouraging exchange among international and local students.



◇ Accommodations

We will provide accommodations to the Japanese Studies Students. In a dorm, students can easily make friends, exchange information on school life and Japanese life, and feel at home.

Entrance fee and monthly rent will be required, but neither guarantor nor other initial costs such as agent charge, security deposit, key money etc are needed if living in a dorm.



◇ Follow - up

Peer Supporters serve to give advice to and answer questions from international students at Doshisha University regarding their study and daily life.

Peer Supporters themselves are Doshisha's undergraduate / graduate students, and help international students

settle into life in Japan upon arrival and understand the difference in social systems.



◇ Contact

Doshisha University

Center for Japanese Language and Culture

URL <http://cjlc.doshisha.ac.jp>

TEL : +81-75-251-3240

FAX : +81-75-251-3242

E-mail: ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp

Address: Doshisha University

5th Floor Kofukan

Karasuma-Higashi-iru Imadegawa-dori

Kamigyo-ku Kyoto, 602-8580 JAPAN

Office Hours:

9:00-11:30 / 12:30-17:00 (Monday – Friday)

Doshisha University URL <http://www.doshisha.ac.jp>



立命館大学 (京都府)



Study in Kyoto Program (SKP) 古都京都で学ぶ日本語と日本伝統芸術文化

■大学紹介

①大学の特色および概要

立命館について

立命館は、近代日本の代表的な政治家で国際人であった学祖・西園寺公望が、1869年、20歳の若さで私塾「立命館」を京都御苑に創設したことに始まります。西園寺は、「自由主義」と「国際主義」を標榜し、日本が世界の一員として十全な役割を發揮することを生涯の課題としました。

1900年、この精神を引き継ぎ、文部大臣時代の西園寺の秘書であった中川小十郎が、勤労者のための夜学校「京都法政学校」を開きました。1913年には、西園寺の許諾を得て「私立立命館大学」と改称。戦後は、末川博を総長に迎え憲法と教育基本法に基づく「平和と民主主義」を教学理念として掲げました。

今日の立命館は、京都、滋賀、大分、北海道にキャンパスをもち、2大学、4附属高等学校、4附属中学校、1附属小学校、学生・生徒・児童総数約4万8千人を擁する、個性と国際性の豊かな総合学園となりました。立命館大学には創立以来の卒業生は、立命館大学約34万人、立命館アジア太平洋大学約1万人を数えます。

立命館は確かな学力の上に、豊かな創造性と個性を花開かせ、正義と倫理を持った地球市民として活躍できる優れた人材の養成に努めています。

②国際交流の実績

立命館学園では、大学教育の国際化を積極的に推進しています。2009年7月には文部科学省による国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）に立命館大学が採択されました。また、立命館アジア太平洋大学（APU）の経験を活かしつつ、国際的に活躍できる人材を養成する国際化拠点を目指しています。

2013年5月現在、世界61ヶ国・地域、406の大学・機関と協定しています。

③過去3年間の留学生受入数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績(大学院生含む)

2013年：留学生数 1,355人 (55ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生 5人
2012年：留学生数 1,307人 (51ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生 4人
2011年：留学生数 1,233人 (44ヶ国・地域)
日本語・日本文化研修留学生 0人

④衣笠キャンパス(京都)の特色

京都市の北西部に位置し、世界遺産である金閣寺や龍安寺から徒歩圏内にある衣笠キャンパスは伝統と現代が調和した京都を学ぶのに最適な場所にあります。1万7千人以上の学生が学ぶ文科系キャンパスで、いつも活気にあふれています。



■コースの概要

皆さんが学ぶ「Study in Kyoto Program (SKP)」は、日本語と日本の伝統芸術文化をバランスよく学べる半年間あるいは1年間のプログラムです。SKPには日本語を集中的に学ぶ「IJLトラック」と、英語で学ぶ2つのトラック（国際関係と経営）があります。3トラック合計で、毎年約200人の学生が学んでいます。

①コースの特色

京都で日本語を集中的に学ぶSKP「IJLトラック」

1988年から始まったIJL(Intensive Japanese Language)トラックは、長い歴史と高い教育の質に定評があります。SKP生の約8割の留学生がIJLトラックに所属しています。10人~15人の小規模クラスで、経験豊富な講師が学生個人のニーズに応えながら、日本語を集中的に指導します。各留学生の日本語レベルに合った少人数指導により、確実に日本語力をアップさせます。

日本の伝統芸術を体験できる「日本文化入門」

SKP参加生は誰でも、日本の伝統芸術を学べる「日本文化入門」という科目を選択受講できます。古都京都で、参加型授業により様々な文化伝統芸術を自分の手で体験することができます。まさに一生に一度の貴重な経験ができるでしょう。各分野の第一人者が、「陶芸」「書道」「茶道」「和菓子」「生け花」「三味線」などを楽しく親切に指導します。

文系理系13学部の幅広い分野の科目を受講可能

日本有数の総合大学である立命館大学には、文系と理系合わせて13学部が設置されています。日本語能力試験(JLPT)のN1と同等レベル以上の留学生は、一般日本人学生と一緒に学部・研究科開講科目を受講し、日本語で自分の専攻内容を学ぶことができます。(受講が認められない科目も一部あります。)

[衣笠キャンパス] 法・産業社会・国際関係・政策科学・文・映像
[びわこ・くさつキャンパス] 滋賀県草津市: 経済・経営・スポーツ健康科学・理工・情報理工・生命科学・薬

②受入定員

30名（大使館推薦20名、大学推薦10名）

③受講希望者の資格、条件等

下記の条件を満たす者

- ・プログラム開始時点で、大学で1年以上学修している者
- ・日本語を学んだことのない場合は、英語でコミュニケーションをとることができる者

④研修期間

[2014年秋 Semester]

2014年9月16日～2015年2月1日 修了式1月下旬

[2015年春 Semester]

2015年3月23日～2015年8月3日（予定）修了式7月下旬

※1 Semester（半年）または2 Semester（1年）を選択

⑤研修科目の概要

必修科目として、日本語を集中的に学ぶ「SKP日本語科目」を週8コマ受講します。選択科目として、日本の伝統芸術についての体験型授業「日本文化入門」を受講することができます。

1) 必須科目

「SKP日本語科目」は、開講オリエンテーションの中でプレイズメントテストを実施し、学生の日本語レベルにより、下表のとおり6つのレベルに分かれます。

レベル	上	中	中	初	初	入
科目名	級	級	級	中級	級	門
日本語総合	3	5	5	5	5	5
聴解・口頭	2	2	2	2	2	2
ライティング		1	1	1	1	1
日本研究(上級)	2	※選択は、「ビジネス日本語」「新聞読解」「作文・文法」から2科目選択する。				
選択(上級)※	2					

- ・集中的に日本語を学びます。
- ・聴解、口頭、読解、作文など総合的に学びます。
- ・1週間で12時間（8コマ）の授業があります。
- ・入門から上級まで幅広いレベルに応じたクラス。
- ・1クラス10人～15人の少人数授業。
- ・日本語未修の学生でも学べます。

※日本語能力試験N1（旧1級）取得者、あるいはプレイズメントテストで日本語能力試験N1相当と判定された学生は、SKPの日本語科目の受講は不要です。

代わりに、正規留学生1回生向けの日本語科目や各学部・大学院で日本語により開講されている通常の正規科目を受講することができます。

（学部・大学院の承認が必要）



2) 見学、地域交流等の参加型科目

「SKP日本語科目」で、遠足に行ったり地域の祭りに参加する等、多くの見学、地域交流の機会があります。

3) その他の講義、選択科目等

「日本文化入門」

全SKP生を対象とした選択科目で、様々な日本伝統芸術を直接触れ合うことを通じて、日本文化への理解をより深めることを目的としています。京都は日本文化を学ぶのに最も適した古都であり、各分野の第一人者からなる講師陣による親切な指導により、大変貴重な体験をすることができます。

各科目2単位で、受講料として1科目につき5,000円～24,000円が必要です。

[秋 Semester 開講] 陶芸、書道、茶道、三味線
[春 Semester 開講] 生け花、和菓子、三味線



⑥年間行事（予定）

- 2014年9月 秋セメスター開始
オリエンテーション
- 10月 ハイキング・寺巡りツアー
時代祭
ハロウィンパーティー
- 11月 学園祭
- 12月 冬期休暇
- 2015年1月 秋セメスター修了式・定期試験
2・3月 春期休暇
- 2015年4月 春セメスター開始
オリエンテーション
ハイキング
- 5月 葵祭
- 6月 国際バーベキューイベント
- 7月 祇園祭
春セメスター修了式・定期試験
- 8・9月 夏期休暇



⑦指導体制

プログラム実施：立命館大学国際教育センター
SKP日本語科目：立命館大学日本語教育センター
日本文化入門：各分野の第一線で活躍する指導者
学修・生活支援：SKPパディ（日本人学生）

⑧コースの修了要件、修了証書の発行

本プログラムを修了した学生には、修了証明書が発行されます。各科目の成績は、日本語科目は授業参加、レポート、小テスト、発表、出席、定期試験等から総合的に判定します。日本文化入門は出席や授業参加等により総合的に判定します。

また、成績証明書を春セメスター分9月下旬以降、秋セメスター分を4月1日以降に発行しています。

■宿 舎

立命館大学との協定校出身の学生は、「立命館大学インターナショナルハウス」（I-House）に入居することができます。I-HouseにはIとIIの2ヶ所あり、いずれも衣笠キャンパスからアクセスが容易で、多くのSKP学生が入居してします。管理人が常駐し、学生の世話をするI-Houseパディ（日本人学生や正規留学生）と共に生活しながら、楽しい留学生活をおくることができます。部屋にはベッドや机なども備えられ、インターネットも接続可能です。また、コインランドリーやラウンジ、共用の台所もあります。月額家賃はI-House Iが36,000円、I-House IIが45,000円です。

非協定校出身の学生は、大学周辺のアパートを借りることになります。家探しや契約手続きについては、国際教育センターでお手伝いをします。



■修了生へのフォローアップ

日本の大学院進学や日本企業就職のために、立命館大学では面接指導や推薦書発行などのサポートを行っています。また、SKPのFacebookなどを通じて、修了生との日常的な交流を絶やさないように努めています。

なお、立命館大学の協定校出身の学生については、出身大学へ成績証明書を無料で送付しています。

■問い合わせ先

（担当部署）
立命館大学 国際教育センター（衣笠キャンパス）
住所 〒603-8346
京都府京都市北区等持院北町56-1
TEL +81-75-465-8230（直通）
FAX +81-75-465-8160
E-mail skp@st.ritsumeij.ac.jp

立命館大学SKPホームページ
http://www.ritsumeij.ac.jp/eng/html/admissions/program_jp/skp/
立命館大学国際教育センターホームページ
http://www.ritsumeij.jp/cger/index_j.html
立命館大学ホームページ
http://www.ritsumeij.jp/index_j.html



RITSUMEIKAN UNIVERSITY (KYOTO)

Study in Kyoto Program (SKP)

Language and Culture Studies in Japan's Ancient Capital



■ About the University

① University Overview and Highlights

Ritsumeikan was founded in 1900 as the Kyoto School of Law and Politics, an evening law school open to working people. The school was founded by Nakagawa Kojuro, former secretary to Prince Saionji Kinmochi, liberal statesman of late 19th and early 20th Century Japan. With Saionji's blessing, the name was changed to Ritsumeikan Private University in 1913. Following the end of World War II, then university president Suekawa Hiroshi proposed Ritsumeikan's educational philosophy of Peace and Democracy, based on the Japanese Constitution and the Fundamental Law of Education.

Ritsumeikan has now become an integrated academy with a rich culture of individuality and international awareness accommodating a total of 48,000 students. The current Ritsumeikan Academy has campuses in Hokkaido, Shiga, Kyoto, and Oita and encompasses two universities, four high schools, four junior high schools, and one primary school. Since Ritsumeikan's establishment, approximately 340,000 people have graduated from Ritsumeikan University and 10,000 from Ritsumeikan Asia Pacific University (APU). Ritsumeikan fosters learning and the development of individual talents in order to nurture just and ethical global citizens.

② International Exchange

Ritsumeikan's internationalization strategy emphasizes collaboration with overseas academic institutions and corporate, government, and non-government organizations in the fields of education, research, training, and administration. In July 2009, RU was selected by the Ministry of Education for the "Global 30" program which aims to develop international centers of education in Japan. By mobilizing the total resources of the academy, Ritsumeikan is striving to make a contribution to the international community. Currently, since May 2013, Ritsumeikan University is in agreement with 61 countries and 406 universities all over the world.

③ Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students (JSS) for the last 3 years (including graduate level students)

2013: 1,355 International Students (55 countries), 5 MEXT JSS
2012: 1,307 International Students (51 countries), 4 MEXT JSS
2011: 1,233 International Students (44 countries), 0 MEXT JSS

④ Kinugasa Campus (Kyoto) Highlights

Located in the northwest of Kyoto City and within walking distance of UNESCO World Heritage sites such as the Golden Pavilion and Ryoanji Temple, Kinugasa Campus is the perfect example of Kyoto's harmonization between the traditional and the modern. Consisting of over 17,000 students, it is RU's main campus and the university's center for liberal arts studies.



■ Program Overview

Students are on exchange for a one or two semester program focusing on Japanese language and culture studies; there are approximately 200 participants per year. Students join one of three tracks: the Intensive Japanese Language Track (IJL), Japan and World Perspectives Track (JWP), or the Business Track. JWP and Business Track students study a range of courses taught in English together with Japanese students and may study beginner-level Japanese

① Program Highlights

Intensive Japanese Language study in Kyoto (IJL Track)

Created in 1988, the IJL Track has a long history of providing high-quality, intensive Japanese language instruction to international students. About 80% of SKP students enroll in the IJL Track. Class sizes are kept small, between 10-15 students, allowing our experienced instructors to cater to the needs of each student individually based on their levels. Students greatly improve their Japanese language proficiency skills.

Japanese Traditional Arts

All SKP students are eligible to apply for Japanese Traditional Arts courses, which offer a hands-on experience with various traditional fine arts, many with their historical origins in Kyoto. It is a once in a lifetime chance that students can enjoy and study with experts highly regarded in their fields of practice in Japan's Ancient Capital. Ceramics, Calligraphy, Tea Ceremony, Japanese Confectionery, Flower Arrangement, Shamisen and Song are available for registration.

13 Humanities and Science Faculties

One of the foremost universities in Japan, Ritsumeikan University has 13 Humanities and Science faculties in total. International students with JLPT N1 level or higher credentials can enroll in classes with other Japanese students and further their study in their respective fields of study. (There are classes that are not possible for registration.)

Kinugasa Campus Faculties: Law, Social Sciences, International Relations, Policy Science, Letters, Image Arts and Sciences.

Biwako-Kusatsu Campus Faculties (Shiga): Economics, Business Administration, Sports Health Sciences, Science and Engineering, Information Science & Engineering, Life Sciences, Pharmaceutical Sciences.

② Number of JSS Students to be Accepted

30 students (Embassy , University Total)

③ Admission Requirements

Meet requirement below

- Be enrolled in an institution of higher education for at least one year prior to the commencement of the program.
- Basic communication ability in English is required for students with no previous experience with the Japanese language.

④ Semester Schedule

Fall : September 16, 2014 – February 1, 2015

Completion ceremony in January

Spring: : March 23, 2015 – August 3, 2015(tentative)

Completion ceremony in July

Note: Students may study for 1 semester or 1 year

⑤ Overview of Course Offerings

The SKP Japanese language course has 8 compulsory core classes. The Japanese Traditional Arts classes can be registered as elective classes.

1) Required Courses

Language courses in the IJL Track equip you with the skills needed for further study or Japan-related employment by developing balanced language skills in listening, speaking, reading, and writing, as well as socio-cultural awareness associated with the use of the Japanese language. The intensive coursework totals 12 hours per week, more than double that of most university programs abroad, and requires no previous knowledge of the language to apply.

IJL Language Courses	Total Credits
Advanced (A)	9
Upper Intermediate (B)	8
Intermediate (C)	8
Lower Intermediate (D)	8
Upper Elementary (E)	8
Introductory (F)	8

- Intensive Japanese language study
- Comprehensive content (listening, speaking, reading, and writing)

- 8 courses / 12 hours of study per week (3 courses / 4.5 hours for Seiki level students)
- Levels from Introductory(F) to Advanced(A)
- Level placement determined by placement test during orientation
- Small class sizes (10–15 students)
- No previous knowledge of Japanese required
- 8–9 RU credits, depending on level

Placement Test

A placement test is conducted at the beginning of each semester to determine the Japanese language proficiency and class placement of each student. Class placement is final and may not be changed.

Courses for Seiki Level Students

Students who demonstrate a high level of proficiency on the initial placement exam at RU will be designated as “Seiki” students. Seiki students will be assigned to Japanese language courses designed for degree-seeking international students, which include Grammar and Writing Expression, Reading and Vocabulary, Listening and Speaking Expression, and other supplemental Japanese language courses depending on seat availability. In addition to Japanese language courses, Seiki students may also take Japanese Studies Courses (subject courses taught in slightly simplified Japanese).

Exemption Level Students

Seiki students in their second semester or students who score extremely high on the initial placement exam are classified as “Exemption” students. Exemption students are exempt from taking Japanese language courses required of Seiki students. Exemption students may also take Japanese Studies Courses, which are subject courses designed for degree-seeking international students and taught in slightly simplified Japanese.

2) Hands-on Learning in the Community

Opportunities for excursions, participation in local festivals, and interaction with local residents mean that learning is not limited to the classroom.



3) Elective Courses and other Coursework JAPANESE TRADITIONAL ARTS

All SKP students are eligible to apply for Japanese Traditional Arts courses, which offer a hands-on experience with various traditional fine arts, many with their historical origins in Kyoto.

[Fall] Ceramics, Calligraphy, Tea Ceremony, Shamisen
[Spring] Confectionery, Flower Arrangement, Shamisen

- Taught by masters well respected in their field
- Taught in Japanese
- Mainly held off-campus
- Activity fees required (5,000 to 24,000 yen)
- 2 RU credits
- 1 course / 1.5 hours of study per week



⑥ CALENDER

2014 September	Fall Semester Begins Orientation
October	Hiking & Temple Tour Jidai Festival Halloween Party
November	Annual School Festival
December	Winter Break
2015 January	Completion Ceremony Fall Semester Exams
February	Spring Break Begins
March	
2015 April	Spring Semester Begins Orientation Hiking Event
May	Aoi Festival
June	International BBQ Event
July	Gion Festival Completion Ceremony Spring Semester Exams
August	Summer Break



⑦ Instructors, Administrators, and Buddies

Program Operation: RU International Center

SKP Japanese Classes: RU Center for Japanese Language Education

Japanese Traditional Arts Classes: Instructors well-known in their field

Student Life/Study Support: SKP Buddies (Japanese students)

⑧ Completion Requirements and Certificate

Students who successfully complete the program are presented with a Completion Certificate. Grades for Japanese classes are assessed according to a combination of class attendance, research papers, quizzes, presentations, and midterm/final exams. Traditional Arts courses are assessed comprehensively according to factors such as attendance and participation.

Academic transcripts for the spring semester will be distributed in late September and for the fall semester in early April.

■ Housing

Students studying under an Agreement for student Exchange with a partner university are eligible to live in one of RU's International House dormitories. I-House I and I-House II are both equipped with everything a college student would need: fully furnished rooms, live-in Japanese managers and buddies, coin laundry facilities, lounges, kitchens, free internet access, and computer rooms. Rent for I-House I and I-House II are 36,000 yen and 45,000 yen per month, respectively. Both locations are within easy access by bicycle and public transportation.

The International Center assists students studying outside of an exchange agreement to find apartments in the local area.



■ After-Program Support

Ritsumeikan University can assist students who wish to enter graduate school or job-hunt in Japan with interviews and recommendation letters. Furthermore, through the SKP Facebook page, students can keep in touch daily with other students who have completed the program.

Academic transcripts are sent to partner schools upon completion of the program.

■ Contact Information

International Center at Kinugasa Campus
Ritsumeikan University

56-1 Toji-in Kitamachi, Kita-ku Kyoto Japan 603-8346

TEL +81-75-465-8230 FAX +81-75-465-8160

E-mail skp@st.ritsumei.ac.jp

SKP Homepage

http://www.ritsumei.ac.jp/eng/html/admissions/program_jp/skp/

International Center Homepage (Japanese language only)

http://www.ritsumei.jp/cger/index_j.html

Ritsumeikan University English Homepage

<http://www.ritsumei.ac.jp/eng/>



京都外国語大学 (京都府)



歴史都市・京都で日本語と日本文化を学ぶ留学生のためのコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

PAX MUNDI PER LINGUAS 一言語を通して世界の平和をー

本学が京都外国語学校として創立された1947年（昭和22年）5月、終戦後間もないこの当時に何よりも求められたものは世界の平和であり、その基盤としての国際的理解でした。そして、この国際的理解を図るための外国語をマスターし、その文化・経済・社会に熟知した人材の育成は急務でした。

本学の建学の精神である

“PAX MUNDI PER LINGUAS”（言語を通して世界の平和を）とは、世界平和達成への創立者の強い願いが込められており、創立以来、「不撓不屈」を教育・研究の基本精神としているのは、外国語を専攻する者にとって不断の努力が何よりも重要だからです。



② 国際交流の実績

25カ国 73大学

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数94人 日本文化研修留学生：4人 大学推薦：1人

2012年：留学生数89人 日本文化研修留学生：2人

2011年：留学生数74人

④ 地域の特色

京都には日本の文化・伝統の中心地であるだけでなく、常に多くの旅行者や外国人留学生を受け入れ、国際会議などが開かれる国際的な都市です。日本文化の伝統的かつ近代的な要素を取り入れ、世界各国と強い繋がりを持つかつて首都であった京都は、世界の言語、文化を学ぶには最適の環境と言えるでしょう。

■コースの概要 留学生別科

国費外国人留学生も、留学生別科の授業を受講します。

① コースの特色

世界の人々が憧れる京都で日本語と日本文化を学ぶ、留学生のためのコース。

世界各国から集まる留学生を対象に、5段階のレベルに応じたクラスできめ細やかな日本語指導を展開する留学生別科。

研修旅行や多彩なイベントのほか、学内外での日本人学生との交流や、留学生同士の多文化交流も盛んに行われ、留学生たちは全身で日本を感じて楽しみながら、日本語能力の向上に励んでいます。

② 受入定員

50名（大使館推薦5名）

④ 受講希望者の資格、条件等

外国籍を有し、18歳以上の者で、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者で、かつ、その教育機関所在国の大学入学資格を有する者

⑤ 達成目標

本学または他の日本の大学に入学を希望する外国人、国際交流協定大学が本学に派遣する留学生を対象に設けられた1年の課程で、これらの学生に対して日本語を教授し、併せて日本事情に関する理解を深めさせることを目的としています。

⑥ 研修期間

2014年9月20日 ～ 2015年9月19日
修了式は7月を予定（2014年は7月26日）



⑦ 研修科目の概要

1) 基礎日本語（必須科目）

基礎日本語のクラスは、プレースメントテストおよび面接（4月・9月）の結果によって、レベル1～5にクラス分けを行います。この指示されたクラスのもとに、春学期10単位、秋学期10単位、合計20単位を修得しなければなりません。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

秋学期研修旅行（1日）・春学期研修旅行（1泊2日）
施設見学、フィールドワークをとおして日本文化研修を行います。

京都三大祭（葵祭、祇園祭、時代祭）
伝統を誇る京都の三大祭のうち、祇園祭と時代祭を授業の一環として見学します。

3) その他の講義、選択科目等

選択科目
春学期・秋学期を通じて10単位以上を修得しなければなりません。修了後の進路や目的によって選択する科目が異なりますので、登録前にクラス担任の先生に相談して登録科目を決めます。

学部聴講
留学生別科の選択科目以外に京都外国語大学（学部聴講）のクラスを受講することができます。

プロジェクト科目
国際社会で活動するグローバルな人材の育成を目的とし、留学生と日本人学生と協働して実践する科目です。
「模擬国連コース」「日本の文化研究」「日本のモノづくり研究」など

⑧ 年間行事

9月	オリエンテーション プレースメントテスト 秋学期授業開始
10月	体育祭 時代祭見学 秋学期研修旅行
11月	外大祭
12月	冬季休暇開始
1月	冬季休暇終了 秋学期授業終了
4月	オリエンテーション プレースメントテスト 春学期授業開始 新入生歓迎球技大会
5月	春学期研修旅行
6月	六月祭
7月	祇園祭見学 春学期授業終了 修了式

⑧ 指導体制

学業面の指導は、必修科目クラスのコーディネーターを務める専任教員(6名)が主になり、非常勤講師(26名)が全ての学生に対し行います。また、生活面の指導は、留学生担当職員と専任教員が行います。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

1年間に30単位以上(1学期に15単位以上)修得した者に対し、修了証書を授与します。



■ 宿 舎

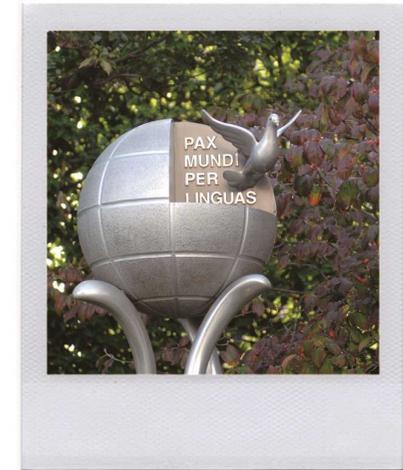
京都外国語大学が寮またはワンルームマンションを手配します。(場所はKUFSが決めます。)すべての宿舎は家具付きのシングルルームです。ホームステイの手配はしていません。



■ 修了生へのフォローアップ

修了後のフォローアップとして、留学生担当職員と専任教員が、次のことを適宜行います。

1. 修了後の進路指導
2. 修了生に関する情報収集
3. 就職希望者への情報提供

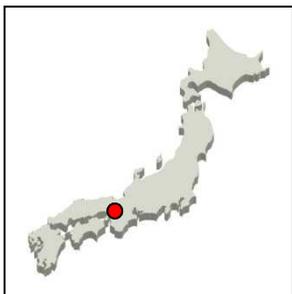


■ 問い合わせ先

京都外国語大学 国際交流部

〒615-8558
京都市右京区西院笠目町6

TEL: 075-322-6043
FAX: 075-322-6243
Email: oips@kufs.ac.jp
URL: <http://www.kufs.ac.jp>



Kyoto University of Foreign Studies



Studying Japanese and Japanese Culture in Historical City, Kyoto

■ Introduction

① PAX MUNDI PER LINGUAS

–World Peace through Languages–

Our university was originally established under the name Kyoto School of Foreign Languages in May of 1947. It was soon after World War II, when a great demand had arisen for an international understanding which would lead to world peace.

One of the urgent requirements to accomplish this goal was to develop young Japanese men and women who could not only master foreign languages, but understand cultures, economies and societies of the world.

The motto of our university, “PAX MUNDI PER LINGUAS (World Peace through Languages)” has represented the founders’ strong wish for achieving world peace. In addition to the Latin motto, the importance of “an indomitable spirit” has also been emphasized and valued as a primary basis for education and research, because that is what the founders believed to be an essential quality for students of foreign languages to possess.



② Number of Partner Universities

25 countries, 73 partner universities

③ Number of Overseas Students

2013: 94 Students, MEXT Scholarship:5

2012: 89 Students, MEXT Scholarship:2

2011: 74 Students

④ The Feature of Kyoto

Kyoto is not only a center of the Japanese culture and tradition but also an international city which accepts a great many travelers, foreign students and international conferences. Having both traditional and modern aspects gleaned from the Japanese culture and maintaining close relations with the rest of the world, this former capital offers you a perfect environment in which to study languages and cultures of the world.

■ Course in Japanese Studies for Overseas Student

Japanese Government Scholarship students register classes from this course.

① On the Course

This is a one-year training course in Japanese Studies for foreign students who are studying Japanese for the first time, or who do not have sufficient Japanese skill and knowledge. More than 70 overseas students including exchange students from partner universities, study in this course to master basic skills and gain knowledge about Japanese and Japan.

② Number of Students to be Admitted

50 students (including 5 Japanese Government Scholarship students)

④ Application Qualification

Those 18 years old or older with foreign nationality, who have completed 12 or more years of formal education in their country, and, who are qualified to enter university in the said country are eligible.

⑤ Aims

This is a one-year course designed for overseas students who wish to study at a Japanese university and for exchange students from our partner universities abroad. This course aims at improving the Japanese language skill and deepening the understanding of the country.

⑥ Course Period

September 20,2014– September 19,2015
Completion Ceremony in July
(July 26,2014 for the 2013–14 ceremony)



⑦ Subjects

1) Required Subjects

Through a placement test and interview (implement in April and September), student will be placed into one of the five levels of Basic Japanese. In order to complete the course, the student is required to take 10 credits in Spring semester and 10 credits in Fall semester, altogether 20 credits in one year.

2) Study Tours and Field Trips

Autumn and Spring Semester Study Tour
Get to know more about Japanese Culture through field trips to local facilities and fieldwork.

Three Traditional Festivals in Kyoto (Aoi Matsuri, Gion Matsuri, Jidai Matsuri) Among these three famous Kyoto festivals, field trips to Gion Matsuri and Jidai Matsuri are part of the course.

3) Others

Elective Subjects

The student is required to take more than 10 credits throughout the Spring and Fall semester and is required to consult with class instructors before completing the registration.

Subjects of the faculty

Besides the subjects of the Course in Japanese Studies for Overseas Students, student can also take subjects of the faculty to complete the credits for Elective Subjects.

Project-Based Learning Subjects

These subjects for both Japanese and international students. The aim of these subjects to develop the global human resources who can act in international environment.

e.g.“Model United Nations Conference Course”,
“Exploring Japanese Culture and Experiencing
Cross-Cultural Communication”, “The Japanese
traditional industries and the development of
their products for non-Japanese customers”

⑧ Annual Schedule

September

Orientation

Placement test

Fall semester classes begin

October

Athletic meet

Autumn field trip

Visit Jidai-matsuri Festival

November

Gaidai Festival

December

Winter vacation begins

January

Winter vacation ends

Fall term classes end

April

Orientation

Placement test

Classes for the spring semester begin

Reception ball game for new students

May

Spring field trip

June

June Festival

July

Visit Gion-matsuri Festival

Spring semester classes end

Completion ceremony

⑧ Instruction and Counseling

Academic counseling is provided for all students by six full time teachers who coordinate the compulsory courses and 26 part time teachers. Non-academic counseling is provided mainly by staff in charge of international students and full time teachers.

⑨ Requirements for Completion

A Certificate of completion will be awarded to all full-time students successfully completing 30 credits in a year (15 credits per semester).



■ Accommodation Arrangement by KUFS

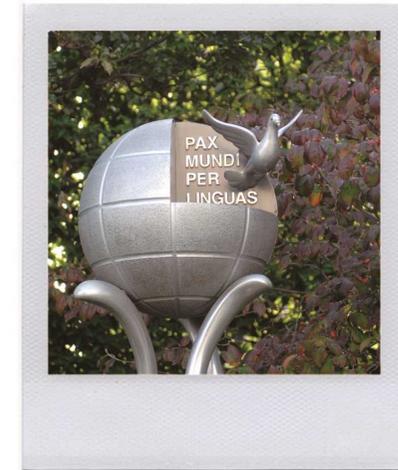
Kyoto University of Foreign Studies arranges every student a dormitory or apartment room. (The location will be decided by KUFS.) All rooms organized by KUFS are furnished single rooms. Please note that there is no Homestay arrangement via KUFS.



■ Follow-up to Completion Students

Full time teachers and staff in charge of international students take care of the following work for graduates.

1. Academic counseling
2. Gathering follow-up information about graduates
3. Career counseling



■ Contact Detail

Department of International Relations

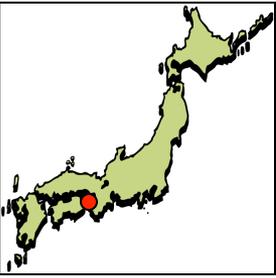
Kyoto University of Foreign Studies
6 Kasame-cho Saiin Ukyo-ku KYOTO
615-8558 JAPAN

Phone: +81 75 322 6043

Fax: +81 75 322 6243

Email: oips@kufs.ac.jp

URL: <http://www.kufs.ac.jp>



大阪樟蔭女子大学 (大阪府)



伝統ある女子大で日本の生活文化を多角的に学び近代日本の形成に迫る

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大阪樟蔭女子大学は、90年近い歴史と伝統を持つ、我が国有数の女子の高等教育機関です。本学の前身となる樟蔭女子専門学校は1926年（大正15年）に開校しました。その母体となる樟蔭高等女学校が設立されたのは1917年（大正6年）12月のことです。当時は、女子が勉強できる中等教育機関が少なく、厳しい受験競争にさらされていました。創立者の森平蔵は、こうした不毛な受験勉強と偏った秀才教育に異を唱えました。当時の女子教育に手薄であった教養教育の充実を図り、最高の教育環境と設備を整え、樟蔭高等女学校を開いたのです。

樟蔭高等女学校では深緑色の袴が制服でした。袴は、明治期から女性の制服として採用され、大正期には競ってそれを身につけました。本学では今も「深緑色の袴」がシンボルとして捉えられ、入学式、卒業式などの行事には女子学生が袴を身につけることになっています。



教員数: 105 名
学生数: 2373 名 (2013. 5. 1現在)

② 国際交流の実績

本学は4カ国5大学と大学間協定を結んでいます。これまでは、1ヶ月程度の短期プログラムを中心に留学生を受け入れてきました。午前中の日本語研修、午後の多彩な日本文化研修の他、週に1度、奈良や京都の文化遺産を見学するプログラムを提供しています。2012年度より日本語日本文化研修留学生を受け入れていません。

③ 過去3年間の受入れ留学生数

2011年: 1名	2012年: 2名 (内日研生2名)	2013年: 4名 (内日研生4名)
-----------	-----------------------	-----------------------

④ 地域の特徴

本学は開学の地である小阪（大阪府東大阪市）と緑豊かな関屋（奈良県香芝市）の二つのキャンパスがあります。

東大阪市は、大阪市の東に隣接し、関西エリアの文化と経済の中心都市である大阪、奈良、京都、神戸にアクセスのいい中都市です。日本の古い下町の情緒を残す一方で、世界品質を誇る中小のメーカーが密集する日本のものづくりの拠点です。



■コースの概要

① コースの特色

このコースでは、日本の生活文化を通して、近代日本の形成において女性が果たした役割について学びます。

(1) コースは、日研生用の日本語と日本事情の科目と、日本人学生と共通の多彩な共通科目から構成されています。

(2) 共通科目は、日本の生活文化に関する科目群と、日本の伝統文化からサブカルチャーまでの多彩な日本文化科目群から構成されています。興味に合わせて受講できます。受講する際に、それぞれの分野の専門家に相談することができます。

(3) 生活文化科目群には、ファッションと化粧文化に関する多彩な授業があります。

日本の身装文化をトータルに学ぶことができます。服飾文化だけでなく化粧文化について、理論と実践の両面からアプローチします。化粧学を体系的に学べるのは樟蔭だけです。日本女性の感性を活かしたインテリアデザインについても学べます。

(4) 日本文化科目群には日本の伝統文化に加え、アニメ、漫画などのサブカルチャーを理論と実践の両面から学べる科目が用意されています。

② 受入定員
7名（大使館推薦5名・大学推薦2名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。

- 1 女子学生であること。
- 2 日本語・日本文化に関連する分野を専攻していること。
- 3 授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。

④ 達成目標

日本の生活文化を通して近代日本の形成において女性が果たしてきた役割についての理解を深め、そのテーマに関して日本語で研究発表をし、レポートを書くことができるようになることを目標としています。

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ~ 2015年9月30日
※学生は2014年9月18日から23日の間に日本に到着していなければならない。オリエンテーションは9月24日から開始する。修了式は2015年9月を予定。

⑥ 研修科目の概要

1科目は15回(30時間)の授業からなります。1科目履修することにより、2単位または1単位与えられます。

1 日本語・日本文化研修留学生用必修科目

	秋期	春期
Japanese Language A, B	30hrs	30hrs
Japanese Language C, D	30hrs	30hrs
Japanese Cultural Backgrounds A, B	30hrs	30hrs

‘Japanese Cultural Backgrounds A, B’の概要:日本の近代以降の文化の諸相について、各分野の専門家がオムニバス形式で講義します。樟蔭の開学を含む日本の近現代史、日本料理の講義と実習、ナチュラルメイクの実習、日本の大手企業の見学など、多彩な内容です。



2 学部学生と共通の選択科目（国際交流科目として指定）

1)講義、演習科目

A 生活文化関連分野の主な科目（各30時間）
「化粧の歴史」（30時間）の概要：日本における化粧の歴史を学びます。化粧の変遷を見ることを通して、社会と人間関係がわかります。

その他の科目：
「ファッションの歴史」、「服飾文化論」、「美粧と社会」、「被服学概論」、「化粧文化論」、「顔学概論」、「インテリアコーディネート論」など

B 日本文化分野の主な科目（各30時間）
「芸術と鑑賞」（30時間）の概要：音楽・美術を中心にして、プロのアーティストを招いて、演奏の披露と、創作活動についての想いを述べてもらう。

その他の科目：
日本文化論、現代女性論、書写、サブカルチャー研究、日本の歴史と文化、日本語学 など

2) 見学、地域交流等の参加型科目
さまざまな学外実習に参加できます。寺院、神社、能、狂言、歌舞伎、文楽などの日本の伝統的な文化財や文化施設だけでなく、神戸ファッションミュージアムや京都マンガミュージアムのような施設で、日本の現代文化を体験することができます。

⑦ 年間行事（変更の可能性あり）

9月	オリエンテーション
10月	歓迎会 大学祭
11月	一日研修旅行 学外研修
12月	クリスマスパーティ
1月	学外研修
5月	メイクの日
6月	一日研修旅行
7月	子育てカレッジ
9月	修了式



⑧ 指導体制

学生は、学芸学部に所属します。

日本語・日本文化研修プログラムの履修方法等の指導は、本プログラムコーディネータが行います。

興味のあるテーマに合わせてその分野の専門の教員が研究指導します。

日本語教育の知識を持った日本語チューターが日本語学習のサポートを行います。

学生生活一般については、国際交流室のスタッフがサポートします。

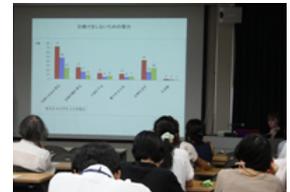
⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

本コースは以下の要件を満たした者に「樟蔭日本語・日本文化コース」を修了したものと認定し、学長名の修了証書を授与します。

1) 日本語・日本文化研修留学生用科目については、本プログラムコーディネータと相談の上、必要があればレベルに合った科目を履修していること。

2) 1) と他の共通科目を合わせて20単位以上履修していること。

3) 関心のあるテーマに関して研究発表（公開）を行い、その内容をレポートとして提出していること。



■宿 舎

学生寮があります。空室があれば入寮することができます（月34,000円）。また、学生支援課が民間のアパート等を斡旋します。（月30,000円から50,000円程度）

国際交流室で、ホストファミリーを紹介します。日本の家庭に短期間滞在することができます。



■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生が自国の大学に戻ってからも、日本女性のライフスタイルについての研究を継続してできるよう、プログラム修了後も相談できるような体制を整えます。



■問い合わせ先

（担当部署）

大阪樟蔭女子大学国際交流室

住所 〒577-8550
大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
TEL +81-6-6723-8181（内線3404）
FAX +81-6-6723-8348（大学事務局）
E-mail kokusai@osaka-shoin.ac.jp

大阪樟蔭女子大学国際交流ホームページ

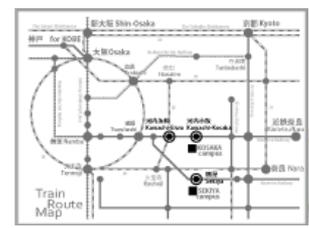
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/student/international/index.html>（日本語）
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/students/index.html>（英語）

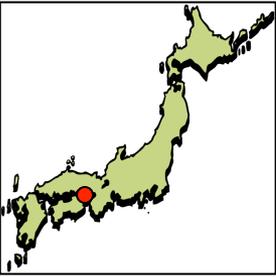
日研生ホームページ

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/student/international/accept/index.html>（日本語）

大阪樟蔭女子大学ホームページ

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/>（日本語）
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/>（英語）





Osaka Shoin Women's University (OSAKA)



Deepen your understanding of the formation of modern Japan by studying Japanese lifestyle and culture from various perspectives at a women's university steeped in history and tradition.

■ University's Overview

① Characteristics and Overview of "Shoin"

Osaka Shoin Women's University has a tradition and history spanning almost 90 years and is one of the leading women's tertiary education institutions in Japan. The parent institution was founded as a high school in December 1917, and became a women's vocational school in 1926. It was then chartered as a university in 1949. At the time of its founding in the Taisho Period (1912-1926), there were very few secondary educational institutions in Japan where women could study, and there was intense competition for places. The founder, Heizo Mori, who thoroughly disapproved of the impoverished educational facilities for women and the prejudice against women's education, founded Shoin Women's High School. It offered education and facilities of outstanding excellence, aiming at enriching the provision of liberal arts studies for girls.

The uniform of Shoin Women's High School, a hakama skirt, was characterized by its dark green color. The hakama skirt was adopted as the school uniform for women from the Meiji Period (1868-1912), and female students often competed with each other in their hakama style costumes during the Taisho Period. Even today, the symbol of this university is still the "dark green hakama", which is worn at all formal occasions such as the entrance ceremony, the graduation ceremony and other events.



Number of University Faculty: 105
Number of Students: 2373
(2013.5.1)

② International Exchange

Osaka Shoin Women's University has exchange agreements with five universities in four countries. So far, we have been offering a short-term program of around one month. Besides offering Japanese language training in the morning, various Japanese cultural activities in the afternoon are also offered. Once a week there is a guided excursion to view the cultural heritage sites of Kyoto and Nara. Since 2012 we have accepted Japanese Studies Students (JSS).

③ Number of International Students for the past three years:

2011: 1	2012: 2 (involving JSS: 2)	2013: 4 (involving JSS: 4)
---------	-------------------------------	-------------------------------

④ Characteristics of the Area

Osaka Shoin Women's University has two campuses—the main Kosaka Campus in Higashi-Osaka City, and Sekiya Campus situated in a lush green area of Kashiba City, Nara. Higashi-Osaka City is located adjacent to Osaka City, and is centrally situated with excellent access to the business and cultural areas of the major cities of Osaka, Kobe, Kyoto and Nara that make up the Kansai region. While retaining the old neighborhood atmosphere of Japan, Higashi-Osaka City is also recognized as a bastion of small and medium-sized enterprises producing world-renowned quality products.



■ Course Outline

① Characteristics of the Japanese Cultural Studies Program

In this course students will learn, through experiencing Japanese lifestyle and culture, the role Japanese women have played in the formation of modern Japan.

1. The course will consist of subjects in 'Japanese language' and 'Japanese cultural background' for international students, as well as common subjects taken along with Japanese students.

2. Common subjects will consist of Daily Living Cultural Studies and Japanese Cultural Studies. Students may focus on areas where they have an expressed interest, and can consult with experts in each of the above fields.

3. Cultural Studies for Daily Living: Students can study through a total approach, including not only studying the culture of clothing, but also the culture of makeup from both theoretical and practical viewpoints. A systematic approach to the study of makeup is unique to Osaka Shoin Women's University. Students can also learn about interior design and the sense of beauty unique to the Japanese woman.

4. Amongst various Japanese cultural subjects, including studying traditional Japanese culture, students can also learn Japanese subculture including cartoon films (anime) and comics (manga) both theoretically and practically.

② **Number of students to be accepted:**
 7 students (5 with embassy recommendation
 and 2 with university recommendation)

③ **Qualifications and Requirements of Applicants**

Applicants must meet the following requirements:
 1. Application is open only to women students.
 2. Applicants must be majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
 3. Applicants must be proficient enough in Japanese to understand lectures.

④ **Program Goals**

The goals students should achieve through the program are as follows:
 (a) Through the study of Japanese culture, gain a deeper understanding of the role that Japanese women have played in the formation of modern Japan
 (b) To be able to give a research presentation in Japanese based on a theme from (a).
 (c) To be able to write a report in Japanese based on a theme from (a).

⑤ **Period of Program:**

From October 1, 2014 to September 30, 2015
 ※Students must arrive in Japan between September 18 and 23, as orientation begins on September 24, 2014.
 The completion ceremony will be in September, 2015.

⑥ **General Outline of Subjects Offered**

One subject consists of 15 classes (30 hours) and students obtain one credit for seminars or two for lectures when they complete it.

1 The compulsory subjects for students of this course:

	Fall	Spring
Japanese Language A, B (seminar)	30hrs	30hrs
Japanese Language C, D (seminar)	30hrs	30hrs
Japanese Cultural Background A, B (lecture)	30hrs	30hrs

Japanese Cultural Background A, B: Lectures and workshops on various aspects of Japanese modern culture and society will be offered by specialists of each field in omnibus style. Planned topics: Japanese modern history and the foundation of Shoin, Japanese-style cuisine with cooking practice, natural makeup techniques, working women in Japan (including visiting a leading Japanese company), etc.



2 Subjects taken in common with regular students (designated as International Exchange Program subjects. Approximately 50 elective subjects are offered per week for each semester.)

1) Lectures and seminars

A. Main subject titles in the field of Daily Living:
History of Beauty : Students will acquire a basic knowledge of the history of beauty in Japan. The study of the transition of beauty through the ages reveals how society and people are related to each other.

Other titles: *History of Fashion, Clothing and Culture, Introduction to Clothing and Textiles Studies, Dressing and Culture, Introduction to Facial Studies, Interior Coordination, etc.*

B. Main subject titles in the field of Japanese Culture
Art and Appreciation : Through the performance of various kinds of arts of specially invited professional artists, students will gain an understanding and appreciation of the essence of the artists and their creative artworks.

Other titles: *Theories of Japanese Culture, Japanese Linguistics, Japanese History and Culture, Studies on Japanese Subculture, Modern Feminism, Calligraphy, etc.*

2) Off Campus/ Extra-curricular Activities

A variety of off campus/ extra-curricular activities such as field trips to temples, shrines, museums (including Kobe Fashion Museum and Kyoto Manga Museum), Japanese traditional and modern houses, and Noh, Kyogen, Kabuki, and Bunraku theater performances are offered.

⑦ **Event Calendar (tentative)**

- September: Orientation
- October: Welcome party
Campus festival
- November: One-night observation trip to places of historic interest
One-day excursion
- December: Year-end party
- January: One-day excursion
- May: Make-up festival on campus
- June: One-night observation trip to places of historic interest
- July: Open college for studying child care
- September: Completion ceremony



⑧ Guidance System

The students belong to the Faculty of Liberal Arts.

The Japanese culture program will be conducted under the supervision and guidance of the program coordinator. Students will receive specialized instruction from professors in the fields of study they are interested in. Japanese language instruction and support will be given by qualified Japanese language tutors, and support and guidance regarding student life at Shoin will be provided by the staff of the International Exchange Programs Office.

⑨ Requirements for course completion and award of the course completion certification

Those who meet the following requirements will be certified as having finished the "Shoin Japanese Culture Course" and will be awarded a certificate under the name of the university president.

Requirements:

- 1) Japanese language classes: students must take appropriate classes according to their ability in Japanese. Class levels will be decided after consultation with the coordinator of this program.
- 2) Students must get more than 20 credits in classes in 1) and other designated subjects.
- 3) Students must select a theme in an area of study they are interested in and must give a presentation on this theme and submit a written paper.



■Accommodation

If rooms are available, students may stay in the university dormitory. The fee is 34,000 yen per month.

The university Student Affairs Section will assist students in finding a suitable apartment for rent in the range of 30,000 to 50,000 yen per month. Alternatively, if students so desire they may request a short-term homestay with a Japanese family. The university International Exchange Programs Office will introduce students to a suitable family.



■Course completion follow-up support

A system is in place by which students who have successfully completed this course and have returned to their home countries, may still receive support and advice on Japanese Studies.



■Inquiries

Osaka Shoin Women's University International Exchange Programs Office:

Address: 4-2-26, Hishiya-nishi, Higashi-Osaka shi, Osaka 577-8550, Japan

Tel: +81-6-6723-8181 (Ex. 3404)

Fax: +81-6-6723-8348 (University General Office)

E-mail: kokusai@osaka-shoin.ac.jp

Homepage of International Exchange Programs Office:

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/student/international/index.html> (Japanese)

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/students/index.html> (English)

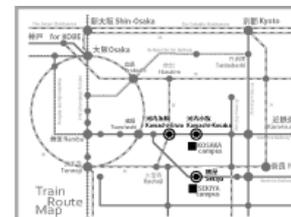
Homepage of JSS:

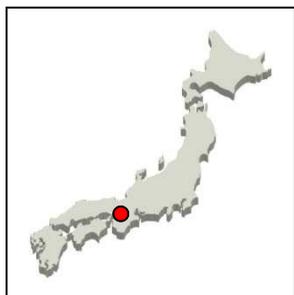
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/student/international/accept/index.html> (Japanese)

Osaka Shoin Women's University's Homepage:

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/> (Japanese)

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/> (English)





神戸女子大学 (兵庫県)



KOBE WOMEN'S UNIVERSITY

KWU Program 国際都市神戸で学ぶ日本語、日本文化、古典芸能

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

神戸女子大学は、国際的な港町神戸市内に三つのキャンパスを持つ女子大学です。須磨キャンパス、ポートアイランドキャンパス、三宮キャンパスです。

三つのキャンパスには、文学部、家政学部、健康福祉学部と二つの大学院(文学研究科と家政学研究科)を備えています。

設立時から、世界平和と人類の福祉に貢献しようとする女性の育成を目指し、自立心、対話力、創造性の豊かな女性への教育を進めています。

留学生は、主に須磨キャンパスで、日本語・日本文化研修を行います。

2) 学生数

学部・大学院に約3千人の学生が学んでいます。



② 国際交流の実績

アメリカ、イギリス、中国、インドネシア、ニュージーランド、ドイツ、タイ、などの15の大学と協定・提携を結び、交換留学や研究交流を実施しています。

留学生在籍数

2013年：留学生数	4	人
2012年：留学生数	6	人
2011年：留学生数	5	人

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

現在まで、日本語・日本文化研修留学生の受入れはありません。

④ 地域の特色

神戸市は、国際的な港町で、兵庫県にあります。さまざまな国籍の外国人が多く住んでいるため、留学生には住みやすい町です。

■コースの概要

本学のコースでは、主として日本語と日本文化、および古典芸能について学ぶことができます。

①コースの特色

コースは、留学生のための日本語クラスと、日本人学生との共通の科目から成り立っています。日本語は少人数クラスで集中して学ぶことができ、高いレベルの日本語力を身につけることができます。

また、「古典芸能研究センター」や古典芸能に関する授業で、能、狂言、文楽などの古典芸能に触れることができます。

② 受入定員

2名(大使館推薦1名、大学推薦1名)

③受講希望者の資格、条件等

- ・コースの授業に参加できる十分な日本語力を備えていること。
- ・女子であること。

④ 達成目標

日本語力の向上と日本文化、古典芸能への興味と親しみを増すことを目標とします。未取得者は、N1またはN2試験の合格を目標とします。

⑤ 研修期間

後期 2014年9月22日～1月下旬
前期 2015年4月1日～7月下旬

前期または後期受講開始から半年間、または1年間とします。終了式は、9月または2月を予定しています。

⑥ 研修科目の概要

・日本語・日本文化研修生のための科目

1) 必須科目

日本語Ⅰ、Ⅲ（前期）

大学生に必要な日本語の読み・書きを学びます。レポートが書ける日本語力を身につけることを目標とします。

日本語Ⅱ、Ⅳ（後期）

大学生に必要な日本語の聞く・話す力を高め、発表に必要なプレゼンテーション力を高めることを目標とします。

課題研究

日本での研究課題を設定し、研究レポートの作成を目標とします。

・選択科目（日本人学生との共通科目）

文学部、家政学部を中心にした、全学部の科目から選択できます。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

須磨地区で地域交流に参加したり、大学内外でフィールドワークやワークショップなどの参加型の授業を受講したりします。

3) その他の講義、選択科目等

日本語力に応じて、文学部、家政学部を中心に、全学部の科目が受講できます。

⑦ 年間行事

4月 入学式 オリエンテーション

5月 スポーツ大会

7月 すいか祭り 下旬から夏休み

9月 後期授業開始

11月 創立記念日、コスモス際

12月 下旬から約2週間冬休み

2月 修了式

⑧ 指導体制

安原順子教授をプログラム総括担当者とし、留学生には、それぞれ希望研究分野の指導教官をつけます。また、生活面は、国際交流推進事務室と日本人学生チューターがフォローします。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

必修科目と選択科目を合わせて、半期または1年間で規定の単位を取得した研修生に、修了証書を与えます。

■ 宿 舎

本学学生寮、または下宿先を紹介します。

■ 修了生へのフォローアップ

プログラム修了後も、SNSやメール等でプログラム担当者、指導教員や国際交流推進事務室とのコンタクトを行い、就職、進学等の相談ができます。

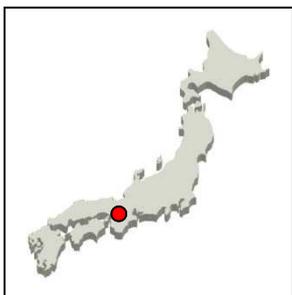
■ 問合せ先

神戸女子大学 国際交流推進事務室
須磨キャンパス

住所 〒654-8585日本国兵庫県神戸市
須磨区東須磨青山2-1

電話 +81-78-737-2095
FAX +81-78-732-5161
e-mail kokusai@yg.kobe-wu.ac.jp
URL <http://www.kobe-wu.ac.jp>





Kobe Women's University

(Hyogo Prefecture)



KOBE WOMEN'S UNIVERSITY

KWU Program Study Japanese, Japanese Culture and Classic Performing Arts in the cosmopolitan city of Kobe

■ University's Overview

① Characteristics and overview of Kobe Women's University

1) History and special features

Kobe Women's University has three campuses in the cosmopolitan city of Kobe: Suma, Port Island and Sannomiya. These three campus locations house the Faculty of Literature, Faculty of Home Economics, and Faculty of Health and Welfare as well as a graduate school division of Letters and Home Economics.

From its founding, our university has aimed to cultivate women who will contribute to the peace of the world and to the welfare of humanity. Our teaching aims to foster independence, communicative ability and creativity in our students.

Foreign students will be studying Japanese language and culture for the most part at the Suma campus.

2) Student population

In total around 3,000 students are enrolled in the undergraduate and graduate levels.



② International exchange

Through our agreements with universities in the United States, the United Kingdom, China, Indonesia, New Zealand, Germany and Thailand, KWU conducts exchange and overseas studies programs with 15 schools. Recent years' foreign student numbers are as follows:

2013 4 students
2012 6 students
2011 5 students

③ Number of Japanese Studies Students

To date, KWU has not enrolled any Japanese Studies Students in this program.

④ Special features of the city of Kobe

Kobe is a cosmopolitan port city in Hyogo Prefecture. Kobe has been and is populated by various foreign communities making it a comfortable and friendly city for students from abroad.

■ Overview of the Course

Our university offers classes in Japanese language and culture; students can learn about Japanese classic performing arts as well.

① Features of the course

Foreign students can enroll in both Japanese language classes designed for students from abroad as well as classes for regular Japanese students. Small Japanese language classes where students can concentrate on their language learning will ensure the acquisition of a higher level of Japanese.

Classes introducing classic performing arts or special programs offered by the Research Center of Classic Performing Arts will enable students to see and learn about Kabuki, Noh and Bunraku.

② Number of students to be accepted

2 (1 recommended by the embassy of Japan, 1 recommended by their university)

③ Qualifications and conditions for application

- Students must have sufficient Japanese language ability to participate in classes.
- Applicants must be women.

④ Goals and aims

The goal of this program is for students to deepen their Japanese language communicative ability and to gain interest and familiarity with classic performing arts. Students who have not yet passed the N1 exam will aim to do so.

⑤ Period of study

Semester 1 (corresponding to the 2nd semester of 2014 according to the KWU academic calendar): 22 September 2014 to late January 2015

Semester 2 (corresponding to the 1st semester of 2015 according to the KWU academic calendar): 1 April to late July, 2015

Students may opt to study for one semester or for one year. Completion ceremony will be scheduled in February or September.

⑥ Overview of classes

▪ Courses for Japanese Studies Students

1) Required classes

Japanese language I, III (First/spring semester)

Reading and writing of Japanese needed for university level study. Aim is to acquire Japanese ability sufficient for writing essays and papers.

Japanese language II, IV (Second/fall semester)

Listening and speaking of Japanese needed for university level study as well as developing competence in making presentations in Japanese.

▪ Regular courses available to Japanese Studies Students as electives

Elective classes can be taken from all departments across the university's curriculum.

2) Experiential study

Japanese Studies Students can visit cultural and historic points of interest in the Suma area and participate in community programs. Students may also enroll in university classes taught through fieldwork and workshops.

3) Other lecture classes and electives

All course offerings in the Faculty of Literature and Faculty of Home Economics are open to Japanese Studies Students in accordance with their Japanese language ability.

⑦ Calendar

April	: Entrance ceremony and orientation week
May	: Sports Day
July	: Watermelon Day / late July start of summer vacation
September	: Start of second/fall semester classes
November	: Founder's Day, Cosmos Festival (school festival)
December	: Winter vacation of around 2 weeks starting end of the month
February	: Completion Ceremony

⑧ Guidance and supervision

Japanese Studies Students will be assigned a supervising faculty member whose field is in line with the student's chosen area of study. Professor Junko Yasuhara is in charge of and responsible for guidance and supervision. As for general guidance while at KWU, International Programs staff and a Japanese student tutor will be available to help the student for her best well-being.

⑨ Requirements for completion of study and issuance of certificate

A completion certificate will be issued to students who have acquired the required number of credits through the completion of both compulsory and elective courses over one semester or one full year.

■ Housing

Students will be introduced appropriate housing. University dormitory, when space is available, may be an option.

■ Follow-up services

Contact with students who have completed the course will be possible through e-mail and other methods including SNS with the support staff of the International Programs Office and supervising faculty.

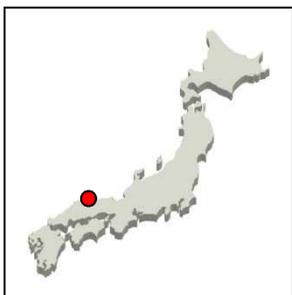
■ Contact Information

International Programs Office, Suma Campus
Kobe Women's University
2-1 Aoyama, Higashisuma
Suma-ku, Kobe
Japan 654-8585

Telephone +81-78-737-2095
FAX +81-78-732-5161

e-mail kokusai@yg.kobe-wu.ac.jp
URL <http://www.kobe-wu.ac.jp>





鳥取大学 (鳥取県)



学内外での交流を通して、実践的な日本語力を身につけ、日本文化・地域文化について幅広く学びます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育理念とし、地域社会との連携を重視する実学に秀でた大学です。構成学部は、地域学部、医学部、工学部、農学部であり、いずれの学部においても知識と共に実践的な能力を養うことに力を注いでいます。研究面でもCOEの採択もあり、その活動は高く評価されています。また、地域学部は、地域学を前面に出した数少ない学部であり、東アジアを中心とする地域研究も進めています。

2012年度から文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択され、大学教育のグローバル化及びグローバル人材の育成に力を入れています。

* 学生数・教員数 (2013年5月1日現在)

学部学生数：5,279名
大学院生数：1,082名
教員数：822名

② 国際交流の実績 (2013年7月1日現在)

学術交流協定校・機関数：89 (30の国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数151人、
日本語・日本文化研修留学生5人
2012年：留学生数174人、
日本語・日本文化研修留学生2人
2011年：留学生数185人、
日本語・日本文化研修留学生0人

④ 地域の特徴

鳥取は、自然が豊かで静かな所です。地元の人は皆、親切で暖かいので、地域での交流にも参加しやすいです。ふだんは静かに勉学に打ち込むのにとてもよい環境ですし、大阪、京都などの有名な大都市には3時間程度で行けます。



鳥取砂丘



■コースの概要

① コースの特色

科目選択の自由度が高く、研修生の希望により、「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に参加できる機会が多く、地域社会をより深く理解することができます。

② 受入定員

8名 (大使館推薦6名、大学推薦2名)

③ 受講希望者の資格、条件等

- ・本国において、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者
- ・積極的に日本の文化・社会を理解し、自らの文化を発信しようとする姿勢を持つ者

④ 達成目標

- ・実践的な日本語力を習得すること
- ・興味のあるテーマについて、研究計画を進めその成果を発信できるようになること

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ~ 2015年9月30日
閉講式は9月下旬を予定

⑥ 研修科目の概要

全学共通科目や学部専門科目、国際交流センターで開設する科目の中から、研修生の興味に合わせて、自由に科目を選択することができます。(国際交流センターの科目については、単位が認定されません。)

1) 必須科目

- ・専門日本語

様々なテーマについて、自分の意見を口頭や文章で発表します。後半は、各自が設定したテーマで研究を進め、修了レポートを作成します。

・日本の地域文化と地域産業

企業や文化施設等の見学をおこない、そこで学んだことを互いにディスカッションします。

* 共に、国際交流センターで実施する、日研生専用の科目です。(単位認定はありません。)

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・日本の地域文化と地域産業（上記に同じ）
- ・日本文化事情（全学共通科目）
- ・日本社会事情（全学共通科目）

いずれも、講義・ディスカッションと、見学や交流を、有機的に結びつけて授業をおこないます。

3) その他の講義、選択科目等

<全学共通科目>

・日本語実践

大学生活で必要となるアカデミックスキルを、実践を通して身につけます。

・日本語の表現技法

学習者同士で話し合いながら、伝えたいことを口頭や文章でより適切に表現する方法を学びます。

・日本のIT事情

コンピューターの基本的操作と入力を日本語でおこない、研究活動に役立てられるようにします。

<総合日本語コース>

プレースメントテストによってクラスを判定します。各自のレベルに応じたクラスで、四技能の向上を図ります。

<その他>

その他の全学共通科目や、地域学部の専門科目の中から、指導教員とも相談の上、受講する科目を選択します。

⑦ 年間行事（予定）

- 10月 開講式
新規留学生オリエンテーション
- 11月 留学生を囲む集い（学長主催）



- 1月 修了課題テーマ決定
- 2月 大山スキー研修



- 3月 京都研修旅行
- 5月 留学生と日本人学生との交流会
- 7月 留学生のためのゆかた着付け教室

8月 修了発表会

鳥取しゃんしゃん祭「一斉傘踊り」参加



9月 閉講式

* その他

- ・農作業体験（年に数回）



- ・小・中・高校での交流会（随時）
- ・地域の国際交流団体や学内の国際交流サークルのイベント（随時）

⑧ 指導体制

学生の興味のある分野に合わせて、地域学部の教員が指導教員になります。

また、国際交流センターでも、研修生それぞれに担当教員がつき、必要に応じて生活・教育支援を行います。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

10科目以上を履修し、かつ日本語・日本文化研修留学生修了課題（レポート）を完成した学生に対し、修了証を授与します。

単位を付与する授業については、成績証明書を発行します。（大学推薦の学生は単位互換が可能です。）



■ 宿 舎

名 称： 鳥取大学国際交流会館

所在地： 〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110

電 話： 0857-28-4808

ホームページ：<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/students-housing-dormitory>

構 造： 鉄筋コンクリート5階建て

部屋数： 1人部屋50室，2人部屋6室，3人部屋3室

その他：

室内には、ベッド、机、椅子、エアコン、書棚、洋服ダンス、シューズボックス、電気スタンド、電気ポットがあります。共同設備として、キッチン、シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。

コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで徒歩15分です。



■ 修了生へのフォローアップ

修了後は、メールやSNSなどを活用し、その後のキャリアパス（進学・就職）について等、相談に応じます。

■ 問合せ先

（担当部署）

鳥取大学 研究・国際協力部国際交流課

住所： 〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL： +81-857-31-5056（直通）

FAX： +81-857-31-6065

E-mail： kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学 地域学部教務係

住所： 〒680-8551

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL： +81-857-31-5077（直通）

FAX： +81-857-31-5076

E-mail： reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学国際交流センターホームページ

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/ciatu>

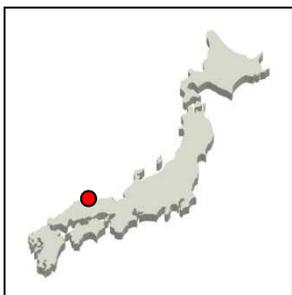
（留学生向けホームページ）

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/study-tottori>

鳥取大学ホームページ

<http://www.tottori-u.ac.jp/>





Tottori University



Students can acquire practical Japanese language skills and learn Japanese culture as well as regional culture through a wide variety of activities done on-campus and off-campus.

■ University's overview

① Outline

Tottori University has the idea 'Fusion of Knowledge and Practice,' and makes much of cooperation with regional societies. There are the Faculties of Regional Sciences, Medicine, Engineering, and Agriculture. Several big research programs are adopted, which shows its activities are evaluated highly. The Faculty of Regional Sciences is a unique faculty that promotes researches of Eastern Asia.

Tottori University has chosen for "Global Human Resources Development Project" by MEXT and makes an effort on globalizing of university education and developing global human resources.

*Number of Students and Academic Staff

Undergraduates: 5,279

Graduates: 1,082

Faculty members: 822

② International Exchange

Number of sister schools and organizations: 89 (30 countries and regions)

③ Number of International Students and Japanese Studies Students as of November 1.

2013: 151 International Students

5 Japanese Studies Students

2012: 174 International Students

2 Japanese Studies Students

2011: 185 International Students

0 Japanese Studies Students

④ Features of Tottori

Rich in natural scenery, the population is small and it is quiet. It is easy to participate in local events and interact with local people, kind and warm-hearted. It is a good environment to focus on studying, and convenient to go to big cities like Osaka and Kyoto which are about three hours away using public transportation.



Tottori Sand Dune



■ Course Outline

① Course Features

As flexibility of choosing subjects is high, students can study not only "Japanese Language" mainly but also "Japanese Culture" mainly. A lot of opportunities to attend events in a region are provided makes them understand the regional society more deeply.

② Number of Students to be Accepted

8 (Embassy Recommended 6, University Recommended 2)

③ Admission Requirements

- Those who are in major of Japanese language or Japanese culture in home universities.
- Those who would like to understand Japanese culture and society, and promote their cultures in Japan.

④ Goals and Objectives

- Acquire practical Japanese language skill
- Proceed their research plan about their interests and can transmit the results.

⑤ Duration of Course

October 1, 2014 through September 30, 2015
Completion ceremony is scheduled around the end of September.

⑥ Course Descriptions

Take any Common Course Subjects, specialized subjects provided by the Faculty, ones provided by Center for International Affairs suit to the students' interest. (No credits are given by subjects provided by Center for International Affairs)

1) Required Subjects

- Specialist Japanese
Give presentations and write essays in various topics.
Proceed own research and make a final report in the second semester.

• Regional Cultures and Industries of Japan

Visit companies, organizations or facilities and have a discussion about what we learn there.

* The above these subjects are provided especially for Japanese Studies Students by Center for International Affairs. (No credits)

2) Hands-on Learning in the Community
 • Regional Cultures and Industries of Japan
 (same as the above)

- Japanese Culture (Common Course Subjects)
- Japanese Society (Common Course Subjects)

These courses includes lectures, discussions, and visits to facilities in order to interact with local people.

3) Elective Courses and other Coursework
 <Common Course Subjects>

• Japanese in Practice
 Learn academic skills for college-life through practice.

• Expressing Technique of Japanese

Learn how to express more properly orally or in writing by discussions among the students.

• Computer Skills in Japanese

Learn how to use PC for research by practicing basic operation and inputting sentences in Japanese.

<General Japanese Language Course>

Judge the level by placement test. Four different level classes are provided. Students can acquire comprehensive language abilities.

<Other Subjects>

Choose other subjects from Common Course Subjects or specialized subjects provided by the Faculty of Regional Sciences, consulting with supervisors.

⑦ Event Calendar (tentative)

October Opening Ceremony
 Orientation

November Annual Party for International Students



January Decide the theme for final presentation

February Ski training tour



March Trip to Kyoto

May International Party with Japanese Students

July Dressing of Yukata

August Final Presentation
 Tottori "Shan-Shan" Festival



September Completion Ceremony

* Others

- Farm Work Experience (several times a year)



- International meeting at elementary, junior high, or high schools (occasionally)
- International events given by local institutions or students' club (occasionally)

⑧ Supervisors

Supervised by professors from the Faculty of Regional Sciences related to the field that students are interested in.

In addition, the professors from Center for International Affairs give supports socially and academically when necessary.

⑨ Completion Requirements and Certificate

Certificate will be given for those who take 10 or more subjects and complete the final report.

Transcript will be given for subjects that the students will obtain credits. (Transferring the academic credits is possible for those students will come to the University under University Recommendation.)



■ Accommodations

Name: Tottori University International House (Tottori Daigaku Kokusai Koryuu Kaikan)

Address: 4-110 Koyamacho-Nishi, Tottori-city, 690-0947

Tel: +81-857-28-4808

Web Site:

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/students-housing-dormitory>

Type: Reinforced concrete five-story building

50 single rooms, 6 double-occupancy rooms, 3 triple-occupancy rooms are available.

Others:

a bed, a desk, a chair, an air-conditioner, a bookshelf, a locker, a shoes box, a desk lamp, an electric pot in each room.

shower rooms, kitchen, laundry, lounge, a Japanese style room for common use.

Stores or supermarkets are located within 15 minute walk.



■ Follow-up to Completion Students

Consulting future carrier path such as further education or job hunting by using e-mail or SNS.

■ Contact

(Sections in charge)

International Affairs Division, Research and International Cooperation Department, Tottori University

Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8550

TEL: +81-857-31-5056, FAX: +81-857-31-6065

E-mail: kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

Educational Affairs Section, the Faculty of Regional Sciences, Tottori University

Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8551

TEL: +81-857-31-5077, FAX: +81-857-31-5076

E-mail: reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

Website of Center for International Affairs, Tottori University

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en>

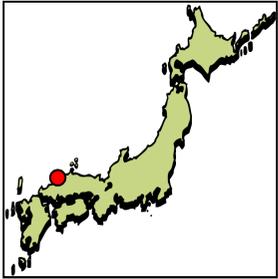
(Website for International students)

<http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/study-tottori>

Website of Tottori University

<http://www.tottori-u.ac.jp/>





島根大学 (島根県)



美しい自然環境。地域に根づいた伝統文化や行事の数々。島根だからこそ学べる日本があります。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

島根大学は法文学部、教育学部、総合理工学部、医学部、生物資源科学部で構成される中規模総合大学です（教員数765名、学生数6000名）。温かく人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、教員からは授業内外できめ細かい指導を受けることができます。そして、世界各国からの留学生や日本人学生とは、活発な交流が行えます。

② 国際交流の実績（2013年12月1日現在）

15カ国41大学・機関と交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年	留学生数	日本語・日本文化研修生数
2013年	161人	3人
2012年	157人	3人
2011年	185人	1人

④ 地域の特色

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されています。城下町として知られ、古くから茶道や和菓子の文化が栄え周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在しています。

他県と比べ、在住する外国人が少ないことも、留学生が島根で学ぶ利点となるでしょう。そのため、地域の人々との交流の機会も多く、日本語、日本文化を学びたい人にとっては絶好の場所です。治安もよく、冬には時々雪が降りますが、年間を通して気候は穏やかで住みやすいといえます。

【宍道湖の夕日】



■コースの概要

① コースの特色

少人数で行う必須の日本語・日本文化研修生向けの授業により、受講生のレベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行います。

「日本語」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本語科目を中心に、「日本文化」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本事情、異文化理解入門、その他専門に応じた科目を中心に履修します。

② 受入定員

5名（大使館推薦2名、大学推薦3名）

③ 受講希望者の資格、条件等

「日本語」コースを選ぶ人は、日本語能力試験N3レベル以上、「日本文化」コースを選ぶ人は日本語能力試験N2レベル以上の日本語能力があり、日本語あるいは日本に関係する分野を専攻していることが望ましいです。

④ 達成目標

- 1) 日本語能力試験N2またはN1に合格できるレベルの日本語力を身につけること（来日中の受験を推奨、支援します）。
- 2) 本コースで学んだことを日本語で発表できる能力を身につけること。

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ~ 2015年9月30日

⑥ 研修科目の概要

1) 必須科目

(※日本語・日本文化研修生用の授業)

日本語総合A

日本文化論、日本人論に関する評論を軸に、関連する多様な文章（エッセー、新聞記事、講演録など）を目的に応じて読む。さらに、読みとったことを表現活動に結びつけ、内容理解を深める。

日本語総合B

日本の歴史を通史的に学び、各時代の社会的、文化的背景について理解する。合わせて、各時代の主要な文学作品に目を通し、日本語の変遷を知る。

日本語総合C(特別演習) ★

地域に密着した伝統文化や芸能、祭事、歴史的文化財などに関連する資料を生教材として、日本語および日本文化を学ぶ。

日本語総合D(特別研究)

各自がテーマを設定して個人研究を行う。ゼミ形式で指導を受け、討論の仕方、図書館の使い方や資料収集の方法、小論文の書き方を学び、成果を発表する。

(★…見学を伴う参加型科目)

2) 選択科目

(※一般留学生、日本人学生と合同の授業)

日本語 I A

作文クラス。論理的な文章を書くための表現、語彙を増やしなが、文章の構成や展開パターンを学ぶ。

日本語 I B

読解クラス。語彙力、文法力を高めながら、速読や精読を通じて目的に応じた読み方ができるよう訓練を行う。

日本語 II A

会話クラス。場面や状況に応じた適切な表現、文型を学び、自分の意見を述べる方法、技術を習得する。

日本語 II B

口頭表現のクラス。発表のための調査、考察のスキルを養う。生の情報に接し、日本の社会に対する理解や知識も深める。

日本事情 A ★

日常生活の中に見る日本の文化について知識を深め、その背景にある日本人の考え方、価値観について理解を深める。また、日常的に見る日本文化の中に自分でテーマを見つけ、発表を行ったり、ビデオ制作を行ったりする。

日本事情 B ★

自然科学の視点から日本、島根県に対する理解を深める。テーマによって野外見学も実施する。

異文化理解入門

日本人学生との合同クラス。異文化理解に関する様々なトピックにもとづいて小グループでディスカッションを行ったり、課題制作を行ったりする。

その他、学生の専門に応じた科目

例) 日本語のしくみ 日本語学概論 日本文学講義 日本社会のしくみ 日本人の宗教と死生観 日本人の意識構造 等

授業名		時間数【単位数】		○必須	△選択
		後期 <10月-3月>	前期 (4月-9月)	日本語 コース	日本文化 コース
必 須 ※	日本語総合A	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合B	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合C	30【1】	—	○	○
	日本語総合D	—	60【2】	○	○
選 択	日本語 I A	30【1】	30【1】	○	△
	日本語 I B	30【1】	30【1】	○	△
	日本語 II A	30【1】	30【1】	○	△
	日本語 II B	30【1】	30【1】	○	△
	日本事情A	30【2】	30【2】	△	○
	日本事情B	30【2】	30【2】	△	△
	異文化理解入門	30【2】	—	△	○
その他 専門に応じた科目		各30	各30	△	○
コース修了要件:		必須授業を含む600時間以上の履修			

※日本語・日本文化研修生用の授業にも単位が付与される(2013年より)。

⑦ 年間行事・見学 (※年度によって異なります)

- 10月 松江祭どう行列^A
足立美術館
- 11月 出雲大社^B
石見神楽
- 12月 諸手船神事
そば打ち
- 1月 どんど焼き
松江歴史館
- 2月 抹茶工場^C
- 3月 醤油蔵
和菓子作り^D
- 4月 青柴垣神事
安来のひな祭り
出雲大社
- 5月 蛭狩り
由志園^E
(日本庭園)
- 6月 月照寺
- 9月 留学生見学旅行



⑧ 指導体制

日本語・日本事情担当教員ほか、学生の専門に応じて指導教員が、学業面の指導、生活面の支援を行います。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

必須授業を含む、600時間以上を履修すること。修了者に対し修了証明書を発行します。



【学長より修了証書授与】

■ 宿 舎

大学から徒歩5分のところに留学生用宿舎「国際交流会館」があります（単身用26室、夫婦用1室／単身用 月額5,900円 夫婦用 月額9,500円）。宿舎には、優しく時に厳しい「お母さん」のような管理人が勤務し、日本人チューターも住んでいます。研修生は、各国からの留学生との1年間の生活を通して、友情を深めると同時に、異文化コミュニケーション能力も身につけることができます。

■ 修了生のキャリア例

- ・JETプログラムの国際交流員として県庁に勤務
- ・修了生母国の日本大使館に勤務

■ 問い合わせ先

島根大学国際交流課留学生係

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel : +81-(0)852-32-6106

Fax : +81-(0)852-32-6481

E-mail: ied-ryugaku@joffice.shimane-u.ac.jp

H.P: <http://www.shimane-u.ac.jp/>

日本語・日本事情担当教員：中園博美
nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【国際交流会館】



【居室】

【留学生見学旅行&行事】



〈出雲大社〉



〈高校生と調理実習〉



〈農業体験〉



Shimane University (Shimane Prefecture)



Through wealth of traditional culture that finds roots in beautiful place Shimane, students learn Japan and Japanese language.

■ Introduction to Shimane University

① University Overview

Since Shimane University is a mid-sized university with 6000 students and 765 teaching staff, students have the opportunity to learn in a warm and friendly environment more typically associated with smaller colleges. Professors provide kind support and guidance to all students, and are readily available to foster enduring professional relationships through seminars, laboratory work and field work. This is but one of the many positive characteristics of Shimane University.

② International Exchange (As of December 1, 2013)
Universities with exchange agreements:
41 universities in 15 countries

③ The Number of international students and Japanese Studies Program students

Year	International students	Japanese Studies Program students
2013	161	3
2012	157	3
2011	185	1

④ Characteristics of Shimane Prefecture

Since there are not many foreign residents living in Shimane, studying at Shimane University provides an excellent opportunity for applicants to immerse themselves in the Japanese language and culture. Also, students are able to enjoy a wide variety of activities and international events with Japanese students both on and off campus. Matsue is also a very safe city, especially when compared to other

major cities. Climate-wise, Matsue is very temperate. While it may snow occasionally during the winter, the weather is quite comfortable throughout the year.

【Sunset over Lake Shinji】



■ Outline of the Course

① Characteristics of the Course

Applicants take compulsory subjects designed for only Japanese studies program students (see ⑥1)). The class size is very small and organized flexibly considering the needs of students to develop their ability in Japanese in the best possible way. Also, applicants take other elective subjects depending on their majors and purpose of study in Japan.

“Japanese course” students will take mainly Japanese classes, and “Japanese culture course” students will take mainly Japanese studies classes, intercultural understanding class and other classes related their major. The explanation of the classes are in ⑥2).

② Number of students to be accepted: 5 students

- Nomination by the Japanese Embassy 2
- Nomination by University 3

③ Qualification for the Course

“Japanese course” applicants are required to have Japanese ability equivalent to or above level N3 of Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and “Japanese culture course” applicants are required level N1 ability. Applicants majoring in Japanese Linguistics or subjects related to Japan in general are preferred.

④ Aim of the Course

- 1) To acquire Japanese ability to pass N2 or N1 level of JLPT
(We support students to take and pass JLPT) .
- 2) To acquire presentation ability in Japanese about things that students have learned.

⑤ Period of the course:

October 1, 2015 to September 30, 2016

⑥ Outline of classes

1) Compulsory classes

(※Classes for Japanese Studies Program students)

Integrated Japanese A

Read essays on Japanese culture and people and a variety of texts for example, newspaper articles and lecture texts.

Integrated Japanese B

Learn about general Japanese history and understand social and cultural features of each era.

Integrated Japanese C ★

Using materials concerning traditional arts, cultural and historical property, learn Japanese and about Japanese culture.

Integrated Japanese D

Learn how to find materials, how to use library services, and complete a research paper on a topic of one's choice.

(★・・・A class offered Trips for field studies)

2) Elective classes

(※Classes with other foreign students and Japanese students)

Japanese IA

Writing class. Practice writing logical sentences for a composition. Learn new vocabulary, grammar, sentence structures, and understand composition development.

Japanese IB

Reading comprehension class. Practice reading rapidly and carefully for content.

Japanese IIA

Communication class. Practice appropriate expressions according to the situation. Learn how to express opinions.

Japanese IIB

Oral expression class. Practice giving presentations. Deepen understanding of Japanese culture and society through observation.

Japanese Studies A ★

Learn about Japanese culture and society. Get an understanding in Japanese thought and values. Students are required to give a presentation or make a short-video on a subject of their own.

Japanese Studies B ★

Learn about the environment of Japan and Shimane from a natural science viewpoint.

Intercultural understanding class

Learn from other cultures and have an experience of seeing things from a different cultural viewpoint through small group discussion and group activity with Japanese students and other foreign students.

Other Classes

Ex.) System of Japanese Japanese Study Japanese literature
System of Japanese society Japanese Japanese view of life and death etc.

Name of Class	Number of Hours 【Credits】		○Compulsory △Elective		
	1 st semester	2 nd semester	Japanese Course	Japanese Culture Course	
※ Compulsory classes	Integrated Japanese A	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese B	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese C	30【1】	—	○	○
	Integrated Japanese D	—	60【2】	○	○
Elective classes	Japanese IA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese Studies A	30【2】	30【2】	△	○
	Japanese Studies B	30【2】	30【2】	△	△
	Intercultural understanding	30【2】	—	△	○
	Other classes	30/class	30/class	△	○
Requirements:		completed 600 hours including Compulsory classes			

※ Credits will be given to the classes of Japanese Studies Program as well as general classes since 2013.

⑦ Field Trips / Activities (※varies from year to year)

- Oct. Matsue festival Doo Gyooetsu^A
Adachi Museum (Japanese garden)
- Nov. Izumo Shrine^B
Iwami Kagura
- Dec. Morotabune
Shinto ritual
Soba making



- Jan. Matsue History Museum
- Feb. Green Tea factory^C
- Mar. Soy sauce store-house
Wagashi making^D



- Apr. Doll Festival in Yasugi
Izumo Shrine
hunting for fireflies
- May Yuushien^E (Japanese garden)



- Jun. Gessyo temple
(hydrangea temple)
- Sep. Field trip for inter-
national students



⑧ Guidance System

An instructor for Japanese Studies Course and other advisors will give personal tutorials to the students concerning their research topic and offer support for daily living.

⑨ Requirements for Completion of the Course and Certificate of Completion

Those students who have completed 600 hours including compulsory classes are given certificates of completion for the Course.



【Students with certificate given by the President】

■ Housing

International House is located 5 minutes on foot from the University campus (Single room: 5,900 yen/month, Double room: 9,500 yen/month). The resident assistant, who is very kind but sometimes strict like a mother and a friendly Japanese tutor will always help students. Students can cultivate friendship with international students and cross-cultural understanding throughout a year.

■ Career Paths for Students

One student who completed our course returned to Japan to work as a coordinator for International Relations of the JET program, and another student is working as a staff member of Japanese Embassy in her country.

■ Contact Address

International Student Section
International Exchange Division
1060 Nishikawatsu, Matsue, Shimane 690-8504
Tel: +81- (0) 852-32-6106
Fax: +81- (0) 852-32-6481
E-mail: ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
H.P: <http://www.shimane-u.ac.jp/>
Instructor for Japanese Studies Course: Hiromi Nakasono
E-mail: nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【International House】



【Private room】

【Field trip and events for international students】



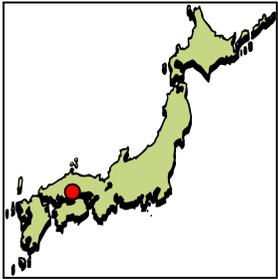
〈Izumo Taisha, a shrine with a remarkably long history〉



〈Cooking with high school students〉



〈Farming experience〉



岡山大学 (岡山県)



日本語能力の向上及び日本の文化、社会、経済、法律、教育などに対する理解を深めることを目的とする。本コースは次の3種類の授業からなる。①さまざまなレベルやトピックを扱う日本語クラス、②日本の文化、経済、法律、教育に関する授業、③文学部、法学部、経済学部、教育学部の各学部の日本人学生対象の講義

①大学紹介

・大学の特色および概要

1) 特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが、その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設立の第六高等学校などで、長い伝統があります。設立後発展を重ね、現在では文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境理工学部、農学部の11学部と、教育学研究科、社会文化科学研究科、保健学研究科、医歯薬学総合研究科、自然科学研究科、環境生命科学研究科、法務研究科の7大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は、言語教育センターが担当し、生活面のサポートは国際センターが行っています。

2) 教員・学生数等 (2013年5月1日現在)

教員数：1,287名
学部学生：10,186名
大学院生：3,002名

・国際交流の実績 (2013年5月1日現在) 大学間交流協定数 77件

・過去3年間の留学生受入数及び日本語・日本文化研修留学生 (以下、日研生) の受入れ実績 (各年5月1日現在)

2013年：留学生数465名/日研生5名(大使館推薦4/大学推薦1)
2012年：留学生数474名/日研生5名(大使館推薦4/大学推薦1)
2011年：留学生数510名/日研生1名(大学推薦)

・岡山市の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し、瀬戸内海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んであるとともに、農産物や水産物が豊かな県です。岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で、この地方の政治、経済、教育、文化の中心地のひとつです。

岡山市の人口は約70万人で、2009年4月から政令指定都市になりました。岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれば、東京から3時間30分、新大阪から45分で岡山市に着きます。

②コースの概要

・コースの特色

日研生は、文学部、教育学部、経済学部、法学部のいずれかに所属し、指導教員の指導を受けます。日本語の能力が特に高い学生は、所属学部で開講されている日本人学生対象の講義に出席することができます。また、各自の研究テーマに合った演習にも参加できます。

・受入定員 5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)

・受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2レベルの日本語 (語彙6,000語、基本漢字1,000字程度) を習得している者。

・達成目標

アカデミックな日本語能力を養い、日本に関する専門的な知識を深めること。

・研修期間

2014年10月1日～2015年9月30日
(自主研修期間を含む)

・研修科目の概要

授業は原則として、前期・後期各16週間開講されます。テスト期間を含みますので、授業時間は15週間分となります。

学生は指導教員と相談の上自分のレベルや興味に合った科目を履修できます。必須科目は設けていません。履修可能科目は以下の通りです。

◆日本語科目

プレースメントテストの結果に基づいて、日本語のクラスを決めます。日本語5は日本語能力試験N2程度、日本語6は日本語能力試験N1程度を目指す学生のためのコースです。日本語7、あるいは文学部で開講されている上級コースは、既に日本語能力試験N1レベルに達している学生を対象としています。



◇中級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間
日本語 4 (前/後期)	中級中期の総合的なクラス	120
日本語 5 (前/後期)	中級後期の総合的なクラス	120
映像で学ぶ 日本語 1 (前期)	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	30
新聞で学ぶ 日本語 (後期)	新聞、雑誌を読みながら日本語を学ぶクラス	30
中級文法・ 語彙 1 (後期)	中級の文法や語彙を学ぶクラス	30

◇中／上級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間数
多読で学ぶ 日本語 (前期)	多量の日本語を読むクラス	30
映像で学ぶ 日本語 2 (前期)	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	30
中級文法・ 語彙 2 (後期)	中級後半の文法や語彙を学ぶクラス	30
プロジェクト ワークで学ぶ 日本語 (後期)	日本について調べながら日本語を学ぶクラス	30
メディア・ リテラシー (後期)	情報を批判的に読み取るクラス	30

◇上級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間
日本語 6 (前/後期)	上級前期の総合的なクラス	120
日本語 7 (書くA/B) (前/後期)	上級の書く力を高めるクラス	30
日本語 7 (読むA/B) (前/後期)	上級の読む力を高めるクラス	30
日本語 7 (聞くA/B) (前/後期)	上級の聞く力を高めるクラス	30
日本語 7 (話すA/B) (前/後期)	上級の話す力を高めるクラス	30

◇上級コース（文学部）

授業科目名	概要	時間
日本語 1a/b (前/後期)	上級の読解クラス	30
日本語 2a/b (前/後期)	上級の文法を学ぶクラス	30



◆日本語以外の科目

授業科目名	概要	時間
日本事情 (前/後期)	茶道、備前焼などの日本文化を体験しながら学ぶクラス	30
日本文化学a/b (前/後期)	日本文化に関わるテーマについて討論するクラス	30
日本経済事情 IA/IIA (前/後期)	日本の戦後経済史を学ぶクラス	30
日本経済事情 IB/IIIB (前/後期)	日本の経済について学ぶクラス	30
日本法政事情 II (後期)	日本の法律や政治について学ぶクラス	30
日本を知ろう (前期)	日本の文化や社会について学ぶクラス	30
国際理解教育 概説 (後期)	多文化社会について考えるクラス	30

*日本語の能力が特に高い学生は、上記以外に、所属学部で開講されている日本人学生対象の講義の受講が可能です。

・授業日程・行事

後期（10月～2月）

10月 新入生オリエンテーション

授業開始

新入生歓迎パーティー

11月 大学祭

2月 授業終了

前期（4月～8月）

4月 授業開始

8月 授業終了

9月 修了レポート提出

お別れパーティー



・指導体制

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる学部において指導教員を決め、学業面の指導、生活面の支援を行います。

コーディネーター

坂野英里（言語教育センター）
堤 良一（文学部）
平田仁胤（教育学部）
廣田陽子（経済学部）
佐野 寛（法学部）

・コースの修了要件・修了証書・成績証明書

半期210時間以上、1年間で420時間以上履修し、修了レポートを作成すること。修了時に修了証書を授与します。また、必要がある場合は、成績証明書も発行します。

③宿 舎

下記の岡山大学外国人留学生・研究者宿泊施設のいずれかに入居できます。各宿泊施設は大学の中心キャンパスである津島キャンパスから徒歩5～10分程度のところに位置しており、通学に大変便利です。

日本語・日本文化研修留学生は、研修期間中優先して入居することができます。

寄宿料および光熱水料は次のとおりです。

- 桑の木留学生宿舎 寄宿料 北棟月額15,000円
南棟月額12,000円
- 福居留学生宿舎 寄宿料 月額18,000円
- 国際交流会館 寄宿料 月額20,000円

※その他、電気、ガス、水道料金を負担していただきます。

※寄宿料は改定する場合があります。

桑の木留学生宿舎



福居留学生宿舎



国際交流会館



④修了生へのフォローアップ

2011年に岡山大学留学生同窓会が設立され、毎年総会が開催されています。今後、更に海外での活動を充実させ、日研究生を含め、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

また、日研究生修了生のうち、より深く専門分野を本学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースも増えています。



⑤問い合わせ先

（担当部署）

岡山大学国際センター

住所 〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中2丁目1番1号

TEL +81-(0)86-251-7051

（直通）

FAX +81-(0)86-252-5022

E-mail dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

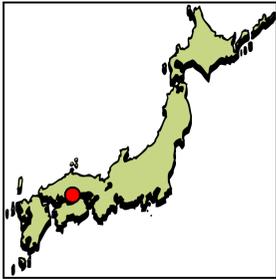
岡山大学ホームページ

<http://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学国際センターホームページ

<http://ouic.okayama-u.ac.jp/>





Okayama University

(Okayama Prefecture)



This program aims at deepening your comprehension of Japanese language, culture, economy, law, and education.

The program offers the following classes;

(1) Japanese language classes with various levels and topics, (2) Special courses on Japanese culture, economy, law, and education, (3) Courses at the Faculties of Letters, Law, Economics and Education

① University Overview

▪ Characteristics and Overview of Okayama University

1) Characteristics and History

Okayama University was founded in 1949 on the basis of its predecessors Okayama Medical College and Sixth High School, which were founded in 1922 and 1900 respectively. Now, it has 11 faculties and 7 graduate schools and is one of the biggest national universities in Japan.

One of its characteristics lies in its emphasis on international exchanges.

The Language Education Center provides Japanese language courses to International Students and the International Center supports their living in Japan.

2) Number of Students (as of May1, 2013)

Academic Staff 1,287
Undergraduate Students 10,186
Graduate Students 3,002



▪ International Exchanges (as of May1, 2013)

International Exchange Agreement (University Level) 77

▪ International Students & Japanese Studies Students

2013: International Students 465, Japanese Studies Students 5
2012: International Students 474, Japanese Studies Students 5
2011: International Students 510, Japanese Studies Students 1

▪ Characteristics of Okayama Prefecture

Okayama Prefecture is in the Chugoku region, which is located at the western part of the Japanese Islands, and faces the Seto Inland Sea. The Mizushima Industrial District and manufacturing industry are prosperous. It is also famous for farm products and marine products. Okayama city, where Okayama University is located, is the capital of Okayama Prefecture and one of major political, economic, commercial, educational and cultural centers of the Chugoku region. Okayama city's population is approximately 700,000.

It is a convenient key city in the transportation network. By using Super Express (Shinkansen), it is about 3.5 hours from Tokyo and 45 minutes from Shin-Osaka.

② Overview of the Courses

▪ Characteristics

Students will belong to the Faculty of Letters, Education, Economics, or Law, and will be supervised by academic advisors. They can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient. They also can attend the seminars related to their research interest.

▪ Number of Students to be Accepted: 5

(4 recommended by Embassy and 1 recommended by University)

▪ Qualifications and Requirements:

Candidates are expected to have Japanese language ability equivalent to the N2 Level or above of the Japanese Proficiency Test (6,000 words, 1,000 kanji).

▪ Course Objectives

The aims of the courses are to aid students in improving their academic Japanese language skills as well as to deepen their specialized knowledge of Japan.

▪ Period of the Course:

From October 2014 to September 2015 (including self-study period)

▪ Course Outlines:

There are two semesters in a year: Spring Semester (April to September) and Fall Semesters (October to March). Each Semester consists of 16 weeks including 1 week exam periods.

Students can take classes that suit their interests and Japanese language levels upon the consultation with their academic advisors. There are no required classes. The classes offered are as follows;

◆ Japanese Language Classes

Students will be assigned to Japanese language classes based on the result of the placement test. Japanese 5 is designed for students aiming for level N2 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and Japanese 6 is for those aiming for level N1. Japanese 7 and Advanced Japanese Courses offered in the Faculty of Letters are for those who have reached the level of JLPT N1.

◇ Intermediate Course (in the Language Education Center)

Title	Contents	Credit Hours
Japanese 4 (Spring/Fall)	Integrated class for intermediate students	120 hrs
Japanese 5 (Spring/Fall)	Integrated class for upper-intermediate students	120 hrs
Japanese through Films 1 (Spring)	Learn Japanese through dramas and movies	30 hrs
Japanese through News and Magazine Articles (Fall)	Learn Japanese through newspaper and magazine articles	30 hrs
Intermediate Grammar and Vocabulary 1 (Fall)	Reinforce grammar and vocabulary	30 hrs

◇ Intermediate / Advanced Course (in the Language Education Center)

Extensive Reading (Fall)	Training for extensive reading	30 hrs
Japanese through Films 2 (Spring)	Learn Japanese through dramas and movies	30 hrs
Intermediate Grammar and Vocabulary 2 (Fall)	Reinforce grammar and vocabulary	30 hrs
Japanese through Project Work (Fall)	Learn Japanese through project works	30 hrs
Media Literacy (Fall)	Learn media literacy in Japanese	30 hrs

◇ Advanced Course (in the Language Education Center)

Japanese 6 (Spring/Fall)	Integrated class for advanced Japanese students	120 hrs
Japanese 7 (Writing A/B) (Spring/Fall)	Reinforce language skills in writing	30 hrs
Japanese 7 (Reading A/B) (Spring/Fall)	Reinforce language skills in reading	30 hrs
Japanese 7 (Listening A/B) (Spring/Fall)	Reinforce language skills in listening	30 hrs
Japanese 7 (Speaking A/B) (Spring/Fall)	Reinforce language skills in speaking	30 hrs

◇ Advanced Course (in the Faculty of Letters)

Japanese 1a/b (Spring/Fall)	Advanced reading	30hrs
Japanese 2a/b (Spring/Fall)	Advanced grammar	30hrs

◆ Classes Other than the Japanese Language Classes

Study of Japan (Spring/Fall)	Experience elements of Japanese culture such as the tea ceremony and Bizen-yaki pottery	30hrs
Japanese Studies a/b (Spring/Fall)	Discuss topics concerning the Japanese culture	30hrs
Japanese Economic Affairs IA/IIA (Spring/Fall)	Study Japanese economic history after World War II	30hrs
Japanese Economic Affairs IB/IIB (Spring/Fall)	Study Japanese economic affairs	30hrs
General Guidance on Japanese Law and Politics II (Fall)	Introductory class on Japanese law and politics	30hrs
Japanese Culture and Society (Spring)	Learn about Japanese culture and society	30hrs
Introduction to Global Education (Fall)	Learn and think about the multicultural society	30hrs

* Others

Students can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient.

▪ **Academic Calendar and Events:**

Fall Semester (October – February)

October: Orientation for New Students, Welcome Party, Classes begin
November: University Festival
February: Classes end

Spring Semester (April – August)

April: Classes begin
August: Classes end
September: Submission of Research Paper, Farewell Party

▪ **Academic Guidance:**

Academic advisors will be assigned to each student. They will provide an academic guidance and an everyday life support.

Coordinators:

Eri BANNO (Language Education Center), Ryoichi TSUTSUMI
(Faculty of Letters), Yoshitsugu HIRATA (Faculty of Education),
Yoko HIROTA (Faculty of Economics), Hiroshi Sano (Faculty of Law)

▪ **Requirements for Completion of the Course and Certificate:**

Students must take 210 or more credit hours per semester (a total of 420 or more credit hours) and submit a final research paper.

A certificate of completion will be given upon the completion of the course.
An academic transcript will be also issued.

③ Accommodations

Okayama University has three dormitories for International students (Kuwanoki Dormitory, Fukui Dormitory and International House). They are conveniently located within a five or ten minute walk from Tsushima Campus, the main campus of the University.

Students enrolled in the Japanese studies course have priority in residing in one of these dormitories during their studies.

<Rent and Utility Bills>

● Kuwanoki Dormitory :Rent North Wing 15,000 yen per month
South Wing 12,000yen per month

● Fukui Dormitory :Rent 18,000 yen per month

● International House :Rent 20,000 yen per month

* Electricity, water and gas will be charged.

*** Rent is subject to change.**

Kuwanoki Dormitory



Fukui Dormitory



International House



④ Follow-up

Okayama University organized the Okayama University International Alumni Association in 2011 and the general meeting is held once a year. The Okayama University International Alumni Association will serve as a way to disseminate information between alumni association members and students of Japanese Studies at Okayama University in addition to providing alumni who do not belong to the association a way to stay connected with Okayama University.

After studying Japanese Studies at Okayama University, some students have returned to continue their research.



⑤ Contact

International Center, Okayama University

Address: 2-1-1 Tsushima-Naka, Kita-ku, Okayama, 700-8530

Phone: +81-(0)86-251-7051 Fax: +81-(0)86-252-5022

E-mail: dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

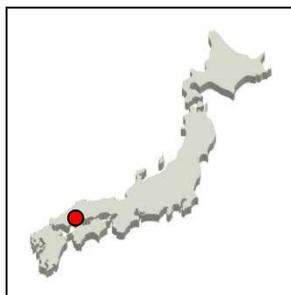
URL: Okayama University:

http://www.okayama-u.ac.jp/index_e.html

International Center:

<http://ouic.okayama-u.ac.jp/english/index.html>





広島大学 (広島県)



・充実した日本語日本事情教育

・豊富な実地見学

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

1949年広島文理科大学、広島高等師範学校などを包括して設置された。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数の規模と学生数を誇る。11の学部と11の大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・研究科（大学院）以外にも、高等教育研究開発センター、平和科学研究センター、国際センター、原爆放射線医学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。

さらに、教育学部は日本語教育系コースを持ち、日本語教師や日本語教育学の専門家を目指す日本人学生、留学生が勉学に励んでいる。

医学部、歯学部等を除く東広島市への統合移転が1995年度に完了し、市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ、静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

2) 教員・学生数等 [2013.11.1 現在]

教員	1,725名
学生数	学部学生・研究生等 11,258名 大学院学生・研究生等 4,238名

② 国際交流の実績

大学間交流協定数： 141協定

(35カ国・地域 135機関)

留学生在籍数	1,110名 (69カ国) [2013.11.1 現在]	
うち、日本語・日本文化研修プログラム	国際センター	13名
	文学部	1名
	教育学部	1名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修学生の受入実績

	留学生数	日本語・日本文化研修留学生
2013年	1,110人	15人
2012年	1,081人	7人
2011年	1,085人	4人

④ 広島県、広島市、東広島市の特色

広島市、東広島市が位置する県南部は、瀬戸内海に面し、気候は温暖で、四季に恵まれ、海苔やカキの養殖が盛んである。また、北部の中国山地は、神楽などの伝統芸能が盛んで、「たたら（現在の製鉄所）」の遺跡も多い。

広島市は世界最初の被爆都市であるが、政令指定都市となった現在は、国際平和都市として市民グループの活動も活発で、平和や国際協力に関する留学生との国際交流活動に参加できる機会にも恵まれている。

東広島市は、広島市の東約30キロの盆地の中にあり、古くから、酒都として有名であるが、現在は、広島大学、他の私立大学、また国や多くの企業の研究施設も移転してきており、研究学園都市として急速に発展している。また、半導体、電気・電子機器等製造業の進出が近年盛んで、人口も急速に増えている。

■コースの概要

① コースの特色

本プログラムは、本プログラムの研修生のみを対象として開講する必修の「日本語・日本文化特別研究」、指導教員のもとで行われる「課題研究」、およびそのレポートの作成、そして全学向けの「日本語・日本事情科目」から選択して履修する授業を3つの柱としている。

必修科目である「日本語・日本文化特別研究」では、国際センター、また学内の教員の協力を得て、1回完結の講義の中で日本語と日本文化、日本社会、広島から考える平和について学ぶとともに、広島市を始め、広島県内および中国地方、瀬戸内海周辺で実施する多くの見学を通じて、直接日本文化に接しながら日本の歴史、文化、風俗および平和の尊さについて学ぶ。

「日本語・日本事情科目」は、全学の留学生に開講されているものだが、そのうち、中上級レベルであるレベル4、上級レベルであるレベル5のクラスから、自身の日本語能力と興味・関心に応じて授業を選択する。

「課題研究」では、日本語学、日本語教育学、日本文学などの専門家である指導教員の個別指導のもと、日本語・日本文化の分野で専門水準の研究を行う。また、自身の興味、専門に応じ、指導教員と相談したうえで、総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部等で開講されている日本人学生向けの授業を聴講することも可能である。

研修生には日本人学生のボランティアチューターを1人つけ、生活面、勉学面でサポートしている。さらに、要望に応じて日本語会話パートナーと会話練習をしたり、多様な国際交流活動に参加できる。

また、国際センターでは、コンピューター室の開放、研修生全員に専用の研修ツールとして

ノートブック型コンピューターの貸出などを行っている。

さらに、国際センターには数多くの日本映画とアニメのDVDソフトが用意されており、これらを活用した授業が行われているだけでなく、授業の一環として視聴を奨励している。

また、国際センターでは、各留学生在が指導教員の個別指導のもとに行った「課題研究」をまとめ毎年、研修レポート集として発行している。

② 受入定員

20名（大使館推薦と大学推薦を合わせ）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講できる者は、文部科学省の規定に基づく大使館推薦による者の他、大学間協定、ないし部局間協定に基づく大学推薦の学生とし、以下の要件を満たす者とする。

1) 日本語能力：日本語能力検定試験2級以上の高い日本語能力を有する者、あるいは有すると見なせる者。

2) 日本研究学習歴／専攻：日本語を2年以上学び、日本語・日本文化を主専攻とする者。大学1年生は対象としない。

④ 達成目標

日本語・日本文化の分野で1年間、指導教員の個別指導のもと卒業論文の水準の「課題研究」を行い、研修修了時に日本語レポートとしてまとめる。これにより、テーマの設定、研究構想、原稿作成、口頭発表に必要な日本語能力を獲得する。

⑤ 研修期間

2013年10月1日 ～ 2014年9月30日
修了式は9月初旬を予定（2013年は9月9日）

⑥ 研修科目の概要

授業は原則として前期・後期各15週開講される。

1) 必須科目

「日本語・日本文化特別研究I・II」：前後期週2コマ（4時間）

国際センター、また学内の教員による日本語・日本文化・日本事情に関する講義、および文化施設・文化財・建築等の見学。また、「課題研究」の構想発表・中間発表もこの時間に行われる。以下の講義・見学は2012年度のもので、2013年度は多少変更の可能性がある。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

広島見学1（広島城・平和公園）
広島見学2（ひろしま美術館・広島市現代美術館）
サタケ（精米器メーカー）見学
宮島見学
亀齢酒造見学
マツダ見学
福山見学
瀬戸内海しまなみ研修旅行（愛媛県松山市1泊2日）
尾道見学
下蒲刈島・呉市見学
古事記・風土記の旅（島根県松江市1泊2日）

3) その他の講義、選択科目等

・講義

日本語音声学・音韻論	現代日本語の語彙
日本語と文体1	第二言語の学習ストラテジー
俳句入門	世界の平和教育
比較言語文化論の視点	日本語と文体2
古事記と日本神話	沖縄のこぼれ
日本社会とジェンダー	日本の高等教育の国際化と市場化

・選択科目

レベルIV：

（前期）総合日本語中級IIA（長文読解）、B（日本語作文）、C（聴解）、日本の教育と文化A：各1コマ（90分）／週
（後期）総合日本語中級IID（長文読解）、E（日本語作文）、F（聴解）、日本の教育と文化B：各1コマ（90分）／週

レベルV：

・日本語聴解特別演習A・B	・日本語語彙特別演習A・B
・日本語分析特別演習A・B	・日本語表現特別演習A・B
・映像日本語特別演習A・B	・論文作成法A・B
・日本の社会・文化A・B	：各1コマ（90分）／週

日本語【授業科目及び授業時間数】

授業科目		前期	後期
必須科目	日本語・日本文化特別演習	60	60
選択科目： 日本語・日本 事情科目	総合日本語中級II A・D	30	30
	総合日本語中級II B・E	30	30
	総合日本語中級II C・F	30	30
	日本の教育と文化 A・B	30	30
	日本語聴解特別演習 A・B	30	30
	日本語語彙特別演習 A・B	30	30
	日本語表現特別演習 A・B	30	30
	日本語分析特別演習 A・B	30	30
	日本の社会・文化 A・B	30	30
	論文作成法 A・B	30	30

⑦ 年間行事

- ・日帰り見学
1年間に5～6回
- ・研修旅行（1泊2日）
前期、後期それぞれ1回
- ・研修成果発表会
修了式当日



⑧指導体制

1) プログラム実施委員

氏名	所属・職名	専攻
中川正弘 (委員長)	国際センター教授	文体論、日本語教育
田村泰男	国際センター准教授	言語学、日本語教育
石原淳也	国際センター准教授	日本語音声学・音韻論、言語学
中矢礼美	国際センター准教授	比較教育学

2) 指導体制

センターに所属する全ての教員および一部の教育学部教員が指導教員として本プログラムに参加し、学生の学業、生活両面にわたり指導・助言を行っている。

3) 助言・カウンセリング

留学生に対する助言・カウンセリング等は、以下の場所で協力して行われている。

- ・保健管理センター
- ・所属学部の留学生専門教育教員（教育学部配置学生のみ）

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

修了時に各指導教員の下で行った「課題研究の成果をまとめたレポートの提出も求められる。修了式において学長の署名が入った「修了証書」が授与される。

■宿 舎

広島大学の留学生数の増加にともない、全ての者が広島大学内の留学生用宿舎、東広島市内の公的宿舎へ入居できるとは限らない。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もある。

- ・過去3年間の日研生の宿舎入居状況（各年度10月現在）

	国際交流 会館	サンスクエア 東広島	民間 アパート	計
2013年度	14	0	1	15
2012年度	7	0	0	7
2011年度	4	0	0	4

・広島大学内の留学生用の宿舎

「国際交流会館」：広さ 13.3㎡、家賃 5,900円/月、共通経費 2,500円/月、国際センターまで 徒歩20分、自転車7分・留学生用の公的宿舎

「サンスクエア東広島」：広さ 17.46㎡、家賃 20,000円/月、共益費 3,500円/月、シーツ代 6,000円、敷金60,000円、国際センターまでバス15分、自転車25分

・民間アパート（平均的相場）

広さ 15㎡～17㎡、家賃 25,000～45,000円/月、共益費 1,000～3,000円/月、敷金 家賃の1～3ヶ月分、礼金 家賃の約1ヶ月分、幹旋料 家賃の約1ヶ月分

・奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。



■修了生へのフォローアップ

- ・日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集を修了生本人と所属（出身）大学へ送付
- ・修了生のレポートPDFを国際センターホームページにリポジトリ登録し、閲覧可能
- ・修了した研修プログラムの記録を国際センターホームページに保存し、閲覧可能
- ・研修プログラムの最新の動向を知らせるため修了生をメーリングリストに登録

■問い合わせ先

（担当部署）

広島大学国際センター国際交流グループ

住所：〒739-8514 広島県東広島市鏡山
1丁目7番1号 広島大学学生プラザ

TEL：+81-82-424-6182（直通）

FAX：+81-82-424-4545

E-mail：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

○ 国際センターホームページ

<http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/index.html>

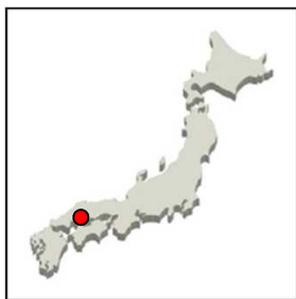
○ 留学生キャンパスライフガイド

<http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/center/campus/index.html>

○ 広島大学ホームページ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>





Hiroshima University (Hiroshima)



***Quality Japanese Language and Culture Education *Lectures Held by Specialists *Engaging Study Tours**

■ About Hiroshima University

① Features of the University

1) Characteristics and History

In 1949, the Hiroshima College of Literature and Science and the Hiroshima Higher Education Teaching College were merged, and Hiroshima University was born. Hiroshima University has a reputation as a leading university among education universities in Western Japan, as well as being prominent among Japanese universities for its high number of students. With 11 undergraduate faculties and 11 graduate departments, Hiroshima University is the home to education and research which meet the needs of today's world, including those of the Information Age, internationalization, and lifetime learning. Aside from the undergraduate and graduate faculties, Hiroshima University holds a variety of unique research centers including the Research Institute for Higher Education, Institute for Peace Science, International Center, and the Research Institute for Radiation Biology and Medicine. Furthermore, the education department offers a special Japanese Language education course for students studying to become Japanese Language teachers or Japanese Language specialists. In 1995, Hiroshima University was moved from Hiroshima City to Higashi-Hiroshima (apart from the Medicine and Dentistry Departments, which remain in Hiroshima City). Separated from the bustling city and surrounded by an abundance of nature, the vast Higashi-Hiroshima Campus provides the perfect study environment.

2) Staff/Student Numbers *as of 1 November, 2013

Teaching Staff	1,725
Students	Undergraduate students 11,258 Graduate and research students 4,238

The number of University Level Bilateral Agreements: 141
(135 institutes, 35 countries/areas)

② International Exchange Numbers *as of 1 November, 2013

Total Number of Int'l Students	1,110 (69 countries)	
Japanese Language and Culture Study Program	International Center	13
	Faculty of Letters	1
	Faculty of Education	1

③ Total Numbers of Accepted International Students and numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program for the past 3 years *as of 1 November, 2013

	Total Number of Int'l Students	Total Numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program
2013	1,110	15
2012	1,081	7
2011	1,085	4

④ Features of Hiroshima Prefecture, Hiroshima City, and Higashi-Hiroshima City

Hiroshima City and Higashi-Hiroshima City are located in the Southern region of Hiroshima Prefecture. Both have

direct access to the Seto Inland Sea, a mild climate, and are famous for their seaweed and oysters. The mountain area of northern Hiroshima Prefecture is famous for the traditional entertainment known as Kagura. One can also find many ruins of 'Tatara (ironworks)' in this area.

Hiroshima City was the first city to fall victim to the atomic bomb, but now, as an official designated city dedicated to the quest for international peace, it is the home of many groups involved in peace-promoting activities, in which our program's students have opportunities for participating. Higashi-Hiroshima City is located in a basin approximately 30 kilometers east of Hiroshima City. It has a long history as a town famous for its sake (Japanese rice wine). Recently, with the move of Hiroshima University and the establishment of several other private universities, as well as a great number of enterprise research centers, the city is rapidly developing into a center for academics and research. Furthermore, the recent prosperity of semiconductor, electricity and electronics production has led to a rapid increase in the population of Higashi-Hiroshima.

■ Course Contents

① Features of Course

This course is comprised of three major components: a compulsory Special Japanese Language and Culture Study Program conducted solely for the students of this program; a research component consisting of topical research conducted under the guidance of a personal supervisor and the presentation of a research report; and participation in general Japanese and Japanese Affairs classes of the student's choice.

The Specialized Japanese Language and Culture Study Program involves the cooperation of professors both in and out of the International Center, and offers students the chance to not only deepen their knowledge of Japanese language, culture, and society and the peace contemplated from Hiroshima through special lectures, but also allows them to experience Japanese history, culture, customs, first-hand and the preciousness of peace through several study tours within Hiroshima Prefecture, the Chugoku region, and in the Seto Inland Sea and surrounding areas. The general Japanese Language and Culture classes are conducted for all foreign students of Hiroshima University, and students of this course may take any of the upper intermediate Level 4 and the advanced Level 5 classes, according to their personal ability and interests. For topical research, each of the students undertakes specialized research in a topic of their choice relating to Japanese language or culture. The students' personal supervisors, including specialists in the study of the Japanese language, Japanese language education, and Japanese culture, oversee the research. If desired, students are also able to audit regular classes from other faculties along with other Japanese students.

Every student is assigned a personal tutor, a Japanese student who can offer advice or assistance with study or everyday matters, and conditioned to have Japanese conversation practice with Japanese students and join in different international activities on demand.

The International Center offers access to a computer room in the department, as well as the loan of a personal laptop computer. Wireless internet access is available in the International Center, the International House and certain other areas of the university.

The International Center also holds a large collection of Japanese movies and animation DVDs available for loan, along with portable DVD players. It is hoped that students will make use of these to further their study by watching them in their free time.

Every year, the International Center publishes the collection of the research reports written by the students.

② Maximum Capacity: 20 students

Recommendation of Embassy University

③ Requirements for Acceptance

Those eligible to enter this course include those recommended by their embassies based on the regulations set by the Ministry of Education, or those recommended by universities or departments that have an agreement with Hiroshima University (Oxford University, Beijing Teachers' College, etc). In addition, the following requirements must be met:

1) Japanese Language Proficiency: Applicants must have a high level of Japanese ability. At the minimum, they must either hold or be able to pass Level 2 of the Japanese Language Proficiency Test.

2) Educational Background/ Field of Study: Applicants must have studied Japanese for a minimum of two years and be majoring in Japanese Language and/or culture. First year students are ineligible for this program.

④ Goal of Achievement

Every program student completes specialized personal research and make out its report paper under the direction of individual advising professor. This research process grows ability in focusing on subject, planning study, word processing in Japanese and public presentation.

⑤ Course Length:

October 1, 2013 ~ September 30, 2014

Course Completion Ceremony in September

⑥ Course Outline

In principle, classes usually run for 15 weeks during both semesters.

1) Compulsory Subjects

Special Japanese Language and Culture Study program I & II: Two periods (4 hours) per week during both semesters. It consists of special lectures on the Japanese language, culture and affairs, given by lecturers from the International Center and other Faculties, and study visits to cultural institutions and treasures. The research proposal presentation and mid-term presentation of each student's personal research also takes place during this time. The following is the description of the contents of this course for 2012. The 2013 program may be subject to change.

2) Study Tours and Involvements in the local community

- Hiroshima City Tour 1 , 2
- Miyajima Study Tour
- Shimanami Study Trip (Seto Inland Sea)

3) Other Lectures and Elective Course

☆Lectures

- Japanese Phonetics and Phonology
- Modern Japanese Lexicology
- Japanese Stylistics 1
- Second Language Learning Strategies
- Let's enjoy HAIKU
- Peace Education in the world
- A view point of contrastive analysis on languages and cultures
- Japanese Stylistics 2
- KOJIKI and Japanese Mythology
- Language of Okinawa
- Japanese Society and Gender
- Internationalization and marketization of Higher Education in Japan

☆Elective Courses

Japanese Language【Subjects and hours】

Subject		Spring	Fall
Compulsory		60	60
Elective Courses: Japanese Language and Japanese Affairs	Integrated Intermediate J.IA	30	30
	Integrated Intermediate J.IIB	30	30
	Integrated Intermediate J.IIC	30	30
	Listening	30	30
	Lexical	30	30
	Analysis	30	30
	Cinema	30	30
	Culture and Society	30	30

⑦Annual Events

An opening and closing ceremony, as well as the Research Presentation, where students give a brief presentation on the contents of their individual research report.

⑧Guidance System

1)Program Coordinators

Name	DEP	Position	Major
Masahiro Nakagawa	I.C	Prof.	Literature, Stylistics,
Yasuo Tamura	I.C	Assoc. Prof.	Linguistics, Japanese education
Junya Ishihara	I.C	Assoc. Prof.	Phonetics&Phonology; Linguistics
Ayami Nakaya	I.C	Assoc. Prof.	Comparative Education

2) Guidance System

All professors from the International Center and some from the Education Department oversee the running of this program, and offer advice and support to students.

3) Advice and counseling are available for international students at the following locations:

- Health Service Center
- International Student Advisor (Education department only)

⑨Course Completion Requirements

There is no set of fixed course completion requirements, but instead students, in consultation with their personal supervisor, must decide the number and types of classes to be taken. They must, however, submit a report based on their personal research. A certificate of completion, signed by the president of the university, will be awarded at the closing ceremony.

■Housing Situation

The increase in the number of International students at Hiroshima University means that it is no longer always possible to find a place in one of the university's international student dormitories. There are cases when students have to rent a private apartment. The lodging situation for students of the Japanese Language and Culture Program for the last three years is as follows:

	Int'l House	Sun-square	Private Apartment	Total
2013	14	0	1	15
2012	7	0	0	7
2011	4	0	0	4

• On Campus Housing for International Students at Hiroshima University

International House:

Room size 13.3m², Rent ¥5,900/month; Common House Expenses ¥ 2,500/month; Walking Time to the International Student Center: 20 mins, Cycling time: 7 mins

- Public Student Housing (Higashi-Hiroshima City)

Sunsquare Higashi-Hiroshima:

Room size 17.46 m², Rent - ¥ 20,000/month, Common expense charge - ¥ 3,500/month, Sheets - ¥ 6,000, Deposit - ¥ 60,000 Travel Time to the International Student Center: Bus - 15 mins, Bicycle - 25mins

- Private Apartments

Size 15-17m², Rent ¥ 25,000 - 45,000/month; Common expenses charge - ¥ 1,000-3,000/month, Deposit 1-3 months rent, Move-in fee 1 month rent, Agent fee 1 month rent

* In order to cover living expenses and set-up costs until the time of the first scholarship payment, it is suggested that students bring a minimum of ¥ 100,000 with them to Japan.

■Follow-up for Course Completion Students

Printed Research Reports Books are delivered to completed students and their home university.

Research Reports' files are registered for general use at International Center HP repository.

Past program activity records are accessible to completed students.

All completed students are booked on our program's mailing list and informed about present program activities.

■Inquiries

International Exchange Group, International Center, Hiroshima University

Address: Student Plaza, 1-7-1 Kagamiyama Higashi-Hiroshima City, Hiroshima 739-8514

Phone: +81-82-424-6182(Direct)

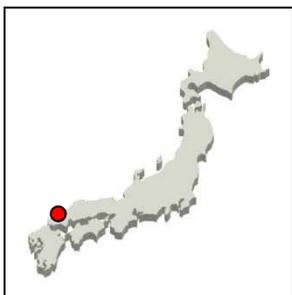
Fax: +81-82-424-4545

Email: kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

○International Center Homepage:
<http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/index-e.html>

○International Students' Guide to Campus Life:
<http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/center/campus/index.html>

○Hiroshima University Homepage:
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>



山口大学 (山口県)



歴史のある美しい街、山口へ留学してみませんか

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

山口大学は1815年、長州藩士・上田鳳陽によって創設された私塾・山口講堂を前身とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された。

メイン・キャンパスは山口市（人口は195,345人）に位置している。山口市は自然環境に恵まれた落ちついた都市で、多くの歴史的名勝・文化的景観が残されている。

2) 教員・学生数等

- ・教員数：1,082名
- ・学生数：学部生 8,761名
大学院生 1,651名

(2013年5月現在)

② 国際交流の実績

- ・大学間交流協定校数：51校
- ・学部間交流協定校数：4校

釜山大学校

復旦大学

イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学

キャンベラ大学

(2013年5月現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学生数 315人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2012年：留学生数 314人、日本語・日本文化研修留学生 1人
2011年：留学生数 297人、日本語・日本文化研修留学生 1人

(2013年5月現在)

④ 地域の特徴

山口県は、本州の西の端にあり、山口大学吉田キャンパスのある山口市は「西の京」とも呼ばれ、歴史と文化の薫り漂う県庁所在地です。吉田キャンパス近くにある「湯田温泉」は、約800年の歴史と山陽路随一の規模を持つ温泉街で、一日2000tという豊かな湧出量を誇り、地元客や観光客に人気です。このほか、県内には優れた温泉地がたくさんあります。

また、広島県、福岡県の間に位置し、どちらの都市にも新幹線で約40分で行くことができます。

■コースの概要

① コースの特色

・スピーキング、リーディング、ライティング能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶことを主な目的とする。

・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。

② 受入定員 2名

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、日本国以外の大学学部（来日時点で主として第2学年次以上）に在籍する学生で、日本語・日本文化研修生として、以下の要件を満たす者とする。

(1) 日本語能力

日本語能力試験の3級ないしそれ以上の級に合格している者、または同等の日本語能力を有する者。一般的な事柄について会話ができ、基本的な文章を読み書きできること。

(2) 日本研究学習歴、専攻

日本語・日本文化に関する分野を専攻する者。

④ 達成目標

・日常的に使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。

・日本社会、日本文化に関する研究に活用できる知識を身につける。

⑤ 研修期間

2014年10月1日 ～ 2015年9月30日

ただし、オリエンテーションの日程によっては、10月1日以前に来日するように求める場合がある。

⑥ 研修科目の概要

1) 必須科目

【日本語演習A】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

単語や文法の知識を基に、特に「聞く」「話す」能力を育成し、日常生活におけるより一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。また、学習内容のトピックに関連した簡単な新聞記事も読めるようにする。

【日本語演習B】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

表現文型・文法を学び、日本語の運用能力を高める。特に助詞が正しく使えるようになることを目指す。また、その日のテーマに関連したディスカッションから書く練習へと発展させ、文章作成能力のレベルアップを図る。

【日本語演習C】（前期60時間／後期60時間）

演習形式、使用言語：日本語

いろいろなジャンルの新聞記事、エッセイ、小説などを読み、日本語の様々な文体に慣れる。楽しく読むことができ、かつ読めたという体験を持たせ、長文の速読速解能力の向上を目指す。

【日本事情】（前期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本の文化、習慣、教育、政治、経済など日本についての基本的な事項を各種のメディア（新聞、雑誌、テレビ、インターネット等）から取り上げ、講義し、その日のテーマについてディスカッションを行う。

【異文化を学ぶ】（後期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本文化に関する様々なテーマについて学習する（例：日本の漫画、アニメ、音楽、遊び、芸術、社会）。フィールドワーク作業、ビデオ教材等を含めることで、言葉では説明しにくいものを感覚的に理解出来るように配慮する。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本文化と歴史を体験から学びとるため、毎年冬に留学生を対象とした見学旅行を実施している。神社や武家屋敷を訪れたり、温泉に宿泊したりする。

見学先：大分（2011）

愛媛・広島（2012）

福岡・熊本（2013）

3) その他の講義、選択科目等

さらなる勉学・研究のために、日本語の仕組み、日英語の違い、日本の音楽、日本の歴史、日本の工芸等の教育学部開講の授業に参加することができる。

留学生の日本語能力の向上の程度を勘案して、日本語のドリル及び日本文化に関する補講を行うことがある。

教育学部が開設する授業に加え、本学には共通教育科目として、すべての学部在籍する留学生を対象にした日本語・日本事情関係の授業が開講されている。日本語能力テストの結果に応じてこれらの授業を履修することも可能である。

⑦ 年間行事

- 1 1 月 留学生歓迎会、懇談会
- 1 2 月 留学生見学旅行（1泊2日）

⑧ 指導体制

- ・ 責任教員 高橋 俊章
(学生国際交流作業部会長)
- ・ 学生の所属：教育学部
- ・ 指導教員：希望に合わせて専門分野の教員又は、
国際交流に関わる教員が指導を担当する。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

- ・ 各自の課題（日本語・日本文化に関するもの）の研究を押し進め、最終的には論文を提出する。
- ・ 本コースの科目を全て履修した者には、修了証書を発行する。

■ 宿 舎

原則として、山口大学の敷地内の留学生用宿舎「国際交流会館」に入居可能である。

※過去3年間の入居実績： 1名（2011年）
1名（2012年）
2名（2013年）

※留学生用宿舎の詳細については以下のURLを参照

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html



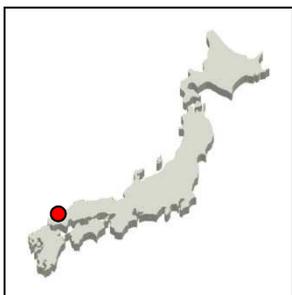
■ 修了生へのフォローアップ

修了生へのフォローアップについては、研修期間の指導状況に合わせ、指導教員が行う。

■ 問合せ先

(担当部署)

- ・ 山口大学教育学部学務係
- 住所：〒753-8513
山口県山口市吉田1677-1
- TEL：083-933-5307
- FAX：083-933-5468
- E-mail：info-g@yamaguchi-u.ac.jp
- 担当教員：高橋 俊章
(教授・学生国際交流作業部会長)
- E-mail：bld10@yamaguchi-u.ac.jp
- URL：http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/
【山口大学ホームページ】
<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>
【山口大学留学生センターホームページ】
<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/>



Yamaguchi University (Yamaguchi)



Study abroad in Yamaguchi, a beautiful city with historical interest

■ Yamaguchi University: A brief description

① Outlines of Yamaguchi University

1) Features and location of Yamaguchi University

Yamaguchi University was originally established in 1815 as a private school (“Yamaguchi Kodo”) by a member of the Choshu clan (“Ueda Hoyo”). It was reorganized under the educational system reforms in the Meiji and Taisho eras. Then Yamaguchi University was established as a national university in 1949. The University is now a large institution with seven Faculties, nine Graduate Schools.

The main campus in Yamaguchi (population, 195,345) is located in a city noted for its natural beauty, its many historical sites and cultural facilities.

2) Number of staff and students

Yamaguchi University has a teaching staff of 1,082. We currently have 8,761 undergraduate students and 1,651 postgraduate students (as of May 2013).

② Outlines of Student Exchange

• Number of exchange agreements signed

University Level Agreement:

51 universities (as of May 2013)

Faculty Level Agreement:

4 universities (as of May 2013)

• The list of the Partner Universities (Faculty Level Agreement):
Pusan National University(Korea), Fudan University (China),
Lviv University (Ukraine), University of Canberra (Australia)
(as of May 2013)

③ Number of international students at Yamaguchi University and number of students in the “Japanese Studies” Program at Yamaguchi University in the past three years

2013: international students	315 students
Japanese Studies Students	2 student
2012: international students	314 students
Japanese Studies Students	1 student
2011: international students	297 students
Japanese Studies Students	1 student
	(as of May 2013)

④ Regional Characteristics

Yamaguchi Prefecture is located in the west end of the main Japanese island. Yamaguchi City is the capital city of the prefecture and is called “Kyoto in the West”, with many historical and cultural places of interest. Yuda Onsen (a hot spring bath) near Yamaguchi Campus was discovered about 800 years ago and the hot spring resort is one of the largest in western Japan, where more than 2000 tons of hot water gushes out every day. Yuda Onsen is very popular among locals and tourists alike. There are many other hot spring resorts in Yamaguchi Prefecture.

Yamaguchi is conveniently located midway between Hiroshima and Fukuoka and is about 40 minutes by Shinkansen train (bullet train) from either city.

■ Japanese Studies Program

1. feature of Japanese Studies Program

The course aims primarily at giving the students’ a firm grasp of basic Japanese and giving their speaking, listening, reading, and writing capabilities.

The Course includes intermediate Japanese language and culture classes.

2. Number of Students to be accepted

Elementary and Intermediate Japanese classes: 2

3. Qualifications of Applicants

The applicant should be enrolled at a university overseas and meet the following conditions:

(1) The applicant should have the third grade or above of “the Japanese Language Proficiency Test” or other equivalent Japanese language proficiency qualification.

(2) The applicant should be majoring in Japanese or Japanese Studies.

4. Attainment Target

-To understand Japanese spoken in a wide range of social and academic contexts

-To acquire knowledge about life in Japan and Japanese culture

5. Period of the Course

From 1 October, 2014 to 30 September, 2015 (1 year)

6. Subjects Offered to the Japanese Studies Program students

1) The first three classes are seminars given in Japanese and the last two are lecture given in Japanese

• Japanese Seminar A (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on listening and speaking. The student reads newspaper articles written in simple Japanese.

• Japanese Seminar B (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on syntax. After discussion, the student will write on the topic discussed.

• Japanese Seminar C (1st Semester 60 hrs / 2nd Semester 60 hrs)

The main focus is on extensive as well as speed reading. The student will read newspaper articles, essays, novels, etc.

• Studies on Japan (1st Semester 30 hrs)

After a lecture on a topic (such as Japanese culture, customs, educational system, political system, Japanese economy, etc.), the student will engage in some discussion about it.

• Cross-cultural Studies (2nd Semester 30 hrs)

Students will learn about Japanese culture, such as Japanese anime, Japanese pop music, arts, etc.) Practical work will often be involved.

2) Study Tour (Field Trip)

The study tour, which is offered every winter, provides an opportunity for international students to experience Japanese culture and history. During the tour, students visit cultural and historical places such as shrines and old samurai residences and enjoy a hot spring bath, etc.

Places Visited: Nagasaki(2010), Ohita(2011), Ehime & Hiroshima (2012), Fukuoka & Kumamoto (2013),

3) For Further Studies and Research

For further studies and research, various classes at the Faculty of Education are open to the “Japanese Studies” students (e.g. Japanese Linguistics, Japanese-English Contrastive Linguistics, Comparative History of Music, Japanese History, Japanese Pottery, etc.).

Supplementary lessons may be provided, depending on the level of the student's Japanese language proficiency.

As part of General Education in the University, the courses in Japanese and Japanese culture are offered for foreign students in all Faculties. If resources permit, students may have the opportunity to attend to appropriate courses based on their results of the Japanese Language Proficiency Test.

7. Tours and Events

November

- Welcome party for international students
- A round-table with international students

December

- A day trip to a famous place

8. Staff Responsible for the Program

• The student(s) studying under this program belongs to the Faculty of Education.

• Course Director:

Toshiaki Takahashi (Professor) , Chairman of the Committee for International Student Exchange

• Student Supervisor: the appointment of the supervisor is made by taking into consideration the area of interest of the student, etc.

9. Course Requirement

Students learn about the Japanese language and culture. They are required to write papers on them at the end of the course.

■ Accommodation

Yamaguchi University agrees to assist the student in his / her search for living accommodation.

University-owned accommodations are available on campus (in most cases)

(http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html)

The number of the Japanese Studies Students who have lived in the university residences for the past three years

1 student (2011)

1 student (2012)

2 student (2013)



■ Follow up for the international student in the past

Supervisors are encouraged to keep contact with the international students who have studied in Yamaguchi University and offer them advice and support, where necessary, based on request from the students.

■ Enquiries

• The Course Director: Toshiaki Takahashi

Chairman, Committee for International Student Exchange, The Faculty of Education, Yamaguchi University, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, 753-8513 Japan

TEL : 083-933-5307

FAX : 083-933-5468

E-mail : bld10@yamaguchi-u.ac.jp

info-g@yamaguchi-u.ac.jp

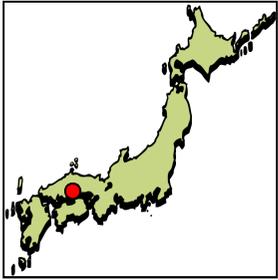
URL : <http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/>

Yamaguchi University

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

International Center

<http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/>



山陽学園大学 (岡山県)



講義を受講するだけでなく、企業訪問・ホームステイ等の体験を盛り込んだプログラムです。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

明治19年、山陽英和女学校として誕生した山陽学園は、現在、大学、短期大学、高校、中学校、短期大学附属幼稚園の5つから構成される総合学園になりました。

大学は1994年に開学し、看護学部と総合人間学部の2学部、3学科で、同じ敷地内に食物栄養学科と幼児教育学科を持つ短期大学、そして短期大学附属幼稚園があります。

大学、短期大学併せて1000人程度の小さな大学ですが、それだけアットホームな雰囲気、教員と学生の距離が近く、教員が親身になって相談に乗ってくれるという利点があります。

クラブ活動も盛んで、バレーボール部、卓球部、テニス部、バドミントン部、軽音楽部、茶道部、児童文化部、日本語ボランティア部、ウラジャ部などが熱心に活動しています。

大学の総合人間学部・言語文化学科には、中国、韓国、ベトナムから留学生が来ており、和気藹々とした雰囲気の中で勉強に励んでいます。常勤・非常勤教員としては、中国人、イギリス人、韓国人のスタッフがいます。

また、同学園の高校にも毎年英語圏のオーストラリアなどから留学生が来ており、大学の学生がボランティアで日本語指導を行っています。

② 国際交流の実績

受け入れに関しては、韓国、台湾の大学間協定校から、インターンシップ生、中長期留学生、日本語・日本文化短期研修生を毎年受け入れています。送り出しに関しては、アメリカ、オーストラリア、韓国、台湾、中国、ニュージーランドの協定校、協力校に中長期留学、語学研修、日本語教育実習で訪問しています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年：留学整数	約160人	日本語・日本文化研修留学生	1人
2012年：留学生数	約200人	日本語・日本文化研修留学生	0人
2011年：留学生数	約200人	日本語・日本文化研修留学生	0人

④ 地域の特色

岡山県は、「晴れの国 岡山」と言われるほど、全国で「晴れの日」が最も多く、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた県です。フルーツ王国として昔から桃やぶどうが有名でしたが、近年は津山ホルモンうどん、蒜山焼きそば、日生のかきのお好み焼きなど、B級グルメ王国としても注目されています。

その岡山県の南部にある人口70万人の県庁所在地・岡山市は、中国地方の交通の要で、四国・九州・山陰・関西のいずれの地方に行くにも便利なだけでなく、日本三大庭園の一つである後楽園など、歴史的な見所も多いです。また、2月には、奇祭「西大寺裸祭り」、8月には桃太郎にちなんだ「うらじゃ祭り」も行われます。

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化の両方が学べます。小規模大学の特色を生かし、学部生と同じ授業に出席することで、日本人及び留学生との交流を図ります。

また、講義の受講に留まらず、演習科目に参加したり、企業を訪問したり、さらにホームステイを行ったりすることで、日本での体験を増やし、理論と体験を組み合わせたプログラムを組んでいることが特色です。



② 受入定員

2名 (大使館推薦1名、大学推薦1名)



③ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N1またはN2を取得し、
学部での授業についていける日本語能力の
ある者

④ 達成目標

- ・日本語の能力向上。
- ・日本への理解を深める。
- ・日本を知ることによって自国への理解を深める。

⑤ 研修期間

2014年10月～2015年8月上旬

修了式：8月上旬

⑥ 研修科目の概要

以下の3種類を主として実施する。

- (1) 日本語能力向上のための必修科目
- (2) 日本に触れるアクティビティ系の
科目
- (3) 就職に関連する科目

合計28単位以上とする。

1) 必須科目

- ①日本語 8科目8単位
- ②日本事情 2科目2単位

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ①異文化理解演習 3科目6単位
- ②日本語交流体験
 - ・日本語ボランティア部員との日本語会話、交流
 - ・ホームステイ体験
 - ・幼稚園見学、園児との交流
 - ・中学校・高校見学、生徒との交流
 - ・うらじゃ祭り、裸祭り見学
 - ・日本語弁論大会参加または見学
- ③就職活動体験
 - ・就職説明会への参加
 - ・企業訪問
 - ・就職懇談会への参加

②と③で4単位

3) その他の講義、選択科目等

以下の①～③から選択 4科目8単位以上

- ①日本を知る科目
日本の歴史、日本文学、古文書、日本文化など
- ②日本と諸外国の交流について知る
日中交流史、韓国の歴史と文化など
- ③その他
心理系、ビジネス系、情報系の科目

⑦ 年間行事（日研究生用）

- | | |
|-----|--|
| 1月 | 県内または近隣県の日本文化
施設見学 |
| 2月 | 裸祭り見学 |
| 3月 | 卒業式見学 |
| 4月 | 入学式見学
留学生歓迎会参加
大学新入生歓迎1日旅行参加 |
| 5月 | 幼稚園見学、園児と交流 |
| 6月 | 中学校・高校見学、生徒と交流 |
| 7月 | 大学間協定校の学生来学、交流 |
| 8月 | うらじゃ祭り見学 |
| 9月 | ホームステイ体験 |
| 10月 | 大学祭参加 |
| 11月 | 留学生1日旅行参加
就職懇談会参加
日本語弁論大会参加または見学 |
| 12月 | 就職活動体験
(就職支援バス：広島または
大阪) |

⑧ 指導体制

- ・国際交流委員、日本語担当教員が主になって指導する。
- ・日本語ボランティア部の部員（主に総合人間学部言語文化学科の学生）が交流の計画を立てたりサポートしたりする。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

コースの修了要件

28単位以上取得

修了証書

大学から発行

■宿 舎

留学生向けの寮はありませんが、大学の近くにはアパートが多くあり、大学で紹介することが可能です。

家賃は30,000円前後からありますが、入居時に敷金、礼金が各1か月分程度必要です。（敷金は退出時にほぼ全額返金されます。）

■修了生へのフォローアップ

現時点ではありませんが、将来的には留学生のネットワークを構築する予定です。

学生は、卒業後、各自でネットワークを作ったり、ゼミによっては、ゼミ担当教員がゼミ学生とのネットワークを構築し、フォローアップを行っています。

■問い合わせ先

(担当部署)

山陽学園大学国際交流委員会

住所 〒703-8501

岡山県岡山市平井1-14-1

TEL +81-86-272-6254 (代表)

FAX +81-86-273-3226 (代表)

E-mail chie@sguc.ac.jp (担当者)

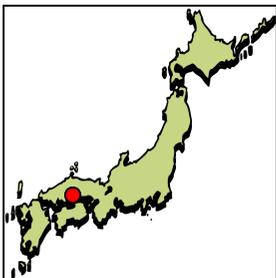
大学ホームページ

<http://www.sguc.ac.jp/>

英語、中国語、韓国語、ベトナム語の簡易バージョンがあります。

* 希望する方には、日本語、英語の大学案内を送ることができます。





Sanyo Gakuen University

(Okayama Prefecture)



Our teaching is inspired by love and service.

■ Introduction

① About us

The origin of Sanyo Gakuen lies in Sanyo Eiwa Women's School, established in 1886 by dedicated members of the Okayama Christian Society. Currently, Sanyo Gakuen is comprised of five educational institutions: Sanyo Girls' Junior High School, Sanyo Girls' High School, Sanyo Gakuen College, Sanyo Gakuen University, and its affiliated Kindergarten.

Sanyo Gakuen College was established in 1969, producing about 16,500 graduates, while Sanyo Gakuen University was founded in 1994 with about 1,400 graduates. Both Institutions have been playing an important role in higher education for women and their graduates have become successful members of society.

In 2009, these institutions became coeducational. Additionally, in the same year, the University has expanded to include two departments: the Faculty of Nursing and the Faculty of Human Sciences.

“Love and Service” is the guiding principle that underpins the excellence of education in all the institutions and it will continue to guide us to future success.

② International exchange

There are 11 sister universities in China, Korea, New Zealand, Taiwan, Australia and U.S.A. Students visit those countries for English training and practice teaching Japanese.

From sister universities in Korea and Taiwan, students visit us for the internship program, exchange program and the program of understanding Japanese culture.

We are also planning to make a contract with the university in Poland as a sister university.

③ Number of international and Japanese & Japanese culture study program students

Year 2013	Number of international students	160 students
	(1 Japanese and Japanese culture study program student)	
Year 2012	“	200 students
Year 2011	“	

④ Characteristics of Okayama

Thanks to the Inland Sea, Okayama Prefecture has a notably mild climate compared to the rest of Japan. The population of Okayama city is approximately 700,000 people. It is the center of Okayama and a convenient place to access Shikoku, Kyushu, Sanin, Hiroshima and the Kansai District, including such places as Osaka and Kyoto. A Shinkansen journey to either Hiroshima or Osaka takes less than one hour.

In Okayama there are many places of historical interest or for their spectacular scenery, such as Korakuen garden, Okayama castle, Kurashiki, Kibiji and the Seto Ohashi Bridge. Traditionally, Okayama has been famous for fruit, especially peaches and grapes. Also, special noodles and pancakes with oysters have also become famous more recently as cheap and tasty local dishes.

The famous Hadaka and Uraja festivals can be seen in February and August.

■ Outline of the program

① Characteristics

• The students who join this program can learn both Japanese and Japanese culture.

• Undergraduate students can exchange to join the same class.

• This involves not only class attendance, but also participation in activities such as visiting companies or doing home stays.

Through such experiences, you know about Japan and Japanese culture not only intellectually, but also your physically and emotionally.

Our joint program includes both theory and practice.

② Numbers accepted

2 persons

(Embassy recommendation 1 person
University recommendation 1 person)

③ Qualifications of candidates

- students passing N1 or N2
- students who are able to understand undergraduate lectures

④ Aim of this course

- to improve Japanese skills
- to deepen understanding of Japan and Japanese culture
- to deepen understanding of one's own country and culture by contrast with Japanese society and culture

⑤ Term of course

- From the beginning of October, 2014 to the beginning of August, 2015

- Farewell ceremony
- beginning of August

⑥ Outline of syllabus of Japanese language and cultural studies program

Three kinds of classes: -

(1) Required

subjects for improving Japanese

(2) Required

subjects for experience of Okayama & Japan

(3) Elective

subjects for future employment

* 28 credits in total

1) Subjects (Required)

① Japanese A, B, C, D, E, F, G, H 1 credit each

8 credits in total

Japanese culture A, B 2 credits in total

Understanding cross-cultural communication

A, B, C 6 credits in total

Exchange with Japanese people and visiting

Japanese companies, homestay, visiting

kindergarten, junior high and senior high

school etc. 4 credits

2) Subjects (Elective)

At least 8 credits

① Subjects for understanding Japan

Japanese history, Japanese literature etc.

② Subjects for the history of exchange between Japan and Asian countries

History of exchange between Japan and China

History of exchange between Japan and Korea

③ Others

psychology, business and computer science subjects



⑦ Schedule for annual activities

Jan. Excursion to institutions of Japanese culture

Feb. Observation of Hadaka Festival

Mar. Observation of graduation ceremony

Apr. Observation of entrance ceremony

Welcome party for foreign students

Excursion for freshman

May Visiting the Kindergarten

June Visiting junior and senior high schools

July Exchange with students from sister universities

Aug. Observation of Uraja Festival

Sep. Homestay experience

Oct. Experience of University Festival

Nov. Excursion for foreign students

Attendance at explanation of employment for students and parents

Dec. Experience of employment

⑧ Student assistance

- Members of International exchange committee and professors or lecturers in charge of Japanese take care of the students.
- Students belonging to the club activity of Japanese volunteers help foreign students and make plans for exchange

⑨ Requirements of completion

At least one term 14 credits

Issuing certificate

Certificate will be issued by Sanyo Gakuen University



■ Accommodation

We do not have a dormitory.

However we can introduce cheap apartments near the university.

One month payment is approximately 30,000 yen. However, real estate agent requires one month remuneration and one month deposit in advance.

Deposit is returned if the apartment is in a clean condition and there are no other problems on expiry of lease.

■ Follow-up for students

There is no alumnus network as yet, but we are planning to create one.

Students will make their own network now and several professors will make a network for their seminar students.

■ Contact

Sanyo Gakuen International Committee

Address 703-8501
1-14-1 Hirai Okayama-shi
Naka-ku
Okayama Prefecture

TEL +81-86-272-6254
FAX +81-86-273-3226
E-mail chie@sguc.ac.jp

University Home Page
<http://www.sguc.ac.jp/>

You can access Chinese, English, Korean, and Vietnamese language versions from our homepage.

